

# 平成 20 年 度 当 初 予 算 資 料

1	会計別予算	P	1
2	一般会計歳入歳出予算（歳入）	P	2
3	歳入の主な増減	P	3
4	一般会計歳入歳出予算（歳出）	P	4
5	歳出の主な増減	P	5
6	歳出予算款別財源内訳表	P	6
7	歳出予算性質別目的別分類表	P	8
8	一般会計当初予算の推移	P	10
9	税収入予算資料	P	12
10	市税等の推移（決算ベース）	P	14
11	地方債年度末現在高の推移	P	16
12	一般会計歳出予算（部局別）	P	18
13	各部局当初予算説明資料	P	19
	営 企 画 部	P	19
	総 務 部	P	25
	税 務 理 財 部	P	33
	市 民 文 化 部	P	36
	楠 総 合 支 所	P	53
	保 健 福 祉 部	P	55
	商 工 農 水 部	P	67
	環 境 部	P	80
	都 市 整 備 部	P	88
	会 計 管 理 室	P	104
	議 会 事 務 局	P	105
	監 査 事 務 局	P	107
	教 育 委 員 会	P	108
	消 防 本 部	P	125
	上 下 水 道 局	P	133
	市 立 四 日 市 病 院	P	139
14	防災対策事業について	P	142
15	バリアフリー化事業について	P	146
16	災害時要援護者対策事業について	P	147
17	子育て関係事業について	P	148

# 平成 20 年 度 会 計 別 予 算

(単位 千円)

区 分		平成20年度 予算額(A)	平成19年度 予算額(B)	差引増減額 (A) - (B)	(A) — × 100(%) (B)
会 計 名					
一 般 会 計		99,848,000	98,138,000	1,710,000	101.7
特 別 会 計	競 輪 事 業	17,856,600	14,250,300	3,606,300	125.3
	国 民 健 康 保 険	26,862,000	27,327,000	465,000	98.3
	食肉センター食肉市場	575,500	644,800	69,300	89.3
	土 地 区 画 整 理 事 業	906,000	824,300	81,700	109.9
	交 通 災 害 共 済 事 業	96,900	126,200	29,300	76.8
	住 宅 新 築 資 金 等 貸 付 事 業	31,400	40,300	8,900	77.9
	老 人 保 健 医 療	2,148,600	20,799,700	18,651,100	10.3
	公 共 用 地 取 得 事 業	878,173	667,744	210,429	131.5
	農 業 集 落 排 水 事 業	317,900	521,800	203,900	60.9
	介 護 保 険	14,718,700	14,425,600	293,100	102.0
	後 期 高 齢 者 医 療	3,922,400	0	3,922,400	皆増
	計	68,314,173	79,627,744	11,313,571	85.8
公 会 営 企 業 計	水 道 事 業	12,756,136	11,320,521	1,435,615	112.7
	市立四日市病院事業	18,247,768	20,076,900	1,829,132	90.9
	下 水 道 事 業	30,503,151	21,440,264	9,062,887	142.3
	計	61,507,055	52,837,685	8,669,370	116.4
桜 財 産 区		29,800	28,700	1,100	103.8
合 計		229,699,028	230,632,129	933,101	99.6

## 平成20年度一般会計歳入歳出予算（歳入）

(単位 千円)

区 分 款 別	平成20年度 予算額(A)	平成19年度 予算額(B)	差引増減額 (A) - (B)	(A) —— × 100(%) (B)	構成比率 (%)	
					平成20年度	平成19年度
市 税	63,244,700	58,053,600	5,191,100	108.9	63.3	59.2
2. 地方譲与税	1,410,000	1,415,000	5,000	99.6	1.4	1.4
3. 利子割交付金	220,000	180,000	40,000	122.2	0.2	0.2
4. 配当割交付金	271,000	192,000	79,000	141.1	0.3	0.2
5. 株式等譲渡所得割交付金	165,000	183,000	18,000	90.2	0.2	0.2
6. 地方消費税交付金	2,640,000	2,950,000	310,000	89.5	2.6	3.0
7. ゴルフ場利用税交付金	90,000	90,000	0	100.0	0.1	0.1
8. 自動車取得税交付金	654,000	750,000	96,000	87.2	0.7	0.8
9. 地方特例交付金	558,000	546,000	12,000	102.2	0.6	0.5
10. 地方交付税	820,000	1,710,000	890,000	48.0	0.8	1.7
うち普通交付税	300,000	710,000	410,000	42.3	0.3	0.7
11. 交通安全対策特別交付金	75,000	73,400	1,600	102.2	0.1	0.1
分担金及び負担金	1,278,236	1,322,550	44,314	96.6	1.3	1.3
使用料及び手数料	2,379,506	2,336,400	43,106	101.8	2.4	2.4
14. 国庫支出金	8,400,888	8,529,342	128,454	98.5	8.4	8.7
15. 県支出金	4,569,901	4,509,589	60,312	101.3	4.6	4.6
財産収入	432,617	120,510	312,107	359.0	0.4	0.1
寄附金	228,711	41,211	187,500	555.0	0.2	0.0
繰入金	598,825	1,918,958	1,320,133	31.2	0.6	2.0
繰越金	900,220	900,248	28	100.0	0.9	0.9
諸収入	4,906,496	4,368,692	537,804	112.3	4.9	4.5
21. 市 債	6,004,900	7,947,500	1,942,600	75.6	6.0	8.1
うち臨時財政対策債	2,197,000	2,339,000	142,000	93.9	2.2	2.4
歳入合計	99,848,000	98,138,000	1,710,000	101.7	100.0	100.0

付数字は自主財源

<b>【款別の主な増減(歳入)】</b>		(単位:千円)	
	平成19年度予算額	平成20年度予算額	増減
<b>分担金及び負担金</b>			
保育所負担金	1,224,519	1,191,387	( 33,132 )
<b>使用料及び手数料</b>			
食肉衛生検査手数料	0	32,433	( 32,433 )
ごみ処理手数料	593,300	572,300	( 21,000 )
汚物取扱手数料	175,800	159,000	( 16,800 )
食品衛生手数料	0	13,268	( 13,268 )
建築構造計算適合性判定手数料	27,473	36,287	( 8,814 )
道路占用料	243,000	250,000	( 7,000 )
<b>国庫支出金</b>			
後期高齢者医療保険基盤安定負担金	0	160,046	( 160,046 )
住宅・建築物耐震改修事業補助金	142,386	0	( 142,386 )
老人保健対策事業費負担金	133,721	0	( 133,721 )
優良建築物等整備事業費補助金	84,740	0	( 84,740 )
地域介護・福祉空間等整備交付金	70,000	120,000	( 50,000 )
生活保護費負担金	3,452,250	3,497,999	( 45,749 )
安全・安心な学校づくり交付金	111,890	69,540	( 42,350 )
児童手当支給費負担金	1,136,542	1,165,981	( 29,439 )
<b>県支出金</b>			
県税徴収取扱費委託金	613,900	779,100	( 165,200 )
老人保健対策事業費負担金	133,721	0	( 133,721 )
後期高齢者医療保険基盤安定負担金	0	80,023	( 80,023 )
参議院議員選挙費委託金	75,982	0	( 75,982 )
県知事選挙費委託金	49,263	0	( 49,263 )
障害者共同生活介護等建設費補助金	0	45,000	( 45,000 )
発電用施設周辺地域振興費補助金	0	43,800	( 43,800 )
<b>財産収入</b>			
市有地売払収入	67,000	336,000	( 269,000 )
<b>寄附金</b>			
四日市国際交流協会寄附金	0	100,000	( 100,000 )
四日市市都市整備公社寄附金	0	50,000	( 50,000 )
霞ヶ浦振興公社寄附金	0	50,000	( 50,000 )
四日市市文化振興財団寄附金	0	20,000	( 20,000 )
<b>繰入金</b>			
職員退職手当基金繰入金	1,570,000	530,000	( 1,040,000 )
財政調整基金繰入金	300,000	0	( 300,000 )
<b>諸収入</b>			
中小企業振興資金融資預託金元利収入	1,571,182	1,834,011	( 262,829 )
北勢公設地方卸売市場組合事務受託費	201,480	396,115	( 194,635 )
たんぼぼ自立支援給付費	0	84,685	( 84,685 )
共栄作業所自立支援給付費	0	58,601	( 58,601 )
健康診査受診料	115,537	58,987	( 56,550 )
<b>市債</b>			
本庁舎整備事業資金	1,688,800	0	( 1,688,800 )
消防施設設備整備事業資金	287,600	754,800	( 467,200 )
橋梁整備事業資金	503,500	263,700	( 239,800 )
臨時財政対策資金	2,339,000	2,197,000	( 142,000 )

## 平成20年度一般会計歳入歳出予算（歳出）

(単位 千円)

区 分 款 別	平成20年度 予算額(A)	平成19年度 予算額(B)	差引増減額 (A) - (B)	(A) —— × 100(%) (B)	構成比率 (%)	
					平成20年度	平成19年度
1. 議 会 費	652,198	660,805	8,607	98.7	0.7	0.7
2. 総 務 費	12,259,655	14,239,569	1,979,914	86.1	12.3	14.5
3. 民 生 費	26,306,575	25,188,811	1,117,764	104.4	26.3	25.7
4. 衛 生 費	9,402,187	8,468,587	933,600	111.0	9.4	8.6
5. 労 働 費	31,163	27,298	3,865	114.2	0.0	0.0
6. 農 林 水 産 業 費	2,344,038	2,027,856	316,182	115.6	2.3	2.1
7. 商 工 費	3,744,778	3,072,821	671,957	121.9	3.8	3.1
8. 土 木 費	18,750,520	19,655,547	905,027	95.4	18.8	20.0
9. 消 防 費	4,511,057	3,881,052	630,005	116.2	4.5	3.9
10. 教 育 費	8,785,904	8,195,339	590,565	107.2	8.8	8.4
11. 公 債 費	12,959,925	12,620,315	339,610	102.7	13.0	12.9
12. 予 備 費	100,000	100,000	0	100.0	0.1	0.1
歳 出 合 計	99,848,000	98,138,000	1,710,000	101.7	100.0	100.0

【款別の主な増減(歳出)】	(単位:千円)		
	平成19年度予算額	平成20年度予算額	増減
<b>総務費</b>			
庁舎等整備事業	2,064,717	0	( 2,064,717 )
市税過納返還金	159,000	484,253	( 325,253 )
一般職給(一般管理費)	2,793,095	2,564,528	( 228,567 )
新財団法人出捐金	0	200,000	( 200,000 )
市議会議員選挙費	150,405	0	( 150,405 )
退職手当	2,409,000	2,177,376	( 231,624 )
市長選挙費	0	135,898	( 135,898 )
鈴鹿山麓研究学園都市建設事業費負担金	11,770	129,121	( 117,351 )
<b>民生費</b>			
後期高齢者医療特別会計繰出金	0	2,096,455	( 2,096,455 )
老人保健医療特別会計繰出金	1,359,577	25,657	( 1,333,920 )
介護保険特別会計繰出金	2,217,017	2,396,360	( 179,343 )
一般職給(児童福祉総務費)	2,422,082	2,267,377	( 154,705 )
生活介護事業費	161,228	296,000	( 134,772 )
国民健康保険特別会計繰出金	1,873,653	1,944,880	( 71,227 )
生活保護費	4,603,000	4,664,000	( 61,000 )
<b>衛生費</b>			
保健所経費	0	665,921	( 665,921 )
市立四日市病院整備基金積立金	0	503,000	( 503,000 )
基本健康診査事業費	514,766	197,499	( 317,267 )
北部清掃工場管理運営費	909,626	1,021,536	( 111,910 )
保健所整備事業	107,021	0	( 107,021 )
予防接種事業費	306,600	412,633	( 106,033 )
<b>農林水産業費</b>			
北勢公設地方卸売市場組合施設整備事務受託事業費	199,978	394,613	( 194,635 )
北勢公設地方卸売市場組合負担金	86,843	157,888	( 71,045 )
農業集落排水事業特別会計繰出金	139,994	188,717	( 48,723 )
一般職給(農業総務費)	265,103	283,554	( 18,451 )
<b>商工費</b>			
企業立地奨励金交付事業費	220,000	780,000	( 560,000 )
中小企業振興資金融資預託金	1,571,182	1,834,011	( 262,829 )
ものづくりエキスパート育成事業費	104,000	24,000	( 80,000 )
民間研究所立地奨励金等交付事業費	230,000	181,000	( 49,000 )
<b>土木費</b>			
下水道企業会計繰出金	8,587,000	7,647,487	( 939,513 )
石原南五味塚線(磯津橋)橋梁整備事業費	460,000	160,000	( 300,000 )
市営住宅整備基金積立金	303	280,000	( 279,697 )
優良建築物等整備費	169,620	0	( 169,620 )
橋梁整備単独事業費	42,000	153,500	( 111,500 )
近鉄・三岐富田駅前広場整備事業費	248,000	142,000	( 106,000 )
土地区画整理事業特別会計繰出金	688,614	784,519	( 95,905 )
<b>消防費</b>			
(仮称)中消防署中央分署整備事業費	260,300	758,557	( 498,257 )
一般職給	2,214,557	2,262,354	( 47,797 )
消防活動用機器整備費	24,250	69,872	( 45,622 )
消防通信指令システム更新事業	46,100	90,027	( 43,927 )
<b>教育費</b>			
楠小学校改築事業費	512,880	23,272	( 489,608 )
大規模改造整備事業費(小・中学校)	7,000	205,700	( 198,700 )
河原田小学校改築事業費	12,800	206,878	( 194,078 )
中央緑地運動施設整備事業費	3,000	152,700	( 149,700 )
四日市看護医療大学設立支援事業	100,000	200,000	( 100,000 )
その他運動施設整備事業費	10,200	104,200	( 94,000 )
退職手当	336,000	406,000	( 70,000 )
<b>公債費</b>			
地方債元金償還金	10,554,699	11,089,502	( 534,803 )
地方債利子	2,055,616	1,860,423	( 195,193 )

## 歳 出 予 算 款 別

款 別	本 年 度 予 算 額	左 の 財		
		国 庫 支 出 金	県 支 出 金	地 方 債
1. 議 会 費	652,198			
2. 総 務 費	12,259,655	24,497	934,419	381,900
3. 民 生 費	26,306,575	7,143,853	3,128,127	
4. 衛 生 費	9,402,187	106,966	77,262	89,100
5. 労 働 費	31,163			
6. 農林水産業費	2,344,038		142,064	16,200
7. 商 工 費	3,744,778		620	
8. 土 木 費	18,750,520	1,003,170	22,490	2,111,100
9. 消 防 費	4,511,057		155,816	754,800
10. 教 育 費	8,785,904	122,402	109,103	454,800
11. 公 債 費	12,959,925			
12. 予 備 費	100,000			
計	99,848,000	8,400,888	4,569,901	3,807,900
歳入振替項目				2,197,000
総 計	99,848,000	8,400,888	4,569,901	6,004,900

構成比については端数処理のため合計が合わない場合があります

# 財 源 内 訳 表

(単位 千円)

源 内 訳			前 年 度 一 般 財 源	一般財源投入率 (%)	
				本年度	前年度
使用料及び手数料	そ の 他	一 般 財 源			
	150	652,048	660,655	0.9	0.9
264,889	867,418	9,786,532	8,979,399	13.3	12.9
9,058	1,585,945	14,439,592	13,873,424	19.6	19.9
970,732	1,140,152	7,017,975	5,790,996	9.5	8.3
265	1,000	29,898	26,033	0.0	0.0
198	590,896	1,594,680	1,497,621	2.2	2.1
1	1,922,411	1,821,746	1,388,103	2.5	2.0
580,280	434,236	14,599,244	15,228,162	19.9	21.8
74,734	324,108	3,201,599	3,057,238	4.4	4.4
172,436	194,652	7,732,511	7,102,237	10.5	10.2
206,679	203,866	12,549,380	12,160,100	17.1	17.4
		100,000	100,000	0.1	0.1
2,279,272	7,264,834	73,525,205	69,863,968	100.0	100.0
100,234	1,080,271	3,377,505	3,720,968		
2,379,506	8,345,105	70,147,700	66,143,000		

## 歳 出 予 算 性 質 別

区 分	本 年 度		前 年 度	
	予 算 額 (A)	一般財源(B)	予 算 額 (C)	一般財源(D)
1. 人 件 費	18,900,904	16,452,437	18,983,791	15,436,752
(1)報 酬	649,470	639,416	667,268	658,400
(2)基 本 給	8,257,932	7,333,438	8,170,263	6,559,997
(3)そ の 他 の 手 当	4,768,306	4,480,550	4,744,761	4,507,326
(4)退 職 手 当	3,023,376	1,942,281	3,171,000	1,601,000
(5)恩 給 退 職 年 金	7,066	7,066	7,086	7,086
(6)そ の 他	2,194,754	2,049,686	2,223,413	2,102,943
2. 物 件 費	12,792,676	10,613,594	12,879,315	10,118,596
3. 維 持 補 修 費	1,626,772	1,015,999	1,587,308	992,993
4. 扶 助 費	14,469,931	4,896,043	14,119,184	4,965,418
5. 補 助 費 等	14,645,221	13,258,592	14,977,083	13,714,200
6. 投 資 ・ 出 資 金 ・ 貸 付 金	2,575,151	453,567	2,110,814	388,259
7. 積 立 金	2,324,302	1,616,500	1,523,714	1,117,159
8. 繰 出 金	7,932,841	6,860,462	6,710,597	5,882,000
9. 公 債 費	12,959,925	12,549,380	12,620,315	12,160,100
10. 投 資 的 経 費	11,519,976	5,708,631	12,525,578	4,988,491
(1)普 通 建 設 事 業	11,163,501	5,670,806	12,190,778	4,963,691
イ、補 助	1,733,390	268,380	2,371,154	324,811
ロ、単 独	9,430,111	5,402,426	9,819,624	4,638,880
(2)災 害 復 旧 事 業				
イ、補 助				
ロ、単 独				
(3)失 業 対 策 事 業				
イ、補 助				
ロ、単 独				
(4)県 営 事 業 負 担 金	356,475	37,825	334,800	24,800
11. 予 備 費	100,301	100,000	100,301	100,000
合 計	99,848,000	73,525,205	98,138,000	69,863,968



# 一 般 会 計 当 初

年度	一 般 会 計		歳 入						
			市 税		地 方 交 付 税		市 債		繰 入 金
	伸び率	税率	普通	特別	発行額	市債 依存度	3基金		
平成		%	%	実績	実績		%		
5	86,102,300	1.2	48,784,000	56.7	-	861,254	4,159,300	4.8	2,983,000
6	88,012,300	2.2	45,720,000	52.0	-	850,921	8,786,200	10.0	3,108,000
7	91,952,800	4.5	47,794,000	52.0	-	897,915	9,573,900	10.4	2,900,000
8	94,337,200	2.6	48,511,700	51.4	-	951,334	13,814,300	14.7	1,090,120
9	94,917,000	0.6	53,613,680	56.5	-	980,457	10,425,900	11.0	700,000
10	91,013,000	4.1	52,890,100	58.1	-	1,079,724	6,460,200	7.1	2,470,000
11	90,900,000	0.1	52,202,800	57.4	2,348,319	1,215,065	5,299,300	5.8	1,692,000
12	93,280,000	2.6	50,140,900	53.8	3,042,159	1,288,142	5,868,500	6.3	2,908,000
13	95,760,000	2.7	51,120,000	53.4	2,988,761	1,236,052	8,382,800	8.7	2,840,000
14	94,580,000	1.2	49,616,000	52.4	4,100,304	1,183,361	8,394,200	8.9	3,175,000
15	90,990,000	3.8	47,339,000	52.0	3,974,549	1,105,390	9,451,300	10.4	2,600,000
16	95,980,000	5.5	48,305,000	50.3	2,039,446	1,105,338	13,373,200	13.9	1,445,000
17	93,290,000	2.8	50,395,300	54.0	2,769,273	1,162,118	8,782,500	9.4	180,000
18	95,400,000	2.3	53,605,700	56.2	781,664	1,100,000	8,468,700	8.9	1,130,000
19	98,138,000	2.9	58,053,600	59.2	710,000	1,000,000	7,947,500	8.1	300,000
20	99,848,000	1.7	63,244,700	63.3	300,000	520,000	6,004,900	6.0	0

# 予 算 の 推 移

(単位 :千円)

		歳 出						
繰 入 金	公 債 費		地方債年 度末残高	投 資 的 経 費			繰 出 金	
	競 輪	構成比		補 助	うち普通建設事業費			
			単 独					
実績		%	実績					
1,500,000	7,106,655	8.3	59,616,712	20,750,541	5,640,637	14,953,681	8,159,289	
300,000	7,366,140	8.4	68,139,476	20,857,103	6,233,614	14,473,851	8,544,711	
0	7,499,239	8.2	76,704,095	22,571,833	6,917,095	15,511,417	8,671,542	
50,000	7,889,890	8.4	89,283,768	23,714,303	6,947,530	16,729,274	8,907,190	
20,000	8,815,769	9.3	99,938,335	22,358,602	4,789,663	17,539,125	9,254,338	
50,000	9,759,014	10.7	105,489,490	16,663,239	4,384,578	12,234,355	9,736,790	
50,000	10,322,312	11.4	106,062,498	13,739,059	5,857,512	7,827,935	10,218,412	
50,000	11,402,980	12.2	105,427,282	13,757,572	4,660,986	8,470,905	11,993,916	
50,000	11,635,219	12.2	105,328,737	15,957,660	5,532,111	9,865,564	12,115,049	
10,000	12,484,540	13.2	104,684,936	13,142,840	1,999,812	10,322,178	5,068,066	
50,000	12,343,622	13.6	104,476,960	10,305,917	1,359,639	8,529,628	5,439,030	
100,000	18,557,091	19.3	105,425,611	9,605,201	2,007,201	7,521,250	5,762,733	
20,000	12,733,510	13.6	102,599,283	11,515,480	3,504,972	7,853,883	6,397,305	
10,000	12,836,604	13.5	101,136,796	12,976,803	2,792,118	10,084,376	6,621,011	
0	12,620,315	12.9	98,135,958	12,525,578	2,371,154	9,819,624	6,710,597	
0	12,959,925	13.0	93,051,356	11,163,501	1,733,390	9,430,111	7,932,841	

## 平成 2 0 年 度 税 収 入 予 算 資 料

(単位 千円)

税目	税率等	調定見込額	収納率 見込%	本年度当初予算 計上額(A)	前年度当初予算 計上額(B)	$\frac{(A)}{(B)} \times 100$ %
<b>市税</b>		65,801,080	96.1	63,244,700	58,053,600	108.9
1. 市民税		28,247,689	95.1	26,854,800	25,712,600	104.4
一個人		20,246,104	93.3	18,888,400	18,114,500	104.3
イ、現年度分	153,206(人)	19,134,828	97.4	18,637,300	17,883,700	104.2
所得割	6%	18,675,210	97.4	18,189,700	17,449,300	104.2
均等割	3,000(円)	459,618	97.4	447,600	434,400	103.0
ロ、繰越分		1,111,276	22.6	251,100	230,800	108.8
二法人		8,001,585	99.6	7,966,400	7,598,100	104.8
イ、現年度分	8,475(社)	7,977,000	99.8	7,961,000	7,593,800	104.8
法人税割	13.5%(旧楠町は12.3%)	6,957,000	99.8	6,943,100	6,610,800	105.0
均等割	(万円) 5、12、13 15、16、40 41、175、300	1,020,000	99.8	1,017,900	983,000	103.6
ロ、繰越分		24,585	22.0	5,400	4,300	125.6
2. 固定資産税		32,320,848	96.8	31,300,000	27,157,500	115.3
一固定資産税		32,284,648	96.8	31,263,800	27,096,100	115.4
イ、現年度分		31,407,691	98.9	31,055,100	26,860,300	115.6
土地分	1.4%	8,974,323	98.1	8,803,800	8,628,800	102.0
家屋分	1.4%	8,868,358	98.1	8,699,900	8,338,300	104.3
償却資産分	1.4%	13,565,010	99.9	13,551,400	9,893,200	137.0
ロ、繰越分		876,957	23.8	208,700	235,800	88.5
二国有資産等所在 市町村交付金		36,200	100.0	36,200	61,400	59.0
イ、現年度分		36,200	100.0	36,200	61,400	59.0
交付金	1.4%	36,200	100.0	36,200	35,800	101.1
納付金	1.4%	0	100.0	0	25,600	0.0
3. 軽自動車税		548,589	90.5	496,300	472,700	105.0
イ、現年度分	104,345(台) 1,000(円) ~ 7,200(円)	505,400	96.7	488,700	464,000	105.3
ロ、繰越分		43,189	17.6	7,600	8,700	87.4
4. 市たばこ税	3,298(円)/千本 1,564(円)/千本	2,061,400	100.0	2,061,400	2,221,300	92.8
5. 入湯税	日帰り 6,250人 1人 80円 宿泊 0人 1人1泊 150円	500	100.0	500	500	100.0
6. 都市計画税	(旧楠町は課さない)	2,622,054	96.6	2,531,700	2,489,000	101.7
イ、現年度分		2,540,161	98.9	2,512,200	2,465,900	101.9
土地分	0.2%	1,429,917	98.9	1,414,200	1,410,000	100.3
家屋分	0.2%	1,110,244	98.9	1,098,000	1,055,900	104.0
ロ、繰越分		81,893	23.8	19,500	23,100	84.4

(単位 千円)

税目	税率等	調定見込額	収納見込率%	本年度予算計上額(A)	前年度予算計上額(B)	$\frac{(A)}{(B)} \times 100$ %
<b>地方譲与税</b>		1,410,000	100.0	1,410,000	1,415,000	99.6
1. 自動車重量譲与税		800,000	100.0	800,000	800,000	100.0
2. 地方道路譲与税		270,000	100.0	270,000	285,000	94.7
3. 特別とん譲与税		340,000	100.0	340,000	330,000	103.0
<b>利子割交付金</b>		220,000	100.0	220,000	180,000	122.2
利子割交付金		220,000	100.0	220,000	180,000	122.2
<b>配当割交付金</b>		271,000	100.0	271,000	192,000	141.1
配当割交付金		271,000	100.0	271,000	192,000	141.1
<b>株式等譲渡所得割交付金</b>		165,000	100.0	165,000	183,000	90.2
株式等譲渡所得割交付金		165,000	100.0	165,000	183,000	90.2
<b>地方消費税交付金</b>		2,640,000	100.0	2,640,000	2,950,000	89.5
地方消費税交付金		2,640,000	100.0	2,640,000	2,950,000	89.5
<b>ゴルフ場利用税交付金</b>		90,000	100.0	90,000	90,000	100.0
ゴルフ場利用税交付金		90,000	100.0	90,000	90,000	100.0
<b>自動車取得税交付金</b>		654,000	100.0	654,000	750,000	87.2
自動車取得税交付金		654,000	100.0	654,000	750,000	87.2
<b>地方特例交付金</b>		558,000	100.0	558,000	546,000	102.2
地方特例交付金		308,000	100.0	308,000	546,000	56.4
特別交付金		250,000	100.0	250,000	0	皆増

## 基金の状況

(単位:千円)

基金名	平成20年度末 残高見込	基金名	平成20年度末 残高見込
職員退職手当基金	485,708	市立四日市病院整備基金	503,000
桜運動広場整備基金	27,971	ふるさと・水と土保全基金	14,628
土地開発基金	1,151,154	中小企業振興基金	7,492
土地開発公社経営健全化基金	2,634,553	広域基幹道路整備基金	972,392
国際交流基金	113,382	緑化基金	179,935
文化振興基金	220,652	市営住宅整備基金	421,096
財政調整基金	3,984,863	学校施設整備基金	677,296
都市基盤・公共施設等整備基金	321,530	小菅科学教育振興基金	28,327
減債基金	324,296	競輪事業財政調整基金	677,966
まちづくり事業基金	1,338,934	国民健康保険支払準備基金	105,366
社会福祉事業振興基金	422,822	東橋北住環境整備基金	159
災害救助基金	110,329	介護保険給付費支払準備基金	185,229
廃棄物処理施設整備基金	399,521		

## 市税等の推移

年 度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	
市 税	97.0%	100.6%	97.2%	98.5%	97.2%	
	54,319,396	54,651,840	53,104,170	52,310,758	50,839,465	
	うち個人市民税	91.3%	97.2%	95.2%	97.1%	98.7%
	16,023,051	15,576,141	14,822,715	14,389,736	14,204,296	
うち法人市民税	90.7%	87.7%	103.7%	104.9%	84.7%	
5,552,950	4,868,823	5,051,204	5,296,663	4,487,950		
うち固定資産税	102.9%	104.6%	96.6%	98.0%	98.6%	
27,539,521	28,816,683	27,845,859	27,293,990	26,899,992		
地 方 譲 与 税	68.7%	103.5%	96.3%	105.9%	96.0%	
1,317,439	1,363,067	1,312,385	1,389,423	1,334,308		
利 子 割 交 付 金	77.8%	115.3%	464.0%	98.7%	28.8%	
406,516	468,528	2,174,040	2,145,652	617,784		
配 当 割 交 付 金						
株式等譲渡所得割交付金						
地 方 消 費 税 交 付 金	436.3%	92.9%	103.1%	92.7%	91.3%	
3,328,940	3,093,121	3,189,836	2,955,812	2,699,183		
ゴルフ場利用税交付金	96.0%	100.7%	103.9%	103.5%	95.2%	
105,505	106,263	110,445	114,287	108,754		
特別地方消費税交付金	99.7%	93.6%	18.9%	17.6%	皆減	
63,504	59,414	11,207	1,978			
自動車取得税交付金	83.0%	97.9%	98.3%	94.4%	94.8%	
815,316	798,108	784,199	740,568	701,758		
地 方 特 例 交 付 金		皆増	136.3%	102.8%	96.6%	
0	1,245,994	1,698,909	1,747,237	1,687,946		
地 方 交 付 税	106.8%	222.3%	117.3%	95.3%	119.4%	
2,120,003	4,711,899	5,526,255	5,267,926	6,290,170		
うち普通交付税	103.4%	376.6%	122.0%	95.1%	128.1%	
883,245	3,326,420	4,058,554	3,859,379	4,942,661		
うち特別交付税	109.4%	112.0%	105.9%	96.0%	95.7%	
1,236,758	1,385,479	1,467,701	1,408,547	1,347,509		

平成16年度までについては、旧四日市市と旧楠町の決算額の合計

## (決算ベース)

(単位 千円)

平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度 (12月補正後)	平成19年度 (決算見込)	平成20年度 (当初予算)
98.6%	100.4%	104.8%	102.5%	110.0%	111.1%	105.3%
50,133,200	50,317,982	52,724,859	54,045,765	59,453,600	60,045,368	63,244,700
93.6%	97.1%	106.1%	109.5%	121.5%	122.5%	102.8%
13,294,067	12,907,800	13,696,359	14,990,751	18,214,500	18,370,600	18,888,400
122.2%	108.8%	126.8%	99.6%	107.4%	112.7%	93.8%
5,485,014	5,967,750	7,568,809	7,537,684	8,098,100	8,492,500	7,966,400
97.4%	100.1%	100.1%	100.3%	106.2%	106.6%	111.5%
26,199,571	26,221,424	26,253,016	26,337,518	27,957,500	28,066,368	31,300,000
104.9%	141.5%	126.5%	145.2%	38.9%	39.1%	99.0%
1,400,068	1,981,641	2,506,349	3,640,316	1,415,000	1,424,164	1,410,000
70.5%	98.1%	58.5%	71.9%	100.2%	124.7%	98.1%
435,386	426,981	249,861	179,703	180,000	224,169	220,000
	皆増	151.5%	148.9%	96.0%	135.8%	99.7%
	88,672	134,296	200,027	192,000	271,722	271,000
	皆増	227.1%	93.0%	92.6%	92.6%	90.2%
	93,516	212,386	197,566	183,000	183,000	165,000
107.4%	109.0%	92.4%	104.0%	97.0%	98.7%	88.0%
2,900,256	3,162,038	2,922,551	3,040,440	2,950,000	3,000,767	2,640,000
98.0%	96.8%	98.8%	96.0%	92.0%	101.6%	90.5%
106,614	103,217	101,969	97,842	90,000	99,443	90,000
107.2%	102.1%	100.3%	99.0%	98.3%	92.6%	92.5%
752,335	768,479	770,963	762,890	750,000	706,771	654,000
99.6%	101.4%	101.8%	90.9%	25.3%	25.3%	139.8%
1,681,143	1,705,436	1,736,681	1,578,349	399,135	399,135	558,000
94.7%	66.8%	98.9%	46.6%	98.7%	98.7%	45.4%
5,954,225	3,976,031	3,931,391	1,832,060	1,807,954	1,807,954	820,000
94.7%	58.8%	100.6%	28.4%	102.7%	102.7%	37.1%
4,681,823	2,753,891	2,769,273	786,908	807,954	807,954	300,000
94.4%	96.0%	95.1%	89.9%	95.7%	95.7%	52.0%
1,272,402	1,222,140	1,162,118	1,045,152	1,000,000	1,000,000	520,000

上段は対前年度比

## 地方債年度末

年度		14決算	15決算	16決算	17決算	18決算
区分						
普通会計	一般会計	107,836,450	107,705,872	105,425,611	102,599,283	100,338,490
	うち減税補てん債 (借換債含む)	11,412,161	11,460,394	11,515,586	11,366,740	11,078,711
	うち臨時財政対策債	2,614,600	7,837,100	11,592,700	14,365,675	16,803,350
	特別会計					
	土地区画整理事業	4,450,693	4,321,225	4,588,744	4,399,074	4,077,107
	住宅新築資金等 貸付事業	327,917	266,454	217,561	160,701	115,448
	公共用地取得事業 (都市下水路分)	3,087,312	3,913,568	5,411,024	8,619,030	8,176,966
	計	116,026,273	116,582,320	116,106,041	116,341,188	113,317,515
	うち合併特例債 (基金造成含む)			523,000	2,052,100	4,547,200
収益	競輪事業会計	225,300	175,700	125,835	75,703	25,301
準公営企業	食肉センター 食肉市場事業	1,633,873	1,707,240	1,747,392	1,749,747	1,783,229
	公共下水道事業	3,120,096	3,244,177			
	農業集落排水事業	1,503,253	1,602,311	1,757,867	1,864,438	1,975,703
	計	6,257,222	6,553,728	3,505,259	3,614,185	3,758,932
公営企業	水道事業	22,094,408	21,891,518	21,620,128	21,375,796	21,197,872
	市立四日市病院事業	3,590,787	3,310,040	2,978,137	2,627,307	2,817,649
	下水道事業	100,789,253	101,392,179	104,125,263	103,002,712	101,600,715
	計	126,474,448	126,593,737	128,723,528	127,005,815	125,616,236
重複分		323,900	375,200	463,100	563,100	609,505
<b>合計</b>		248,659,343	249,530,285	247,997,563	246,473,791	242,108,479

## 現在高の推移 (過去の決算額に楠町分を含む)

(単位 千円)

19見込	20 当初予算				
	償還元金	償還利子	元利合計	発行額	残高
98,135,958	11,089,502	1,860,423	12,949,890	6,004,900	93,051,356
10,153,447	968,348	132,860	1,101,208		9,185,099
18,719,501	626,545	260,652	887,197	2,197,000	20,289,956
3,736,456	428,515	71,150	499,665		3,307,941
93,963	16,408	4,562	20,970		77,555
7,630,699	763,567	114,606	878,173		6,867,132
589,421	21,606	7,311	28,917		567,815
110,186,497	12,319,598	2,058,052	14,377,615	6,004,900	103,871,799
8,753,900	74,686	114,128	188,814	2,401,000	11,080,214
1,815,359	107,756	30,951	138,707	71,100	1,778,703
( 14年度以降については、四日市市分は公営企業会計で計上)					
2,067,540	90,036	43,951	133,987	24,500	2,002,004
3,882,899	197,792	74,902	272,694	95,600	3,780,707
19,643,176	2,816,434	591,719	3,408,153	1,140,000	17,966,742
3,872,942	669,650	56,496	726,146	550,000	3,753,292
100,947,036	12,734,280	2,969,684	15,703,964	11,177,016	99,389,772
124,463,154	16,220,364	3,617,899	19,838,263	12,867,016	121,109,806
589,421	21,606	7,311	28,917		567,815
237,943,129	28,716,148	5,743,542	34,459,655	18,967,516	228,194,497

## 一般会計歳出予算【部局別】

(単位:千円、%)

部局	区分	20年度当初	19年度当初	増減額	伸率
		A	B	A - B C	C / B × 100
経営企画部		25,880,309	22,796,487	3,083,822	13.5
総務部		6,285,271	6,702,714	417,443	6.2
税務理財部		2,024,759	3,777,101	1,752,342	46.4
市民文化部		1,747,968	1,793,989	46,021	2.6
保健福祉部		21,024,175	21,253,480	229,305	1.1
商工農水部		5,599,495	4,652,525	946,970	20.4
環境部		5,771,047	5,716,142	54,905	1.0
都市整備部		8,581,678	8,641,706	60,028	0.7
会計管理室		29,380	21,791	7,589	34.8
議会事務局		652,198	660,805	8,607	1.3
選挙管理委員会		176,228	330,700	154,472	46.7
監査事務局		93,304	91,972	1,332	1.4
教育委員会		8,474,851	8,012,903	461,948	5.8
消防本部		4,507,797	3,876,151	631,646	16.3
楠総合支所		155,003	165,380	10,377	6.3
企業補助 会計に 対する 等	上下水道局	7,967,257	8,875,394	908,137	10.2
	市立四日市病院	877,280	768,760	108,520	14.1
合計		99,848,000	98,138,000	1,710,000	1.7

# 部局別予算説明資料

## 経営企画部

### 新年度予算における基本的な方針

プラン策定から2年度目となる「第2次行政経営戦略プラン（平成19年度～21年度）」に基づき、「集中と選択による施策展開」を図り「財政の健全化」や「行財政改革」を着実に推進するとともに、中核市への移行に向けた第1ステップとして、本年4月に「保健所政令市」へ移行し、市民に身近な行政機関として住民サービスの充実を図り、戦略プランに掲げる経営ビジョン「人口減少社会における自主自立の都市経営」を推進する。

なお、持続的な景気回復や税源委譲の影響を受けて、市税収入は増加する一方で、昨年の6月に成立した「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、土地開発公社や第3セクターを含めた「市の負債総額」や「将来負担」を表す、新たな財政指標が導入され、地方公共団体の財政について早期の是正措置が講じられる枠組みが実施されることから、本市としても、土地開発公社を始めとする「負の資産」の早期解消や企業会計を含めた市債残高などの低減に努め、新年度においても着実な財政運営を推進することとする。

### 1. 総合計画の推進について

第2次行政経営戦略プランを推進しつつ、平成22年度を最終年度とする現総合計画の改訂に向けて、現状分析・市民意向把握などの準備作業を開始する。

また、健康的な食生活を目指した食育推進計画の推進のための食育推進ネットワークの構築を図る。

その他、新たな市民ニーズや政策課題に対応した調査研究を進めるとともに、社会経済状況の変化に応じた行政課題について、四日市大学や四日市看護医療大学などの関係機関と連携を図りつつ、政策推進監会議や各部局を横断する庁内研究体制を整え政策研究を進める。

【主な事業】	総合計画推進事業	6,244千円
	食育推進事業	2,000千円

### 2. 土地開発公社の経営健全化について

現在、土地開発公社は約190億円（平成18年度末現在）もの債務残高を抱えており、ほぼ全額が金融機関からの借入で、市が全額債務保証を行っていることから、本市の財政に大きな支障をきたす恐れがある。

この債務の軽減を図るための財源として昨年度設置した「土地開発公社経営健全化基金」へ、第2次行政経営戦略プランに基づき、20年度においても10億円を積立てる。

また、抜本的な土地開発公社の経営の健全化を図るための具体的な解決を図るため、

現在の基金の計画だけでなく更なる財源措置について検討し、土地開発公社の経営健全化を推進する。

【主な事業】 土地開発公社経営健全化基金積立金 1,007,883千円  
(基金運用益7,883千円含む)

### 3. 市制施行111周年記念事業について

市制施行111周年にあたる平成20年度において、「1」はすべての始まりであるとともに、本市のルーツである「市」を連想させるものでもあるため、本市のまちづくりを更に進める「はじめの一步」とし、市場や宿場町など歴史を踏まえた四日市の個性や誇りを再確認・再発見するとともに、市民相互の連帯感の醸成や、市民協働によるまちづくりが全市的に展開することを期待し、未来につないでいくことができる事業を展開する。

【主な事業】 新市制施行111周年記念事業(企画費分) 46,050千円

### 4. 行財政改革の推進及び行政経営システムの構築について

行財政改革の推進については、第2次行政経営戦略プラン・行革プラン(平成19~21年度)に基づき、計画的かつ着実な実施に向けて、各改革事項の進捗管理を行う。また、指定管理者制度については、平成21年度指定更新(一部新規を含む)の施設について公募を実施するほか、第三者による監視・検証など指定管理者モニタリング体制の充実を図る。さらに、外郭団体の統廃合については、100%出資4団体の統合方針に沿って平成20年度から新財団を設立し、より自立した効率的な財団経営の推進を支援する。

また一方で、多様化する市民サービスに的確に応え、簡素で効率的な行財政運営を図るため、アウトソーシングを積極的に推進していく必要があり、そのための具体的な手法(業務委託、包括的外部委託、市場化テスト等)について、基本的な考え方や方向性を整理し、総括的なアウトソーシング基本方針の策定を進める。

なお、業務棚卸表については、職員の意識改革や戦略的な行動形成に結びつける経営作戦書として活用していくため運用の改善に取り組む。

【主な事業】 行財政改革推進費 7,624千円  
新新財団法人出捐金及び補助金 220,000千円

### 5. 健全な財政運営の推進について

予算編成においては、政策プランの進捗を優先するとともに、財源配分方式により業務棚卸表等を活用して、事業の優先順位付け、事務事業の効率化を図るなど各部局が主体となる編成を行う。

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく財政の健全性を測る財政指標を念頭に置くとともに、第2次財政プランに示す「財政運営の指針」に掲げる目標の達成に向け、中長期的な観点からの財政運営を推進する。

公会計制度の改革については、平成21年度に作成、公表が義務付けられた財務諸表

の整備に向けて準備を進める。

また、平成20年度に新たに設立される地方公営企業等金融機構に対して出資を行う。

【主な事業】	財政管理経費	4,665千円
	新地方公営企業等金融機構出資金	29,000千円

## 6. 保健所・食肉衛生検査所の設置について

平成20年4月に保健所政令市へ移行し、保健所と食肉衛生検査所を設置する。

市民に身近な保健所として、感染症対策、食品衛生、精神保健、医療監視や薬事行政などを行い、市民が健康で安心して暮らせるよう努める。食肉衛生検査所では、食肉の衛生検査を行い、その安全を確保する。

なお、3町にかかる保健所業務については、本市と三重郡3町は生活圏が一体であることから、広域的に実施していくために、地方自治法に基づき、「事務の委託」を受けられることを目指して、国・県・3町と協議を行っていく。

【主な事業】	新保健所等運営事業	665,921千円
--------	-----------	-----------

## 7. 四日市港の整備促進について

伊勢湾スーパー中枢港湾の一翼を担う四日市港について、中部地域の産業活動を支え国際競争力を維持・強化されるよう、四日市港管理組合と協議を進める。また、臨港道路霞4号幹線を始めとする港湾の整備を促進する。

また、浜園旅客ターミナルの利用客について年間18万人を目指し、ターミナル施設の適切な管理運営を行う。また、案内看板の増設など利便性の向上を図り、市民に利用しやすい環境整備に努めるとともに、海上アクセスの優位性を広くPRし、利用促進を図る。

【主な事業】	四日市港管理組合負担金	1,646,264千円
	海上アクセス関連経費	70,896千円

## 8. 四日市看護医療大学育成会への補助について

平成19年4月に開学した「四日市看護医療大学」に優秀な学生を確保するとともに、卒業後には市内医療機関への就業を促し、地域医療の充実と看護師不足の解消を図るため、「四日市看護医療大学育成会」が創設する奨学制度に対して補助金を交付する。

【主な事業】	四日市看護医療大学奨学資金	60,420千円
--------	---------------	----------

## (新)市制施行111周年記念事業

### 1. 目的

平成20年度は本市の市制施行111周年にあたります。「1」はすべての始まりであるとともに、本市のルーツである「市」を連想させるものでもあります。このため、本市のまちづくりを更に進める「はじめの一步」とし、市場や宿場町など歴史を踏まえた四日市の個性や誇りを再確認・再発見するとともに、市民相互の連帯感の醸成や、市民協働によるまちづくりが全市的に展開することを期待し、未来につないでいくことができる事業を展開します。

### 2. 内容

#### (1) 期間

平成20年度(春から秋を中心として実施)

#### (2) 基本コンセプト

市場、宿場町など歴史を踏まえた四日市の個性や誇りを再確認する。

市民がより健康な生活を送り、四日市に夢や愛着を持ち続けることができる契機とする。

市民活動があらゆる分野において全市的に展開されるための出発点とする。

本市の有する豊かな自然環境や住み易さを内外に情報発信する。

#### (3) キーワード

「市(ひと・もの・情報の交流)」「歴史」「環境」「市民活動」

### 3. 事業等の概要

事業	概要	予算額
市民が提案する事業補助金	地域的事業、全市的事業に対する補助	35,000 千円
記念事業関係費	啓発チラシ・ポスター、キャラクターグッズ等	11,050 千円
合 計		46,050 千円

4. 予算額 46,050 千円 (財源内訳) 一般財源 46,050 千円  
(前年度 0 千円)

担当 経営企画部 政策課 渡辺 354-8112
--------------------------------

## 食育推進ネットワーク事業

### 1. 目的

平成 17 年 7 月に施行された食育基本法に基づき、平成 18 年 3 月に国が食育基本計画を策定し、三重県においては平成 18 年度末に食育推進計画を策定した。本市においても関係団体との連携を深めながら食育推進計画を策定するとともに、連携と協働により、市民の心身の成長や健康の基本となる食育推進を図る。

### 2. 内容

#### (1)関係団体とのネットワークづくり

##### 食育推進会議

平成 19 年度に設置した食育推進会議を継続し、生産者、学校関係者、ボランティア団体、食に関わる専門職などあらゆる分野との協働により、本市の食育推進を図るためのネットワークを構築する。

##### 平成 19 年度の取組み

四日市市食育推進会議設置条例により、公募委員 4 名を含めた 19 名からなる食育推進会議を立ち上げ、計 5 回の会議を開催し、四日市市食育推進計画の策定に向けて検討を行った。

#### (2)食育推進の啓発

##### 啓発イベントの開催

四日市市食育推進計画策定に併せて、その周知と食育啓発を目的とした食育推進シンポジウム等を開催する。

##### 食育推進ホームページの開設・更新

本市のホームページに、食育推進情報を発信する専用サイトを開設する。

3. 予算額 2,000 千円 (財源内訳) 一般財源 2,000 千円  
(前年度 680 千円)

担当 経営企画部  
政策課 加藤  
354-8112

## (新)保健所等運営事業

### 1. 目的

平成20年4月より保健所政令市となり、食の安全・安心や感染症の予防・拡大防止、精神保健相談、健康相談・指導等の業務を市で一体的に取り組むことで、市民の「健康」と「安全」の確保をより一層進める。

### 2. 主な業務内容

#### (1) 食の安全安心対策事業費 56,860千円

「四日市市食品衛生監視指導計画」に基づき、市内の食品関係事業者に対して、監視などを実施し、安全管理についての啓発を行い、食の安全安心を確保する。

#### (2) 薬事関係対策費 3,519千円

市民の保健衛生上の危害を未然に防止するため、薬局等に監視指導などを行い、調剤業務の安全対策や医薬品販売業等の適正販売等の向上を図る。

#### (3) 獣疫対策費 28,744千円

野犬等の捕獲、抑留及び小動物(犬・猫)の引取りなどを行う。また、飼い犬などの適正な飼養がされるように啓発事業を行う。

#### (4) 感染症対策事業費 24,400千円

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、結核などの感染症患者の入院費用を公費負担することやエイズの蔓延防止のための啓発事業などを行い、感染症予防・拡大防止の推進を図る。

#### (5) 精神保健対策事業費 12,089千円

在宅の精神障害者及びその家庭に対して、社会復帰の促進や自立と社会参加の促進のための相談・訪問指導・ディケアを行う。また、地域住民に対して精神保健の向上や精神障害者への理解を深めるための啓発活動などを行う。

#### (6) 食肉衛生検査所管理運営費 35,071千円

消費者へ安全な食肉(食鳥肉を含む)を提供するため、と畜場等において牛・豚等の病気の検査やBSE検査を実施する。

### 3. 予算額 665,921千円(財源内訳) 一般財源 554,238千円 (前年度 0千円)

#### 【参考(保健所費及び食肉衛生検査所費)】

予算額 1,937,090千円(財源内訳) 一般財源 1,648,551千円  
(前年度 0千円)

担当 経営企画部  
中核市推進課保健所準備室  
伊藤  
354-8562

# 総 務 部

## 新年度予算における基本的な方針

市民が安全に暮らせるように、近い将来に発生すると想定されている東南海地震及び南海地震などへの地震防災対策を引き続き推進するとともに、本庁舎内に常設型の防災危機管理室を整備して防災危機管理体制の向上を図る。

また、一人ひとりの人権が尊重されるまちを目指し、各種の答申を踏まえた施策の推進を図るとともに、よっかいち人権施策推進プランに掲げた人権・同和施策に取り組む。

市民への情報提供となる広報施策としては、市内には多くの外国人が生活しているため、新たに外国語の広報の発行とホームページを作成する。

そのほか、市民の利便性向上のため、施設予約システムの対象施設数を拡大するとともに、平成 21 年度から実施予定の市税等のコンビニ収納に備えて住民情報システムなど関連システムの改修を行う。

内部管理面においては、市民の視点に立ち高い職務遂行能力を有する人材の育成と法令遵守意識向上のため、新たにコンプライアンス研修を行うなど多様な職員研修を実施する。

### 1. 防災対策の推進について

東南海地震及び南海地震などへの地震防災対策として、これまで実施してきた木造住宅の無料耐震診断、補強計画策定補助、耐震補強補助等を継続して実施する。

また、市民の積極的な防災活動を支援するため、自主防災組織の活動や資機材整備等に対する助成を行って市民の防災力の向上を図るほか、災害発生時に迅速な対応がとれるように常設型の防災危機管理室を本庁舎 6 階に整備して災害関係情報を適時適切に把握するなど、防災危機管理体制のさらなる向上を図る。

【主な事業】	住宅・建物耐震化支援事業	65,750千円
	自主防災組織活性化事業	31,250千円
	防災危機管理室整備事業	49,000千円

### 2. 人権・同和施策の推進について

平成 15 年 9 月の四日市市隣保館運営審議会からの答申「今後の隣保館のあり方について」、平成 16 年 3 月の四日市市同和対策委員会からの答申「今後の同和行政のあり方について」及び平成 19 年 8 月の四日市市同和行政推進審議会からの答申「今後の同和行政のあり方について（答申）の具体化を図るための仕組みについて」を踏まえた施策の推進を図るとともに、平成 17 年 3 月に策定した「よっかいち人権施策推

進プラン」に掲げた施策を具体的に実施していくための事業に取り組む。

また例年開催している人権フェスティバルを、市制施行 111 周年記念事業として従来より事業内容を拡大して実施する。

【主な事業】	人権のまちづくり事業	5,270千円
	人権リーダー養成講座(人権大学)	1,916千円
	人権活動拠点施設整備事業(施設改修)	33,109千円
	人権フェスティバル事業	4,000千円
	(うち新市制施行111周年記念事業)	1,500千円)

### 3. 広報施策の推進について

市民と情報を共有するため、各種市政情報をタイムリーに分かりやすく、広報紙をはじめケーブルテレビ、インターネット、FMラジオ等の各種広報媒体の特性を生かしたきめ細かな情報提供を行う。

市内には多くの外国人が生活しているため、新たに外国語(ポルトガル語)の広報を発行し、市政情報を提供する。また、ホームページにも掲載し、暮らしやすいまちづくりの一助とする。

【主な事業】	広報刊行物発行事業	60,652千円
	ケーブルテレビ等市政情報発信事業	25,790千円
	新外国語広報発行及びホームページ作成	1,992千円

### 4. 情報化の推進について

電子自治体への取り組みとして、現在楠プラザ運動施設等に適用している施設予約システムについて、平成20年度中に、スポーツ施設、文化施設、会議室など対象施設を拡大することにより、インターネット上でこれらの施設の予約状況の確認や一部の施設では直接予約受付ができるようにし、利用者の利便性向上を図る。

また、平成21年度から実施予定の市税等のコンビニ収納に備え、住民情報システムなど関連するシステムの改修を行う。

【主な事業】	電子自治体構築事業費	32,368千円
--------	------------	----------

### 5. 職員研修の充実について

職員の各階層に応じて行う階層別研修をはじめ、実務・専門研修(特別研修)では法令遵守の重要性に鑑み、新たにコンプライアンス研修を実施するほか、官民交流セミナー、アカウンタビリティ能力養成研修などを実施し、職員の法令遵守意識の向上や意識改革を図る。

派遣研修では自治大学校、市町村アカデミー等の外部教育機関へ職員を派遣し、その成果を発揮させることにより、地方分権の進展などの行政課題へ適切に対応すると

ともに、職場の活性化と市民から信頼される職員の育成を目指す。

【主な事業】	階層別研修費	9,778千円
	特別研修費	4,352千円
	派遣研修費	8,535千円

## 6. 市長選挙等の実施について

平成20年度中に予定されている選挙を適正に執行する。

【主な事業】	市長選挙	135,898千円
	農業委員会委員選挙	6,505千円
	三重海区漁業調整委員会委員選挙	1,950千円

## 住宅・建物耐震化支援事業

### 1. 目的

大規模地震から市民の尊い命と財産を守るため、国土交通省「住宅・建築物耐震改修等事業制度」や三重県「三重県木造住宅耐震診断費等事業費補助事業」、「三重県木造住宅耐震補強補助事業」を活用し、住宅・建築物の耐震化を支援する。

### 2. 内容

木造住宅無料耐震診断・・・昭和 56 年の建築基準法改正前に着工された木造軸組工法（在来工法）の住宅について、無料耐震診断を引き続き実施する。（350 戸）

木造住宅耐震補強計画策定費補助金・・・木造住宅の耐震診断受診者が耐震補強工事を行うための補強計画策定費に対する補助を行う。（70 戸）

木造住宅耐震補強工事費補助金・・・木造住宅の耐震診断受診者が耐震補強工事を行う際に、その費用の一部に対する補助を継続して実施する。（耐震補強工事費補助 50 戸、準耐震補強工事費補助 15 戸）

木造住宅除却工事費補助金・・・老朽化が著しく耐震補強が困難な住宅について、隣接する避難路及び他の住宅等に影響を及ぼすと認められる場合に、その除却に必要な経費の一部を助成する。（15 戸）

家具転倒防止金具取付事業・・・災害時要援護者宅での家具への転倒防止金具の無償取り付けを引き続き実施する。（100 戸）

共同住宅耐震診断費補助金・・・昭和 56 年の建築基準法改正前に建築された 3 階建てかつ 1,000 m<sup>2</sup>以上の共同住宅（分譲マンション）の耐震診断にかかる経費の一部を助成する。（2 棟）

3. 予算額      65,750 千円                      (財源内訳) 県支出金              31,812 千円  
                   (前年度 68,500 千円)    一般財源                      33,938 千円

#### 過去の実績

区 分	H17	H18	H19(見込)
木造住宅耐震診断	560 戸	290 戸	430 戸
耐震補強計画作成		73 戸	70 戸
木造住宅耐震補強	39 戸	46 戸	40 戸
木造住宅準耐震補強		11 戸	10 戸
除却工事費補助		11 戸	15 戸



担当 総務部 防災対策課  
       石 田  
           354 - 8119

## 自主防災組織活性化事業費

### 1. 目的

地震等の大規模災害に対応するためには、「自らの命は自らが守る」という防災対策の基本に立ち、市民の自助努力や地域連携による共助が行われやすいような自主防災組織を活性化する必要がある。この自主防災組織がより有効に活動できるように支援を行い、市民による自助・共助の推進を図る。

### 2. 内容

地区防災組織活動助成・・・地区連合自主防災組織が実施する防災訓練・防災啓発等に要した経費について助成。(上限：38万円 + 30円 × 世帯数)

自主防災組織結成補助・・・新規に自主防災組織を結成した場合に、防災資機材の整備に要した経費について助成。(上限：15万円)

防災資機材等整備補助・・・自主防災組織が防災資機材の整備に要した経費の1/2の額を助成。(上限：5万円 + 300円 × 世帯数)

防災対策設備等整備補助・・・自主防災組織等が可搬式ポンプの購入、防災倉庫の設置を行った際、その経費の1/2の額を補助。(上限50万円)

3. 予算額      31,250千円      (財源内訳) 一般財源      31,250千円  
 (前年度      28,000千円)

自主防災組織の結成総数

区 分	H16	H17	H18	H19
地区防災組織	16	19	25	29
自主防災組織	603	629	649	658



担当 総務部 防災対策課  
 村 田  
 354 - 8119

## 防災危機管理室整備事業

### 1. 目的

自然災害や大規模事故、国民保護法に基づく武力攻撃事態・緊急対処事態等が発生した際に、迅速かつ効率的な対応ができるよう災害対策本部の機能向上を図る。

### 2. 内容

災害対策本部等の機能向上を図るため、常設型の防災危機管理室を6階に設置するとともに災害関係情報を適時適切に把握できるよう情報機器類の整備を行う。

3. 予算額            49,000千円        (財源内訳) 一般財源            49,000千円  
(前年度            2,500千円)



担当 総務部 防災対策課  
石 田  
354 - 8119

## (新) 外国人市民のための市政情報発信事業

### 1. 目的

市内には多くの外国人が生活しているため、外国語(ポルトガル語)の広報を発行し、市政情報を提供する。また、ホームページにも掲載し、暮らしやすいまちづくりの一助とする。

### 2. 内容

本市の外国人登録者数は、平成 19 年 11 月 30 日現在 9,705 人で、その 41.6%がブラジル人で最も多数を占めている。このような中で、ことばの壁などにより日本の制度やルールなど正しい情報が伝わらず、地域社会において摩擦が生じたり、日本人市民と同等のサービスが受けられない状況がある。そのため、ポルトガル語による広報およびホームページを作成し、ブラジル人が四日市で生活していく上で必要な行政情報の提供を行う。

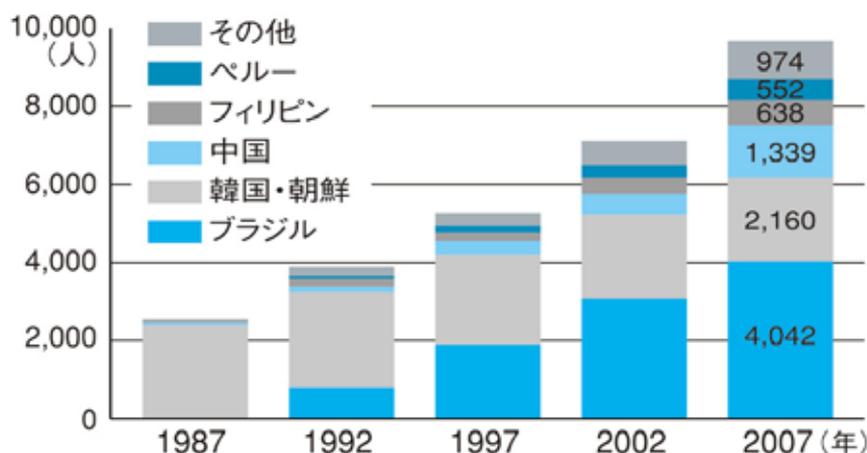
外国語(ポルトガル語)広報の発行

- ・月 1 回(上旬)、2 色刷り、4 ページ、2,400 部作成
- ・日本語からポルトガル語への翻訳、校正、印刷
- ・市立の保育園、幼稚園、小・中学校のほか、ブラジル人学校、各地区市民センター、国際共生サロンなどの関係施設、市民課窓口、外国人生活オリエンテーションでも配布予定

外国語(ポルトガル語)ホームページの作成・掲載

3. 予算額            1,992 千円      (財源内訳) 一般財源            1,992 千円  
(前年度                            0 千円)

■四日市市の国籍別外国人登録者数の推移(各年3月末、2007年は11月末現在)



担当 総務部 広報情報課  
 吉川・矢田  
 3 5 4 - 8 2 4 4

# 電子自治体の構築

## 1. 目的

電子自治体の構築に向け、デジタル地図・電子申請などの大規模システムの導入に取り組む。デジタル地図は行政情報の基盤となるシステムで効率的な情報管理を行う一方、電子申請は市民が多様な行政手続を行う際の選択肢を広げることでより利便性の向上を図ることを目的とする。

また、システム構築や運用において、県域共同化やインターネット上で提供されるシステムサービス（ASP）を活用することでスケールメリットによる経費の軽減や事務処理の標準化を目指すか、あるいは、独自システム導入によるきめ細かな対応等を選択するかを個々に比較検討し、より効果的なシステム導入と業務運用を図る。

## 2. 内容

デジタル地図については、県下市町共同で市町村振興協会の支援を得ながら平成 18 - 20 年度で実施し、今後の更新計画について県や他市町と検討を進めていく。

また、電子申請、電子入札システムについては、導入に向け検討と準備を進める。さらに施設予約については、平成 18 年度に楠プラザから導入を始めたシステムを拡張し、より多くの公共施設においてインターネットからの予約や空き状況照会を行えるようにしていく。

3. 予算額      32,368 千円      (財源内訳) 一般財源      32,368 千円  
(前年度      20,800 千円)



# 税 務 理 財 部

## 新年度予算における基本的な方針

市税全般について、収納率の向上と収入の確保を図るため、納税者に税制度の十分な理解が得られるよう周知・広報を行うとともに、課税対象者の的確な把握に努め、公平かつ適正な課税を行う。また、自主納税をさらに推進していくため、平成21年度の開始を目指してコンビニ収納の導入準備を進めながら、滞納対策の強化に取り組むことによって、累積滞納額の削減に努める。併せて、平成22年度導入予定の事業所税について、平成20年度中に課税に向けての最終調整を完了させる。

国民健康保険については、医療費抑制のため平成20年度から保険者に義務付けられる特定健康診査と特定保健指導を実施する。

### 1. コンビニ収納導入に向けた取組について

平成21年度から軽自動車税と国民健康保険料にコンビニ収納を導入するため、システム開発を行うとともに、収納代行契約等の事務処理を進める。

また、併せてマルチペイメントやクレジットカード等コンビニ収納以外の収納方法についても、業界や他自治体の動向など最新の情報収集に努め、調査研究を継続する。

### 2. 事業所税の導入に向けた取組について

平成22年8月の課税開始（予定）に向け、関係部局によるワーキングを編成し、課税対象となる事業所の把握、非課税あるいは減免対象、申告義務の範囲などについて具体的な結論を出していくとともに、課税システム仕様や各種帳票等の検討を進める。

また、平成20年度中に市議会、商工会議所に対する説明を行うとともに、従来から行ってきた先進地の情報収集等を継続し、円滑な課税導入のための準備を進める。

### 3. 償却資産課税の強化について

償却資産の課税対象の把握は、土地、家屋と比較すると難しいことから、どの自治体も課税漏れの防止に苦勞している。本市は、平成15年度から税務署の法人税申告書を調査し、追徴課税を行ってきたおり、平成20年度はさらに強化する。

また、事業所が申告義務自体を知らないことも未申告の原因となっていることから、制度のPRを積極的に行う。

#### 4. 平成21年度評価替えについて

平成21年度の評価替えに向けて、万全の体制で準備を進める。

また、家屋評価システムの導入により、業務熟練度や個人差による評価のバラツキを平準化するとともに、評価計算業務の短縮により時間外勤務の縮減を図る。

【主な事業】土地評価替えに係る宅地評価図作成業務	10,000千円
家屋評価システム導入事業	3,700千円

#### 5. 市県民税特別徴収の向上について

本市の特別徴収の割合は54.2%で、全国平均とほぼ同率であるが、滞納を未然に防止するため、この割合を高めることが喫緊の課題となっている。このため、特別徴収を実施していない事業所に対して協力を依頼してきているが、大きな成果が得られていないのが実態である。平成20年度は、新たな試みとして県内14市の特別徴収事業所名の情報を相互に交換し、本市では特別徴収を行っていない事業所を抽出し、強く協力を求める。

#### 6. 外国人滞納者対策について

平成19年10月1日時点の滞納者の割合は全市人口の8.2%となっており、滞納者のうち、外国人の割合は10.6%（外国人登録者数比では28.1%）と依然として高率で推移している。その対策として、督促状は翻訳文を裏面に掲載、文書催告等については翻訳した説明文を同封することなどにより納税督促を行ってきており、さらに各書類についての翻訳を進める。

また、年間2回、外国人集住地区を中心に訪宅徴収を実施し、集中的な滞納対策を推進するとともに、外国人を雇用する事業所に対し市県民税の特別徴収実施の要請を行う。

#### 7. 個人情報の保護について

個人情報の保護を図るため、勤務先を通じて配付する市県民税特別徴収税額の決定通知書（納税義務者用）及び軽自動車税の口座振替利用者への継続検査用納税証明書をメールシールによる個別のはがき形式に改善する。

【主な事業】市県民税特別徴収税額の決定通知書の作成経費	650千円
軽自動車税の継続検査用納税証明書（口座用）の作成経費	166千円

#### 8. 公会計制度改革について

総務省から示された新たな「地方行革指針」に基づき、平成21年秋を目処に貸借対照表等の財務諸表の作成開示が義務付けられた。土地及び建物については、既に基礎的なデータを入力済であることから、土地・建物の従物である工作物に係る公有財産データの入力整備を行い、公会計制度の導入に向けた準備を進める。

## 9 . 通信連絡機能向上について

現在使用中の電話交換設備は平成11年10月に設置したもので、既に耐用年数を経過しており、交換部品の調達も困難になりつつあることから、災害時の情報収集、通信機能の向上を図るとともに、IP電話サービス対応やナンバーディスプレイ機能を備えた新電話交換設備に更新する。

【主な事業】市庁舎電話設備整備費 10,216千円

(平成20年度から26年度までの債務負担 各年度 10,216千円)

## 10 . 国民健康保険事業について

平成21年度より所得割の賦課方式を「本文方式」から「旧ただし書き方式」へ変更する。これに伴い、所得割額が増加する世帯に対して経過措置を実施するとともに、市民に十分な理解が得られるよう広報よっかいち、ホームページ等で周知を行う。

また、平成20年度から医療制度改革により、医療費抑制のために保険者に義務付けられる新たな生活習慣病対策としての特定健康診査と特定保健指導を実施するとともに、これまでの「脳ドック」「歯科検診」等の補助事業も継続する。

【主な事業】保険者特定健康診査等事業費 250,759千円

## 11 . 入札契約制度の改革について

四日市市入札契約制度等改善検討委員会の提言を受けて、平成20年4月から「地域補正制度」を廃止して「希望価格制度」を導入する。併せて、くじ引きによる最低制限価格の決定方法に替えて「変動型最低制限価格制度」を導入する。

また、「総合評価落札方式」及び「測量調査設計業務の一般競争入札」の試行について、四日市市入札契約制度等改善検討委員会の提言により、試行を検討する。

## 12 . 工事検査について

平成17年4月1日に「公共工事の品質確保の促進に関する法律」が施行されたことにより、発注者の責務として工事中及び完成時の施工状況の確認及び評価を適切に実施することが法的に義務付けられた。これに伴い、施工状況等を的確に判断することができる検査技術力を養うとともに、監督員の施工途中における段階確認を確実にを行うよう指導育成に努める。

また、より品質の高い工事内容を担保するため、埋め戻し等によって不可視となる部分について中間検査等を実施する。

# 市民文化 部

## 新年度予算における基本的な方針

個性豊かで、活力のある地域社会の実現を目指し、市民がその個性と能力を十分発揮できるような環境づくりを推進するとともに、市民文化の向上を目指した様々な取り組みや、生涯学習支援を行っていく。

地区市民センターについては、地域社会づくりの拠点としてより一層市民に親しまれるものとなるよう、今後のあり方を幅広く協議するとともに、導入4年が経過した地域マネージャーの増員も図っていく。

また、市民による様々な地域活動に対する支援制度に関しては、より一層内容を充実すべく、全庁的な視点での検討・協議を進めていく。

さらに、市民が主体的に文化活動や生涯学習活動がしやすいよう、文化振興財団の自主事業の充実や市民大学の内容拡充などにも積極的に取り組んでいく。

また、併せて男女共同参画社会の実現に向けて、市民により身近なところで、全市民的に男女共同参画意識が広がるよう、市民、事業者と協力・連携して、施策の展開を図っていく。

さらに、急増する外国人市民と共に暮らす地域づくりを目指して、外国人集住地区における教育、日本語学習などの課題解決を地域団体とともに進め、これらの取り組みを全市域における多文化共生社会の実現につなげていく。

## 1. 地域社会づくりについて

市民主体の地域社会づくりを推進し、市民一人一人の地域活動への参加を促進するため、地域社会づくり総合事業費補助金をはじめ、市民活動団体の発掘・育成のための「個性あるまちづくり支援事業」、「四日市市民活動ファンド」などにより積極的に地域活動を支援する。

また、「市民活動による地域再生計画」に位置づけた自主防犯活動を通じたコミュニティ形成事業等に取り組む中間支援NPOの育成・強化を図るとともに、自治会やNPOがそれぞれの役割分担のもと、連携して地域活動に取り組めるような環境づくりを進める。さらに、庁内組織「市民協働推進会議」により、全庁的な視点で市民協働への取り組みを強化するとともに、地区市民センターの今後のあり方について、様々な立場の市民の参画を得て幅広く協議する。

### 【主な事業】

#### 市民活動支援事業

地域再生計画推進事業	7,500千円
改 個性あるまちづくり支援事業	19,577千円

（うち市制施行111周年記念事業分）	800千円）
地域社会づくり総合事業費補助金	77,419千円
新地区市民センター改革推進協議会	515千円
地区市民センター住民運営推進事業	66,300千円
集会所建設補助金（耐震改修分）	15,000千円

## 2. 安全なまちづくりについて

子どもの見守り活動をはじめ、住民による自主防犯活動が活発化する中、団体間のネットワーク組織として自主防犯活動団体と3警察署により「四日市市地域防犯協議会」を組織し、情報共有を図りながら犯罪抑止に向けた活動を行っている。本年度も引き続き、防犯活動への取り組みが手薄な地区において「個性あるまちづくり支援事業（防犯枠・子ども見守り枠）」の積極的な活用を呼びかけるなどして、同協議会の拡大や啓発活動の充実を図り、良好なコミュニティ形成という視点から安全なまちづくりを推進する。

### 【主な事業】

個性あるまちづくり支援事業（防犯枠・子ども見守り枠）	6,000千円 (19,577千円のうち再掲)
繁華街等防犯対策活動補助金	800千円
防犯外灯新設維持費補助金	76,686千円

## 3. 文化振興について

平成16年度策定の「四日市市文化振興ビジョン」を受けた実施計画を具体的に進める会議（「四日市市文化行政総合企画調整会議」・「四日市市文化振興に関する市民会議」）を有効に開催し、文化行政の全庁的な展開を図る。また、文化振興基金を活用し、民間の文化施設で行われる優れた芸術・文化事業に対する支援や、市民が開催する全市文化事業・地区文化事業に対する支援を行う。さらに、市民の文化活動の中心でもある文化会館については、老朽化設備の更新工事を計画的に行いながら、市民により安心して快適に使っていただけるような環境整備を行う。また、平成18年度から指定管理者として任意指定した四日市市文化振興財団による文化会館・茶室の管理運営について、モニタリングをしっかりと行ないながら3ヵ年目を進める。また、市制施行111周年記念事業を各種行なう。

【主な事業】 文化会館施設整備事業	88,000千円
文化会館等管理運営委託費	336,708千円
新市制施行111周年記念文化事業	8,600千円

#### 4. 生涯学習活動支援について

市民の学習機会の提供として市民大学を市民企画も含めて開催するほか、民間を含めた各種学習情報のホームページでの掲載など、生涯学習活動支援を積極的に行う。また、各地区市民センター講座については、住民との協働により地域課題に応じた講座を計画し実施していく。

【主な事業】	市民大学一般クラス経費	3,274千円
	市民大学熟年クラス経費	3,142千円
	地区市民センター生涯学習事業費	5,682千円

#### 5. 広聴事業について

「市政アンケート」を年1回実施し、市政全般に対する市民の意識や要望などを聴き、各部局での施策に反映させる。また、パソコンや携帯電話の電子メールを利用した「市政ごいけんばん」では、双方向性を生かし、各部局の個別事業に対する市民の意見を迅速に把握し、的確な施策展開を目指す。

【主な事業】	市政アンケート経費	2,129千円
	市政ごいけんばん経費	1,418千円

#### 6. 市民相談・消費生活相談事業について

安全・安心な市民生活が送れるよう、日常生活上の問題や消費生活トラブルに関する相談のほか、市政等行政に対する意見・苦情等を聞き取り、迅速な解決を目指している。特に、特別市民相談の体制充実も図っていく。また、「消費生活出前講座・ワンポイント講座」を実施するなど、消費者被害の未然防止にも努める。

【主な事業】	市民相談室運営費	2,142千円
	消費生活相談事業費	3,423千円

#### 7. 窓口サービスの効率化について

戸籍や住所異動の届出受付、戸籍や住民票の証明発行などの窓口業務について、住民の視点に立ち、より正確、より迅速、より親切をモットーに、無駄のない効率的な窓口を目指す。

【主な事業】	戸籍住民基本台帳事務費	97,925千円
	市民窓口サービスセンター運営費	4,139千円

#### 8. 男女共同参画の推進について

男女共同参画審議会・市民さんかく会議・男女共同参画推進庁内調整会議等との調整を図りながら、庁内外において男女共同参画施策を展開する。そして市民協働の観点から男女共同参画アドバイザー（市民ボランティア）等による市民啓発、市職員研

修を進めていくとともにワーク・ライフ・バランスを推し進めるため、事業者に対して助成も含めた啓発等事業を実施する。

【主な事業】	男女共同参画推進事業	3,653千円
	男女共同参画センター事業	8,342千円
	(うち市制施行111周年記念「つどいよっかいち」事業拡大分	
		300千円)

## 9. 多文化共生社会づくりの推進について

日本で生活する上で必要な行政情報等を外国人市民に正確に伝えるため、引き続き生活オリエンテーションを実施する。また、外国人集住地区における課題解決のために、特に自治会や地域団体との連携した取り組みを強化し、その一環として、防災に重点を置いた啓発事業を行い、災害発生時に備える。

外国人労働者と密接なつながりのある商工会議所等の団体と連携して、市全域における多文化共生社会(=国籍や民族の異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、共に生きていく社会)の実現を目指す。

また、四日市国際交流協会や地域団体、市民団体と連携し、日本語講座や生活相談等を実施するとともに、外国人集住都市会議に引き続き参加して、同様の課題を抱える都市間での情報交換を行い、法制度の改革が必要な課題については連携して取り組んでいく。

【主な事業】	多文化共生推進事業	10,294千円
	国際共生サロン管理運営委託	8,545千円
	四日市国際交流協会への補助金	15,000千円

## 10. あさけプラザ事業について

年間約32万人の施設利用者がある当館は、開館後23年が経過しており、住民が安全で安心して、また快適に利用できるようホール舞台機構(電動の吊物関係)の改修を行う。

広域利用の複合施設として、より多くの住民に利用していただけるよう施設管理及び施設運営の見直しを引続き行う。

また、自主事業の見直しにより内容の充実を図るとともに、当館の積極的なPRにも努める。

【主な事業】	施設管理運営費	72,680千円
	施設整備事業費	38,000千円
	図書資料整備費	1,100千円
	あさけプラザ運営協議会負担金	1,300千円

## 市民活動支援事業

### 1. 目的

「市民主体のまちづくり」を推進するため、市民が自主的に取り組む公益活動を積極的に支援し、地域コミュニティのさらなる充実を目指す。

### 2. 内容

#### 【個性あるまちづくり支援事業】

本事業と市民活動ファンドの両制度について再度整理見直しを行い、これまでファンドが対象としていたNPO法人も含め、個性あるまちづくり支援事業で一体的に助成していく。

また、市制施行111周年記念事業として、11月1日に市民活動団体自らの企画・運営により、なやプラザ、駅前などで市内の様々な市民活動団体の活動紹介、市民活動フォーラム等の事業を実施する。

助成総額 ・一般枠 約 12,490 千円  
・防犯活動枠、子ども見守り枠 約 6,000 千円  
・市制施行111周年記念事業分 800 千円



#### 【四日市市民活動ファンドへの出捐】

市民活動を支援するために設立された市民活動ファンドへ寄附金分の出捐を行う。

なお、平成20年度は、個性あるまちづくり支援事業のNPO法人向けという位置付けを見直し、他の支援制度には該当しないが、社会貢献が十分認められるような、より公益性が高い市民活動を対象に助成を行う制度とする。

出捐金額 約 500 千円

#### 【地域再生計画推進事業】

地域再生法に基づく「市民活動による地域再生計画」に位置付け、NPOが国の支援を受けて実施した事業について、継続性の観点などから市独自の支援を行う。

助成総額 7,500 千円

事業名：スチューデント・エコノミー四日市構築事業（平成17年度）

シニアまちづくり人材バンク構築事業（平成18年度）

自主防犯活動による地域コミュニティの「輪・話・和」（平成19年度）

3. 予算額 27,577 千円 (財源内訳) その他特財 500 千円  
(前年度 27,277 千円) 一般財源 27,077 千円

担当 市民文化部市民文化課  
人見・山口  
354 - 8179

## (新)地区市民センター改革推進協議会

### 1. 目的

住民が主役のまちづくりを目指し、地区市民センターが今まで以上に地域社会づくりの拠点となるよう、地域振興業務、公民館業務、窓口業務のそれぞれの機能をより一層住民ニーズに合致したものに改革するため、幅広く協議する。

### 2. 内容

地区市民センターが担っている「地域振興業務」「公民館業務」「窓口業務」のそれぞれの機能について、次の項目を行う。

- (1) 現状の確認
- (2) 課題の抽出
- (3) 今後の改善方策の協議・検討
- (4) まとめ

### 3. 設置期間

平成20年2月～平成21年3月31日まで

平成20年度・・・部会は各4回、全体会は2回開催予定

### 4. 委員構成

(委員35人・・・3つの部会と全体会から構成する。)

部会名	構成団体	部会委員数	全体会
地域団体部会	地区連合自治会	9人	35人
各種団体部会	地区社会福祉協議会連絡協議会 民生委員児童委員協議会連合会 老人クラブ連合会 子ども会育成者連絡協議会 PTA連絡協議会 サークル代表	12人	
個人利用者部会	自営業者/勤労者 NPO法人/若者 子育て世代/介護経験者など 公募委員	14人	

5. 予算額            515千円                    (財源内訳) 一般財源            515千円  
 (前年度            0千円)

担当 市民文化部市民文化課  
 小林・伊藤  
 354-8146

## 安全なまちづくり(防犯関係)推進事業

### 1. 目的

市民を取り巻く街頭犯罪などの県内における刑法犯認知件数は、平成14年度をピークに減少傾向にあるものの、10年前のおよそ2倍と依然高いレベルにある。そのような状況の中、本市においては、近年、自主防犯に対する活動が活発化しており、引き続き住民による防犯活動を積極的に支援することで、安全なまちづくりを推進する。

### 2. 内容

「個性あるまちづくり支援事業」の特別枠である「防犯活動枠」「子ども見守り枠」  
当初予算額 約6,000千円  
引き続き防犯活動枠を設定して、自主防犯活動に取り組む団体の発掘・育成を図る。

防犯活動枠・子ども見守り枠(立ち上げ期のみ)

補助金額	立ち上げ期	: 100千円限度	補助率	10/10
	中級編	: 750千円限度	補助率	2/3~9/10
	上級編(4年目以降)	: 300千円限度	補助率	3/5

同制度に応募のあった自主防犯活動団体と3警察署で組織する「四日市市地域防犯協議会」(現19団体)のさまざまな活動を通じて、広く防犯活動の啓発を図るとともに、同協議会への参加団体の拡大に努め、より広域的な協議会を目指す。



防犯シンポジウム

### 繁華街等防犯対策活動補助金

当初予算額 800千円

街頭犯罪や客引き等の迷惑行為が多発化する市内の繁華街等において、地域住民が取り組む環境浄化活動などに対して支援を行う。

限度額: 500千円(3ヶ年限度) 補助率: 9/10

### 防犯外灯新設維持費補助金の拡充

当初予算額 76,686千円(うち楠統合分1,600千円、H18:69,500千円)

補助率 電灯料: 75%、 設置・修繕: 1/2(限度額14,000円/基)

3. 予算額 83,486千円  
(前年度 76,300千円)

(財源内訳) 一般財源 83,486千円

担当 市民文化部市民文化課  
人見・杉本  
354-8179

## なやプラザ(なや学習センター・市民活動センター)の運営

### 1. 目的

平成18年度からの指定管理者制度の導入に伴い、市民の自主的で営利を目的としない社会貢献活動の促進を目的とする市民活動センターと市民の生涯学習活動を支援し、まちづくり活動を促進することを目的とするなや学習センターを、なやプラザとして一体的に運用し、より市民活動団体等のニーズに即応した管理、運営を行う。

また、平成20年度末に、現指定管理が終了するため、新たな指定管理者の選定を行う。

### 2. 内容

平成20年度も、3年間の指定管理を受けた四日市NPOセクター会議「なやプラザ」運営委員会(4NPO団体による共同体 代表者:(特)市民社会研究所)が管理運営を行う。

#### (1) 業務内容

施設の管理運営  
情報の収集・提供・交換  
講座の企画・実施

#### (2) 平成19年度利用実績(4月～11月)

人数 37,638人 (前年 32,318人)  
貸室等件数 2,727件 (前年 2,185件)

### 3. 予算額 12,000千円 (前年度 12,000千円)

(財源内訳) 一般財源 12,000千円



担当 市民文化部市民文化課  
人見・岸田  
354-8179

## 文化行政推進事業

### 1. 目的

本市の文化行政を推進することを目的に、文化の振興に関する基本計画（文化振興ビジョン）に基づく「四日市市文化振興実施計画」を推進するため、市民が参加し協議する市民会議等を開催し、文化行政を市全体で総合的に取り組むよう具体的に進める。

### 2. 内容

平成14年6月、議会提案により「四日市市文化振興条例」が制定され、その条例に基づく「四日市市文化振興審議会」と、文化振興に関する基本計画である「文化振興ビジョン」に基づく「四日市市文化振興実施計画」を具体的に進める庁内会議「四日市市文化行政総合企画調整会議」及び市民会議「四日市市文化振興に関する市民会議」、この3会議を効果的に開催し、狭い領域での文化行政という意識を払拭し、行政各課の文化の視点をいれた取り組みの促進と、市民が主体となった文化活動が展開しやすく、文化活動でまちの誇りを創出するという市民意識の高揚につなげる。

平成19年度実績（予定含む）

四日市市文化振興審議会	第19・20回開催		
四日市市文化行政総合企画調整会議	会議開催	2回	
四日市市文化振興に関する市民会議	会議開催	4回	

3. 予算額 337千円 (財源内訳) 一般財源 337千円  
(前年度 337千円)



市民会議「四日市の文化再発見ツアー」

担当 市民文化部市民文化課  
川尻・秦  
354-8239

## 文化振興基金活用事業補助金

### 1. 目的

市民文化の振興を図るため昭和60年から積み立て目標額2億円に達した文化振興基金を活用して、市民を対象にした文化的事業に対して支援する。

### 2. 内容

#### 文化振興事業支援補助金

全市的事業 20万円上限 補助対象経費の1/2以内

平成19年度実績 3団体 計 600千円(見込み額)

地区事業 10万円上限 補助対象経費の1/2以内

平成19年度実績 9団体 計 810千円(見込み額)

#### 民間文化施設文化活動支援事業

民間の優れた文化施設を利用して行われる文化事業に対して補助金を交付し、入場料の低廉化を図り優れた芸術文化活動に触れる機会を提供するとともに、都市の貴重な文化的資産としての永続的な維持に資するようにしていく。

平成19年度実績 2団体 計 400千円(見込み額)

3. 予算額	3,439千円	(財源内訳) その他特財	3,400千円
(前年度)	3,039千円)	一般財源	39千円

担当 市民文化部市民文化課  
川尻・廣瀬  
354-8239

## 文化会館関連事業

### 1. 目的

開館以来25年、市民の文化活動の拠点として高い稼働率を保ちながら市民の利用に供し、また優れた芸術文化事業を行なっている文化会館の老朽化に伴い、施設管理上の安全面を確保し利用者に支障や損害を与えることの無いよう、設備の更新・改修を計画的に行なう。また、平成18年度から導入した指定管理者制度において文化会館及び茶室泗翠庵の管理を四日市市文化振興財団に任意指定した3年目として、さらに管理の水準の向上に努める。さらに、次期指定管理者について、施設の目的を達成するためより良い内容を検討し、募集や選定に向けて進める。

### 2. 内容

文化会館施設整備事業費（88,000千円）

第1ホールの舞台吊り物装置の更新等を行なうとともに、一部腐食が発見されたガス管の入替修理を行なう。

文化会館等管理運営委託費（336,708千円）

ホール、展示室、会議室をはじめとする貸館業務について、市民文化活動の拠点として効率的効果的に運営するとともに、ホール事業やアウトリーチ事業など、四日市市文化振興財団ならではのノウハウを活かした事業を実施するよう促すことで、指定管理者制度のメリットを市民に享受してもらうべく取り組む。

3. 予算額	424,708千円	(財源内訳)	その他特財	100,482千円
(前年度)	477,526千円)		市債	68,400千円
			一般財源	255,826千円



第1ホール事業「第九コンサート」

担当 市民文化部市民文化課  
廣瀬・小宮  
354-8239

## (新)市制施行111周年記念文化事業

### 1. 目的

市制施行111周年にあたり、平成20年を本市のまちづくりを更に進める「はじめの一步」の年として行う記念事業のうち、四日市の個性や誇りを再確認・再発見するとともに、市民相互の連帯感を醸成する文化事業を行う。

### 2. 内容

#### 第63期本因坊決定戦七番勝負 第四局

現在の高尾紳路本因坊が四日市にゆかりのある方であることから、平成20年に開催される第63期本因坊決定戦七番勝負のうち一局を茶室泗翠庵で開催する。  
平成20年6月22日～24日開催(対局2日間)

#### 四日市太鼓フェスティバル

四日市に多くある和太鼓チームが、日頃の活動のネットワークを活かし全国の和太鼓チームを招聘し、全国に発信できるイベントを開催する事業に対して補助する。

平成20年5月25日開催

#### 記念コンサート

平成18年、19年度に行った公共ホール音楽活性化事業で招いたアーティスト2名による記念コンサートを行う。また、子どもたちに身近なところでよい音楽に触れてもらうため、学校を訪問しての演奏も行う。

ホールコンサート 平成20年12月17日開催予定

市立小学校訪問 2校(4公演) 12月18日予定

#### 市民文化奨励賞

文化の裾野を広げるべく、市民が主体的に行っている文化活動を奨励し、今後の活動の励みとしていただくことを目的に表彰する。

平成20年11月3日 文化功労者表彰にあわせて表彰

3. 予算額	8,600千円	(財源内訳)	その他特財	1,350千円
(前年度)	0千円)		一般財源	7,250千円

担当 市民文化部市民文化課

廣瀬・秦

354-8239

## 生涯学習支援事業

### 1. 目的

市民がライフステージに応じた生涯学習活動を行えるよう支援するとともに、市民の学習意欲が主体的な市民活動に繋がるよう市民大学講座や学習情報提供事業及び住民との協働による地区市民センター講座等を実施する。

### 2. 主な内容

市民大学一般クラスは、人権、芸術・文化、地域学（四日市）、自由設定のジャンルを設けて公募する市民企画運営のコースに加え、大学にも委託し、21世紀ゼミナールや地域づくり講座を含め、6～8コースを設定する。

予算額 3,274 千円

学習情報提供については、市民ボランティア記者作成のホームページを含めた学習情報編集活動を促進し、市民との協働による学習機会の情報発信を引き続き進める。

予算額 558 千円

地区市民センターで開催する講座については、講座実施に関わる住民とともに年間計画を作成し、地域に根ざした生涯学習活動を推進する。

予算額 5,682 千円

3. 予算額	12,656 千円	(財源内訳)	その他特財	3,865 千円
(前年度	13,388 千円)		一般財源	8,791 千円

担当 市民文化部市民文化課  
沢田・小宮  
354 - 8239

## 市民相談・消費生活相談事業

### 1. 目的

安全・安心な市民生活が送れるよう、日常生活上の問題や消費生活トラブルに関する相談のほか、市政等行政に対する意見・苦情等を聞き取り、迅速な解決に努める。

### 2. 内容

市民相談室運営費（予算額 2,142 千円）

市民相談では、民事や家事、行政への意見等を聞き取り問題解決に当たる。また、弁護士・司法書士・行政書士・公証人・行政相談員による特別相談を定期的を実施する。20年度には社会保険労務士相談を試行する。多重債務者問題では、市の関係機関や相談窓口、国・県と連携するとともに、弁護士・司法書士の専門相談を案内し、早期発見・解決に努める。

（参考）平成18年度相談実績 3,929件

うち行政（市・県・国等）に関する相談	1,379件
民事（金銭貸借、土地家屋等）	1,536件
家事（離婚、相続、遺言等）	1,014件
特別相談（弁護士、司法書士他）	630件

消費生活相談事業費（予算額 3,423 千円）

消費生活相談では、消費生活のトラブル等に関する相談に対して専門の消費生活相談員が迅速に対応するほか、専門相談員を派遣する出前講座や職員によるワンポイント講座を各地区で開催し、積極的な啓発活動を行う。

（参考）平成18年度相談実績 2,349件

うち通信販売（架空請求を含む）1,239件、訪問販売232件、店舗販売293件、電話勧誘132件ほか

3. 予算額 5,565 千円（前年度 5,684 千円）  
（財源内訳）一般財源 5,565 千円

担当 市民文化部市民文化課  
広聴・消費生活相談室  
山下・多賀  
354-8147

# 男女共同参画事業

## 1. 目的

男女が互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現をめざし、そのための施策を推進する。

## 2. 内容

男女共同参画審議会・市民さんかく会議・市内推進会議間の連携を図りながら市内外において男女共同参画施策を展開する。男女共同参画社会の実現に向けてアドバイザーと協力し、市民への意識啓発及び市職員研修を進めると共に、男女共同参画の推進には、事業者の理解が極めて重要であることからホームページ等による情報提供を始めとして、事業者がワーク・ライフ・バランスに関して研修等取り組んだ場合には、助成を行う。

男女共同参画審議会・市民さんかく会議・男女共同参画推進市内調整会議の運営  
 男女共同参画アドバイザーによる市民、市職員への啓発・研修の実施  
 市民グループ等との協働事業（調査研究、グループ支援など）の実施  
 人材リストの活用による市内審議会等女性委員の登用推進  
 ワーク・ライフ・バランスの推進

3. 予算額            3,653 千円                    (財源内訳) 一般財源        3,653 千円  
 (前年度            3,172 千円)

平成 18 年度男女共同参画センター相談実績

相談内容	来所	電話	巡回	合計
生き方	10	25	0	35
こころ	8	44	0	52
からだ	2	17	0	19
仕事上の悩み	8	14	0	22
夫婦関係の悩み	214	339	2	555
別れた夫の悩み	20	31	0	51
配偶者等からの暴力	67	151	18	236
親子・家庭親族の悩み	37	113	0	150
人間関係の悩み	41	68	3	112
性・性的被害	3	8	0	11
暮らしの悩み	28	113	6	147
その他の悩み	2	6	0	8
保護・更正	0	4	3	7
合計	440	933	32	1405

男女共同参画センターでは、女性を取り巻く諸問題の解決と男女共同参画社会の実現に向けての拠点施設として、女性のための相談業務、情報・学習機会の提供、団体・グループへの支援、交流の場の提供などに取り組む。相談員の資質向上を目指し、スーパービジョン(相談員のための相談)研修を引き続き実施する。

市制施行111周年を記念して「つどい」事業を拡充し開催する。

予算額    8,342 千円  
 (前年度    8,270 千円)

(財源内訳)

国庫支出金    664 千円  
 県支出金        470 千円  
 その他            335 千円  
 一般財源        6,873 千円

担当 市民文化部男女共同参画課  
 水谷  
 354 - 8331

## 多文化共生推進事業

### 1. 目的

南米日系人が多く居住する外国人集住都市として様々な課題を抱えているものの、民族や国籍が異なる市民が互いの個性を認め合い共に暮らす「多文化共生社会」を目指す取り組みを各種展開することで、市民生活をより豊かなものとしていく。

### 2. 内容

外国人市民向け生活オリエンテーション 予算額 2,940 千円

日本で生活する上で必要な行政情報等が十分に伝わらないため生じる課題も多いことから、直接対面式で母語による説明を行う「外国人市民向け生活オリエンテーション」を引き続き実施し、効果的な行政情報提供を行う。

平成19年度利用実績（4月～9月）

- ・オリエンテーション利用者人数 655人
- ・行政窓口案内人数 1,487人

在住外国人共生推進関係経費 予算額 7,354 千円

四日市市多文化共生推進協議会、笹川地区共生推進会議、共生推進庁内会議などを開催し、関係機関や関係部署が協働して課題の解決に向けた取り組みを進めることにより、すべての人が参加する多文化共生社会づくりにつなげていく。

ブラジルなど南米は地震が無い国が多く、地震に対して過度な不安を抱く市民も少なく無いため、防災に重点を置いた啓発事業などを地域や関係部署と連携して進め、災害発生に備える。

また、単独の自治体のみでは解決できない問題も多いため、同様の課題を持つ都市により組織された外国人集住都市会議を通じ、連携した取り組みを行っていく。

3. 予算額 10,294 千円 (財源内訳) 一般財源 10,294 千円  
(前年度 9,883 千円)



外国人市民向け生活オリエンテーション

担当 市民文化部国際課  
坂倉・宮原  
TEL 354 - 8114

## あさけプラザ施設整備事業

### 1. 目的

住民の文化、教養、スポーツ、福祉等の活動および交流の場として、その機能を将来にわたって維持できるよう、老朽化した施設・設備を緊急度の高いものから計画的に改修する。

### 2. 内容

住民が、安全で安心して、また快適に施設利用ができるように、耐用年数を経過し、老朽化したホール舞台機構（電動の吊物関係）の改修を行う。

緞帳・スクリーン・天井反射板等の駆動機を更新

駆動装置の制御盤及び操作盤の更新

3. 予算額 38,000 千円 (財源内訳) 一般財源 38,000 千円  
(前年度 47,000 千円)

担当 市民文化部あさけプラザ  
伊藤・清水  
363 - 0123

# 楠 総 合 支 所

## 新年度予算における基本的な方針

楠総合支所は、引き続き「地域住民の不安解消」に努めながら「まちづくりの拠点」という観点に重点を置き、地域の特性を活かした自主・自立のまちづくりに向けた取組みを進める。そのため、地域活性化事業、第2次行政経営戦略プランの「楠歴史・文化のまちづくりモデル事業」を進めるほか、公民館事業や相談機能の充実を図る。

また、地域審議会の開催や、地域住民の意識調査を引き続き実施し、今後の楠地区のまちづくりに反映させるとともに、地域地区別構想策定への取組みを進める。

### 1. 地域活性化事業について

楠地区における住民の自主・自立のまちづくりを進めるため、引き続き楠健康ふれあいフェスタ、運動会、文化祭等の支援を行う。なお、団体活動補助は、経過措置に基づき段階的な削減を行う。

地域審議会は、新市建設計画の進捗状況等の審議を行うほか、平成21年度をもって制度統一の経過措置が終了することから、説明や周知等に関して意見を求めている。併せて「楠地区の今後のまちづくり」についての協議や意見集約を行う。

また、地域住民の意識を把握するため地区懇談会やまちづくりアンケートを引き続き実施し、更なる市民主体によるまちづくり施策の推進に反映させる。

【主な事業】	地域活動支援事業	3,485千円
	地域各種団体支援事業	1,641千円
	地域審議会	322千円
	市民まちづくり事業	139千円

### 2. 楠歴史・文化のまちづくりモデル事業について

第2次行政経営戦略プランの、楠歴史・文化のまちづくりモデル事業は、地域住民主体のまちづくり実現のため、地域との協働によるまちづくり計画の策定に向けて引き続き支援を行う。

併せて、まちづくりの拠点施設である楠歴史民俗資料館の充実・活用を図る。

【主な事業】	楠歴史・文化のまちづくりモデル事業	1,700千円
	(内訳)	
	・計画策定事業	300千円
	・活性化事業	1,400千円

## 楠歴史・文化のまちづくりモデル事業

### 1. 目的

住民と行政が協働して、歴史、伝統、文化そして自然をキーワードに、住民自らが地域を再発見し、楠地区の特性を生かしつつ、「住んでよかった」と実感できる自主・自立のまちづくりを進める。

また、楠歴史民俗資料館を歴史文化の拠点として位置付け、その充実と活用を図る。

### 2. 内容

#### 楠歴史・文化のまちづくり計画策定事業

歴史・文化のまちづくり計画策定に向けて地域のまちづくりへの関心を高めるとともに、まちづくりに向けた組織化や活動への支援を行う。

- ・ まちづくり学習会

#### 楠歴史・文化のまちづくり活性化事業

歴史・文化の拠点施設である楠歴史民俗資料館の活用を図るため、地域の方々の参画による事業を展開する。

- ・ 夜間特別開館、ホタル観察会、体験教室の開催
- ・ 地域との協働による楠マップの作成

3. 予算額 1,700千円(財源内訳) 一般財源 1,700千円  
(前年度 1,540千円)



担当 楠総合支所 楠プラザ  
中村寿郎

397-2277

おもしろ楠学 第1回「歴史と小説」講演会  
平成19年11月開催

# 保 健 福 祉 部

## 新年度予算における基本的な方針

わが国の高齢化は、少子化とともに世界でも例を見ないスピードで進展しており、このまま低出生率が続けば、人口が減少し、「超少子高齢社会」になると予想されている。こうした情勢を背景として、国は介護保険の改正、障害者自立支援法の制定、後期高齢者医療制度の平成 20 年度施行など、福祉、介護、医療等の制度見直しを行ない、「持続可能な社会保障制度」の構築を目指している。

本市にあっては、四日市市次世代育成戦略プランに基づき、引き続き特別保育、児童虐待防止等の子育て支援策を推進するほか、高齢福祉にあっては、「第 3 次介護保険事業計画」と「第 4 次高齢者保健福祉計画」に基づき、在宅介護の充実と介護施設の整備促進を図るほか、介護予防にも努める。

また、障害者福祉については、第 2 次四日市市障害者計画及び障害者自立支援法の規定による四日市市障害福祉計画に基づいて障害福祉施策を実施し、障害のある人の地域における自立生活を支援していく。

保健事業については、平成 20 年度保健所政令市への移行に伴い、従来の保健業務に加え、未熟児訪問、療育指導等、市民に密着した事業の充実を図る。

## 1. 児童福祉について

次代の社会を担う子どもが健やかに生まれ、育成される環境の整備を図るために策定した四日市市次世代育成戦略プランに掲げる様々な子育て支援事業を推進する。

多様な保育サービスを提供するため、乳児保育を 2カ所、延長保育を 2カ所、特定保育を 2カ所、一時保育を 2カ所、それぞれ拡充する。

また、子育て家庭を支援するため、子育て支援センター、保育園での「あそぼう会」において、安心して子育てできるように相談や情報提供を行うほか、遊びの場や保護者同士の交流の場の提供を行う。さらに、子どもの虐待防止ネットワーク事業において、子どもの虐待の早期発見、早期対応、未然防止に向けて関係機関が定期的に会議を開催するとともに、連携して必要な支援に結びつける。

公立保育園の民営化については、平成 19 年度移管の河原田、水沢、西浦の 3園に引き続き、20 年度は高花平、三重の 2園を社会福祉法人に移管する。また、移管先法人が行う施設の整備について、経費を一定の範囲内で助成する。

母子家庭の生活の安定と自立を促すため、母子生活支援施設の機能を活用し、保育サービスを提供する。引き続き母子家庭自立支援給付金事業を実施するとともに、母子自立支援プログラムの策定を行い、公共職業安定所と連携して母子家庭の就労による自立を支援する。

【主な事業】民間保育所延長保育事業	1 3 2 , 4 4 2 千円
民間保育所乳児保育促進事業	1 6 , 1 6 8 千円

民間保育所特定保育事業	24,786千円
民間保育所一時保育事業	18,040千円
地域子育て支援拠点事業費補助金	27,543千円
児童虐待防止対策事業	1,677千円
保育所民営化推進事業	65,700千円
母子家庭自立支援給付金事業	1,736千円
乳幼児医療費助成事業	395,058千円
児童手当	2,471,994千円
不妊治療医療費助成事業	24,300千円

## 2. 介護保険事業・高齢者施策について

本市の65歳以上人口は、平成19年10月1日現在60,819人で、高齢化率は19.4%と年々高齢化が進んでいる。こうした状況を踏まえ、介護を必要とする高齢者が住み慣れた地域で暮らせる「健康で安心と生きがいある長寿社会」を実現するため高齢者施策を推進する。

その具体的な施策として、在宅介護を支援するため、短期間の入所ができるショートステイ施設の整備促進に向けて建設費補助を行うとともに、在宅介護支援センターに高齢者相談事業を委託する。

さらに、養護老人ホームの改築や既存特別養護老人ホームの定員の一部を市域内に分散させるサテライト型特別養護老人ホームの新築に対する建設費補助を行い、施設の整備も促進する。

介護保険事業については、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、地域の中核機関として平成18年4月に市内3カ所に設置した地域包括支援センターにおいて、総合相談・支援、包括的・継続的マネジメント、介護予防マネジメントの事業を行うとともに、高齢者の相談窓口として整備してきた在宅介護支援センターとの重層的なサービスネットワークを強化していく。

また、一人暮らし高齢者の見守り支援のための訪問給食事業、家族介護の負担軽減を目的としたおむつ支援事業、今後一層必要性が高まる高齢者虐待防止推進事業等を継続する。

さらに、要支援、要介護状態になることや重度化の予防・改善を図るため、介護予防事業を継続して実施する。

【主な事業】	在宅介護支援センター事業	108,174千円
	訪問給食事業	51,554千円
	おむつ支援事業	66,258千円
	地域包括支援センター事業	134,940千円
	介護予防事業	328,531千円
	民間社会福祉施設建設費補助事業	284,427千円
	高齢者虐待防止推進事業	709千円

### 3. 障害者福祉について

平成 18 年度に導入された障害者自立支援法に基づき、障害のある人が地域で安心して自立生活や社会生活を営めるよう、各種施策を実施していく。

障害福祉サービスに位置づけられている介護給付、訓練等給付のほか、自立支援医療及び補装具などの自立支援給付事業については、利用の状況や各施設の新体系への移行の動向を把握し、安定したサービスが提供できるよう、サービス提供体制の整備に努める。

また、市町村事業である地域生活支援事業については、障害のある人の地域での生活を支援するため、日常生活用具等給付事業や移動支援事業、日中一時支援事業などの各事業の充実を図っていく。

【主な事業】	居宅介護等事業費	1 6 1 , 6 0 0 千円
	生活介護事業費	2 9 6 , 0 0 0 千円
	旧法施設支援事業費	9 2 7 , 8 2 0 千円
	自立支援医療費	2 4 1 , 4 6 6 千円
	補装具費	6 0 , 6 0 0 千円
	日常生活用具等給付事業費	5 0 , 3 8 0 千円
	移動支援事業費	1 9 , 7 3 3 千円

### 4. 保健事業について

母子保健事業においては、従来の疾病、発達障害の早期発見のために妊婦乳幼児健康診査、訪問、育児学級、相談等に加え、平成 20 年度保健所政令市への移行により、従来の乳児育児支援事業に未熟児訪問を取り入れるとともに、身体に障害のある子どもや疾病により長期間療養を必要とする子どもの療育について指導を行い、母子保健の充実に努める。

成人保健事業では、これまで老人保健法に基づいて実施していた基本健康診査が、医療制度改革により、平成 20 年度から「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づく特定健康診査・特定保健指導として、医療保険者に義務づけられる。保健センターでは、健康増進法に基づき、生活保護世帯等で特定健康診査を受ける機会のない人を対象に健康診査を実施する。その他のがん検診・肝炎ウイルス検査についても、同様に健康増進法に基づき継続して検診を行う。さらに疾病の早期発見のため、個人通知や広報等により受診勧奨に努める。

健康づくり推進事業では、ヘルスアップ事業の成果をもとに、ライフスタイルに応じた生活習慣病予防事業、介護予防事業を実施するとともに、市民健康ボランティアとの協働のもと、地域での健康づくりの場を拡充し、健康づくりの気運を高めていく。

【主な事業】	検診事業	1 9 7 , 4 9 9 千円
	妊産婦乳幼児健康診査事業	1 3 2 , 9 5 2 千円
	市民健康づくり事業	8 , 9 5 2 千円
	予防接種事業	4 1 2 , 6 3 3 千円

## 5. 生活保護について

保護の状況は、平成7年（4.6%、受給世帯 940 世帯）を底として毎年増加傾向にあり、平成19年11月末現在で、保護率は9.1%、受給世帯は1,969世帯に達している。この原因として、高齢者世帯や母子世帯など経済的に生活基盤の脆弱な世帯の増加、正規雇用の減少による不安定就労の増加、家族意識の変化など様々な社会的状況が複合して存在していることが考えられる。

このような状況のなか、生活困窮の問題を抱えた相談者に対応するため、生活支援専門相談員を配置して、様々な社会保障制度の紹介など自立生活のためのアドバイスをを行い、必要な人に適切に生活保護の適用につなげている。平成20年度も生活支援専門相談員の配置を継続し、増大する生活困窮者の需要に応じ的確に支援を行う。

【主な事業】	扶助費	4,664,000千円
	法外扶助費	24,720千円
	生活支援専門相談事業費	3,012千円

## 6. 後期高齢者医療制度について

平成20年4月から現行の「老人保健法」が「高齢者の医療の確保に関する法律」に改正施行される。これを受けて、増大する医療費を安定的に賄い保険制度を堅持し、高齢者が将来にわたり安心して医療を受けられるようにするため、75歳以上の後期高齢者が加入する新たな保険制度である後期高齢者医療制度が始まる。

この保険制度の運営主体は、都道府県単位でその全市町で構成する広域連合（三重県の場合は三重県後期高齢者医療広域連合）であり、財政運営、被保険者の資格認定・管理、被保険証の交付、保険料の賦課、医療費給付などの事務を担う。一方、市町では保険料の徴収や窓口での申請受付などを担うこととなる。

制度の円滑な運営のために法律などで定められた分賦金、負担金、その他の経費などを予算計上するものである。

【主な事業】	保険料	1,807,929千円
	療養給付費	1,536,153千円
	保険基盤安定制度負担金	320,093千円
	後期高齢者医療広域連合運営経費分賦金	119,923千円

## 特別保育事業の充実

### 1. 目的

「四日市市次世代育成戦略プラン」に基づき、多様な保育サービスのより一層の充実を行い、子どもを「生み」「育てる」ためのより良い環境づくりを目指す。

### 2. 内容

- (1) 延長保育実施施設の拡充 (H19 20園 H20 22園)  
高花平、三重保育園(H20 民営化)の2施設において、新たに事業を開始する。
- (2) 一時保育実施施設の拡充 (H19 11園 H20 13園)  
河原田、水沢保育園(H19 民営化)の2施設において、新たに事業を開始する。
- (3) 特定保育実施施設の拡充 (H19 9園 H20 11園)  
河原田、水沢保育園(H19 民営化)の2施設において、新たに事業を開始する。
- (4) 乳児保育事業の拡充 (H19 28園 H20 30園)  
高花平、三重保育園(H20 民営化)の2施設において事業を開始する。

### 3. 予算額

(1) 延長保育 132,442千円 (財源内訳) (前年度128,540千円)	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">国庫支出金</td> <td style="width: 30%;">59,400千円</td> </tr> <tr> <td>県支出金</td> <td>2,212千円</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>70,830千円</td> </tr> </table>	国庫支出金	59,400千円	県支出金	2,212千円	一般財源	70,830千円
国庫支出金	59,400千円						
県支出金	2,212千円						
一般財源	70,830千円						
(2) 一時保育 18,040千円 (財源内訳) (前年度18,308千円)	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">県支出金</td> <td style="width: 30%;">8,994千円</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>9,046千円</td> </tr> </table>	県支出金	8,994千円	一般財源	9,046千円		
県支出金	8,994千円						
一般財源	9,046千円						
(3) 特定保育 24,786千円 (財源内訳) (前年度19,278千円)	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">県支出金</td> <td style="width: 30%;">2,340千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>2,704千円</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>19,742千円</td> </tr> </table>	県支出金	2,340千円	その他	2,704千円	一般財源	19,742千円
県支出金	2,340千円						
その他	2,704千円						
一般財源	19,742千円						
(4) 乳児保育 16,168千円 (財源内訳) (前年度11,844千円)	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">一般財源</td> <td style="width: 30%;">16,168千円</td> </tr> </table>	一般財源	16,168千円				
一般財源	16,168千円						

担当 保健福祉部 児童福祉課  
伊藤  
354-8173

## 保育所民営化推進事業

### 1. 目的

平成19、20年度の2ヵ年に公立保育園5園を民営化し、延長保育、乳児保育、一時保育や特定保育のほか、新たに休日保育を実施するなど特別保育と子育て支援の拡充を図る。

### 2. 内容

(1) 移管後の施設改修、修繕費等経費助成〔予算額 50,700千円〕

(施設整備50,000千円、第三者評価700千円)

19年度移管の河原田、水沢、西浦保育園及び20年度移管の高花平、三重保育園について、移管後3ヵ年に限り、移管先法人が行う施設の整備等について、必要な経費を助成する。

(2) 移管後の一時保育用園舎等整備事業助成〔予算額 15,000千円〕

20年度移管を行う高花平、三重保育園に対し、一時保育用園舎整備について助成を行う。

3. 予算額 65,700千円 (財源内訳) 一般財源65,700千円  
(前年度 79,862千円)



担当 保健福祉部 児童福祉課  
伊藤

354 - 8173

## ショートステイ施設建設費補助金

### 1. 目的

要介護認定者の在宅介護を支援するため、一定の条件のもとで在宅介護サービスセンターに併設して設置するショートステイ施設の建設費の一部を助成する。

### 2. 内容

- (1) 設置施設数 4 施設
- (2) 予定地及び  
運営主体 川島地区 社会福祉法人 青山里会  
常磐地区 社会福祉法人 青山里会  
八郷地区 社会福祉法人 アパティア福祉会  
富洲原地区 社会福祉法人 徳寿会
- (3) 定員 各10床
- (4) 開設予定 平成21年4月
- (5) 総事業費 1施設当たり 90,000千円(概算)
- (6) 補助額 1施設当たり 20,000千円  
(1床当たり2,000千円、1ユニット20,000千円)

ユニット：居室(個室)と共同生活室等からなる利用者の生活空間で、10床を基本とする。

- (7) 交付方法 平成20年度に一括交付

3. 予算額 80,000千円(財源内訳) 国庫支出金 40,000千円  
(前年度 60,000千円) 一般財源 40,000千円

担当 保健福祉部 介護・高齢福祉課  
森  
354 - 8425

## (新) 養護老人ホーム改築費補助金

### 1. 目的

平成 18 年 4 月に民営化した養護老人ホーム「寿楽陽光苑」において、2 人部屋から個室化を図る等の改築工事について、建設費の一部を補助し、入所者の生活環境向上を図る。

### 2. 内容

- |           |                                 |
|-----------|---------------------------------|
| (1) 施設名   | 養護老人ホーム 寿楽陽光苑                   |
| (2) 設置・運営 | 社会福祉法人 三重福祉会                    |
| (3) 予定地   | 四日市市大字泊村 1050 - 13              |
| (4) 規模・構造 | 3,631.08m <sup>2</sup> 鉄骨造 4 階建 |
| (5) 定員    | 養護老人ホーム 120 床<br>ショートステイ 10 床   |
| (6) 開設予定  | 平成 20 年 8 月                     |
| (7) 総事業費  | 789,075 千円                      |
| (8) 県補助金額 | 405,000 千円                      |
| (9) 市補助金額 | 50,625 千円                       |
| (10) 交付方法 | 平成 20 年度に一括交付                   |

### 3. 予算額

50,625 千円 (財源内訳) 一般財源 50,625 千円  
(前年度 0 千円)

$50,625 \text{ 千円} = 405,000 \text{ 千円} \times 1/4 \times 1/2$   
〔県補助金〕 〔補助率〕

担当 保健福祉部 介護・高齢福祉課  
森  
354 - 8425

## サテライト型特別養護老人ホーム建設費補助金

### 1. 目的

四日市市内にある既存の特別養護老人ホームの定員の一部を分散させ、小規模のサテライト型特別養護老人ホームを整備するに当たり、その建設費の一部を助成し高齢者福祉の増進を図る。

### 2. 内容

- (1) 設置施設数      2施設
- (2) 予定地及び  
運営主体      川島地区 社会福祉法人 青山里会  
                 常磐地区 社会福祉法人 青山里会
- (3) 定員              各20床
- (4) 開設予定        平成21年4月
- (5) 総事業費        1施設当たり120,000千円(概算)
- (6) 補助額           1施設当たり 40,000千円  
                 (1ユニット 20,000千円)

ユニット：居室(個室)と共同生活室等からなる利用者の生活空間で、10床を基本とする。

- (7) 交付方法        平成20年度に一括交付

3. 予算額      80,000千円(財源内訳) 国庫支出金 80,000千円  
(前年度      40,000千円)

担当 保健福祉部 介護・高齢福祉課  
森  
354 - 8425

## 妊産婦乳幼児健康診査事業

### 1. 目的

妊産婦や乳幼児に対して、疾病、心身障害、親子の心の問題を早期に発見し、適切な支援を行い、健康の保持増進、育児不安の解消を図るため、妊婦健診(前期、後期)、乳幼児健診(4か月、10か月、1歳6か月、3歳児)等の健康診査を実施する。

### 2. 内容

平成19年厚生労働省の通知により、母体や胎児の健康の確保及び妊娠や出産にかかる経済的不安の軽減を図るため、妊婦健康診査の公費負担を従来の2回から5回に拡大する。

妊婦健診委託料	79,590 千円
4か月、10か月健診、3歳児精密検査等委託料	37,925 千円
賃金、報償費、需用費、役務費、使用料及び賃借料	15,437 千円

3. 予算額	132,952 千円	(財源内訳)	その他特財	161 千円
(前年度)	95,721 千円)		一般財源	132,791 千円

担当 保健福祉部 保健センター  
中村  
354 - 8187

## 予防接種事業

### 1. 目的

伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防するために予防接種を行う。対象となる疾病は、ジフテリア、百日ぜき、急性灰白髄炎、麻しん、風しん、日本脳炎、破傷風、結核、インフルエンザである。

### 2. 内容

麻しん及び風しん予防接種は、麻しんの根絶及び風しん対策強化のために、平成 18 年に法改正され、1 歳から 7 歳 6 か月未満を対象とした各単抗原ワクチンによる 1 回接種から 1 歳と小学校入学前 1 年間を対象とした麻しん風しん混合ワクチンによる 2 回接種へと変更された。

平成 19 年に 10 代、20 代を中心とした麻しん流行があったため、厚生労働省は麻しん排除計画を策定し、平成 20 年 4 月から 5 年間の限定で、麻しん予防接種を 1 回しか受けていない世代にあたる中学 1 年生、高校 3 年生に該当する者を対象に、麻しん風しん混合ワクチンの接種を決定した。

3. 予算額 4 1 2 , 6 3 3 千円 (財源内訳) その他特財 3 3 , 0 0 0 千円  
(前年度 3 0 6 , 6 0 0 千円) 一般財源 3 7 9 , 6 3 3 千円

担当 保健福祉部 保健センター  
中村  
3 5 4 - 8 1 8 7



# 商 工 農 水 部

## 新年度予算における基本的な方針

景気の動向については原油価格、原材料費の高騰等により不透明なものがあり、本市の中小企業をはじめとする地域産業の経営環境はたいへん厳しいものがある。

このような中、本市産業がさらに発展していくためには、多様な産業の集積を生かし高付加価値・高度技術の製品づくりを支援するとともに、まちの賑わいの創出と就労環境の改善、農水産業の活性化を進める必要がある。

まず、工業振興については、臨海部工業地帯をはじめ、技術・知識集約型の高付加価値型産業への構造転換を図るとともに、新たな産業を創出していく必要がある。そのため設備投資の促進と研究開発機能やこれを支える高度な技術者の集積、燃料電池など次世代産業の展開を促進する。さらに、三重県との連携のもとに整備した高度部材イノベーションセンターにおいて、産学連携による人材育成や研究開発に取り組むほか中小企業の活性化に向けた課題解決の場とし地域企業の振興を図っていく。

商業振興については、中心市街地の活性化に向けてまちづくりの担い手である商業関係者が主体となり、消費者や生活者の視点に立った具体的な方策づくりを商工会議所と連携し進める。また、空店舗の活用やイベント開催など意欲的、能動的な取り組みを展開している事業者への支援を行うとともに、すわ公園交流館を拠点とした市民企画事業を行い、新たな魅力と賑わいの創出を図っていく。

これら商工業の活性化により雇用の場の確保に努めるとともに、障害のある人をはじめとする就労が困難な人への就労支援や若年者の就労意欲の形成促進などに取り組むとともに、本年度、新たに就労コーディネーターを配置するなど就労環境の改善に取り組む。

市制施行111周年事業として、商店街や朝市など本市の魅力を再発見する契機となるよう、「市」にちなんだ各種イベントの開催や定期市の紹介も行う。また「大四日市まつり」や「四日市花火大会」「四日市サイクル・スポーツ・フェスティバル」も引き続き開催する。

農林水産業においては、農業者の高齢化や後継者の不足による農業従事者の減少や、農作業の効率性の悪さや価格の低迷による収益性の低さなどから、農業離れと耕作放棄地の拡大に歯止めがかからないことがあげられる。一方で、食品の偽装表示が相次ぐなどの食の安全・安心を揺るがす事態に、消費者の食に対する関心は非常に大きくなっている。

このため、農地・農業が持つ食料生産・環境保全・防災等の市民生活に直結する多面的機能を維持するため、元気な農業・親しみのある農業の実現を目指した取り組みを引き続き実施する。特に、「アグリクリエイター創生事業」において、企業の農業参入の促進や、団塊の世代等を対象とした農業塾「グリーンシニアカ

レッジ」を農業センターの機能と人材を活用して開講するなど、新たな担い手の育成・確保に取り組むとともに、水田農業における担い手としての集落営農組織の育成・支援や、市民・消費者の視点にたって地産地消や食育の推進に取り組む。さらに、農業生産基盤の整備、水産資源の確保に向けた基盤整備及び海の浄化事業についても引き続き実施する。

### 1．臨海部工業地帯等の産業再生について

企業立地促進条例や民間研究所立地奨励制度により、既存事業所や新規立地企業の設備投資の促進と研究開発機能の充実を図るとともに、三重県との連携のもとに、本市の産業振興、研究開発の拠点となる高度部材イノベーションセンターにおいて人材育成・研究開発事業などを展開し、地域企業の高度化を促進する。さらに、燃料電池など次世代産業の展開を促進していく。

【主な事業】	企業立地奨励金	780,000千円
	民間研究所立地奨励金	181,000千円
	ものづくりエキスパート育成事業	24,000千円
	燃料電池関連周辺機器開発補助金	10,000千円

### 2．中小企業支援について

中小企業のものづくりへの活力を高めるため、企業間のビジネス・マッチングを支援するとともに、企業OB等のアドバイザーによる相談やこれを契機とした中小企業の設備投資への支援を行う。さらに、産学連携による新製品・新技術の開発を支援し、競争力の強化を図る。

【主な事業】	中小企業ものづくり活力創造事業	13,500千円
	新規産業創出事業	13,000千円
	産学連携推進事業	5,900千円
	中小企業向け各種制度融資	1,901,947千円
	保証料補給金	11,552千円

### 3．中心市街地の活性化について

中心市街地の活性化については、喫緊の課題であり、商工会議所とも連携を図りながら、まちづくりの担い手である商業関係者が主体となり、消費者や生活者の視点に立った店づくりやサービスの提供など活性化に向けた具体的な方策の検討を進めるとともに、来街者等の増加を図るためすわ公園交流館を拠点として周辺商店街との連携により交流人口の増加につながる企画事業や商店街の空店舗に新たに魅力ある店舗や不足業種の誘致に対して支援する。

【主な事業】	すわ公園交流館管理運営事業	14,831千円
	商店街空店舗活用支援事業	1,800千円

中心市街地活性化促進事業	1,000千円
近鉄駅西開発整備事業	67,420千円
商店街活性化イベント事業費補助金	24,500千円

#### 4. 雇用対策について

雇用のミスマッチ、早期離職問題等の就労対策として、市内高校が実施する産業現場実習（インターンシップ）制度への助成を行うとともに、本年度新たに就労コーディネーターを配置し就労困難者への就労相談などに取り組む。

また、障害者雇用を促進するため、知的障害者を対象とした就労支援講座の開催や事業所におけるジョブサポーターの養成に向けて啓発に取り組むとともに、障害のある人を雇用する事業所に対して障害者雇用奨励金・トライアル雇用奨励金を支給する。そのほか、知的障害者の産業現場実習を受け入れた事業所に助成を行う。

さらに引き続き、就業が困難な方への資格取得講座を開催するほか、技能資格を取得する求職者に助成を行う。

【主な事業】 就労促進事業	2,890千円
新 就労コーディネーター事業	4,000千円
障害者雇用奨励事業	3,060千円
就労対策事業	2,700千円

#### 5. 観光推進について

市制施行111周年を迎えるにあたり、本市の代表的なイベントである「大四日市まつり」については、市民が参加するまつりになるような企画を実施していく。また、夏の夜空を彩る「四日市花火大会」も引き続き開催する。「四日市サイクル・スポーツ・フェスティバル」では、競技開催とともに広く市民に自転車の楽しさを体感していただく機会を提供し、サイクルスポーツ拠点の形成に向けて取り組んで行く。

また、本市が有する多様な観光資源の新たな魅力を掘り起こし情報を発信するために、観光魅力アップ事業を実施し、本市のにぎわいの創出につなげる。

そのほか、本市の観光拠点である宮妻峡ヒュッテに合併処理浄化槽を設置し環境整備を行う。

【主な事業】 大四日市まつり事業費補助金	21,000千円
四日市花火大会事業費補助金	18,500千円
四日市サイクル・スポーツ・フェスティバル事業	23,500千円
新 観光魅力アップ事業	1,000千円
新 宮妻峡ヒュッテ環境整備事業	22,000千円

## 6. 四日市アグリクリエイター創生事業について

平成16年度から18年度に実施した「四日市農業再生事業」の成果と反省を踏まえ、平成19年度から21年度までの第2次行政経営戦略プランにおいて、「四日市アグリクリエイター創生事業」を実施している。

活力ある農業を実現するために、創意工夫しチャレンジする農業者などを支援する「農のプロフェッショナルづくり」、「新しい農の担い手づくり」、「農地の守り手づくり」、「地産地消ふるさとづくり」を4本の柱として事業展開している。

「農のプロフェッショナルづくり」事業では、認定農業者等が行う経営基盤の安定や所得の向上を図ることを目的とした創意工夫のある事業展開を支援する。また、水田農業における地域の担い手として、集落営農組織や認定農業者の育成と支援も行う。

「新しい農の担い手づくり」事業では、多様な担い手を育成・確保するため、新規就農を志す方への技術支援研修や初期投資（機械・施設等）に対する支援、企業の農業への参入促進事業を行う。

平成20年度からは新たに団塊の世代等を対象とした農業塾「グリーンシニアカレッジ」を開講し、多様な担い手の育成と農地の有効活用を図る。

「農地の守り手づくり」事業では、農地の遊休化防止と有効活用を図るため、担い手への農地の集積を行うほか、農業者やNPO等が農地を活用し市民農園を開設する支援を行う。農地パトロールの実施による新たな遊休化の抑制や、遊休化した農地を優良農地へ復元化するための支援を行う。

「地産地消ふるさとづくり」事業では、消費者である都市住民の視点に立ち、市民と農業者との交流を深めるための農業体験や食育活動を推進し、地元の農業や農産物に対する理解を深める取組を行う。

【主な事業】	農のプロフェッショナルづくり事業	
	アグリビジネス支援事業	3,000千円
	集落営農組織支援事業	400千円
	新しい農の担い手づくり事業	
	企業等農業参入促進モデル事業	2,000千円
	新規就農者支援事業	3,000千円
	アグリインターン奨励事業	200千円
	新規就農技術支援事業	270千円
	新グリーンシニアカレッジ運営事業費	1,626千円
	農地の守り手づくり事業	
	優良農地復元化支援事業	2,000千円
	市民菜園開設支援事業	380千円
	地産地消ふるさとづくり事業	
	地産地消推進事業	835千円
	食育推進事業	970千円

## 7. 農業生産基盤整備事業について

農地の遊休化を防止するためには、意欲のある農業者へ農地を集積することが重要であり、作業の効率化・省力化を図れるようほ場・農道等の施設整備を行う。また、老朽化した農業用施設の更新を行い、災害を未然に防止するとともに農産物の安定生産を図る。

【主な事業】	受託ほ場整備事業（市場地区）	77,400千円
	土地改良施設維持管理適正化事業	9,885千円
	市単土地改良事業	30,322千円
	南・北排水機場維持管理事業	12,421千円

## 8. 農地・水・環境保全向上対策事業について

農地・農業用水等の資源の保全や農業生産における環境保全への取り組みを行う団体に対し、活動を展開する地域の農地面積や環境に配慮し作付けした作物に応じ支援する。

【主な事業】	農地・水・環境保全向上対策事業	5,300千円
--------	-----------------	---------

## 9. 水産業の振興について（豊かな海づくり事業）

水産資源の保護育成と安定供給に資するため、種苗放流を行うとともに、漁業協同組合が行う、有用微生物群（EM）を活用したアサリ等の漁獲の回復と安定化を図るための漁場環境の浄化事業を支援する。

【主な事業】	豊かな海づくり推進事業	1,000千円
	ヨシエビ等種苗放流事業	1,060千円
	抱卵ガザミ放流事業	315千円
	アサリ種苗放流事業	200千円

## 10. 漁業生産基盤整備事業について

磯津漁港施設（南防波堤）整備を行い水産物の安定生産を図るとともに、漁港海岸の整備により背後地を自然災害等から守る。

【主な事業】	地域水産物供給基盤整備事業	86,000千円
	磯津漁港海岸保全整備事業	61,875千円

## 11. 食肉センター・食肉市場事業について

食肉品質の向上及び消費者へ、より安全で安心な食肉を供給するため、(株)三重県四日市畜産公社へ施設・設備等の運転管理業務とあわせて、衛生管理を更に徹底するための衛生管理責任者の配置を委託する。また、豚部分肉カット施設整備

を引き続き実施し、安全性の確保された衛生的で効率的な施設の実現をめざす。  
 さらに、枝肉取引の適正化と流通の円滑化を図るために卸売業者が実施する集荷・販売対策事業に助成を行う。

【主な事業】	食肉センター食肉市場施設整備事業	91,900千円
	食肉センター食肉市場施設維持管理事業	118,825千円
	市場機能強化対策事業	78,331千円

## 12. 競輪事業について

前年同様、本場開催は記念競輪を除く通年ナイターを推進する。さらに、全てナイターレースにシフトした四日市競輪としてはPR効果が大きい、競輪界の一流選手が集う特別競輪サマーナイトフェスティバル(G)を開催する。

また、事業運営に公費を投入しないという事業継続の前提条件をチェックする検証委員会を引き続き機能させる。

【主な事業】	特別競輪等開催関係経費	59,065千円
--------	-------------	----------

## 【再掲】市制施行111周年記念事業

市制施行111周年記念事業として、商店街や朝市など本市の魅力を再発見する契機となるよう、「市」にちなんだ各種イベントの開催や定期市の周知を行う。また、大四日市まつり、サイクル・スポーツ・フェスティバルにおいても記念事業を行っていく。

【主な事業】	エキサイトバザール2008	3,700千円
	新 楽しさいっぱい 市・市・市	15,000千円
	新 定期市魅力発信事業	4,000千円
	大四日市まつり事業費補助金	21,000千円
	四日市サイクル・スポーツ・フェスティバル事業	23,500千円

## ものづくりエキスパート育成事業

### 1 目的

三重県との連携のもと、産学連携による研究開発や人材育成等を促進し、地域の産業競争力強化を図る。

### 2 内容

#### (1) 高度部材等研究開発・人材育成事業

三重県との連携のもとに、平成19年度に整備を行う「高度部材イノベーションセンター」において、研究開発、人材育成、中小企業の課題解決に取り組む。

〔高度部材イノベーションセンターで行う事業〕

#### 研究開発

機能性化学品などの高度な部材開発において、国プロジェクトをはじめとした、企業・大学などの研究開発を進める。

#### 人材育成

高度部材開発を中心に研修会・研究会などを実施し、これらに参画する企業・大学の若手技術者等の技術レベル向上を図る。

#### 中小企業の課題解決

地元の中小企業を対象とした技術相談、経営相談などの課題解決を行う

#### (2) 産学連携技術者育成講座事業

平成17年度から産業界・三重大学・関係団体・行政等が連携して実施してきた、電子・電機・機械関連の若手技術者育成のための産学連携製造中核人材技術者育成講座の実施について、平成19年度に引き続きこれを三重県・四日市市が連携して支援する。

3 予算額 24,000千円 (財源内訳) 一般財源 24,000千円  
(前年度 104,000千円)

担当 商工農水部 工業振興課  
餅井・上野 TEL 354-8178

# 中心市街地の活性化事業

## 1. 目的

中心市街地は、長い歴史の中で、商業のみならず地域の文化や伝統を育み、様々な機能を培ってきた『四日市の顔』である。にぎわいを創出するとともに魅力と活気をもたらすことによって、市の玄関口にふさわしい魅力あるまちづくりを進める。

## 2. 主な内容

すわ公園交流館管理運営事業 14,831千円

「すわ公園交流館」を、中心市街地に来る人や住む人の憩いの場、交流の場及び自己実現の場として諏訪公園と一体的に活用し、中心市街地の活性化に寄与する。

近鉄駅西開発整備事業 67,420千円

高次商業施設(ララスクエア)への新たな店舗の入居を促進するため、開発事業者及びテナント事業者に対して、支援奨励措置を講ずる。

中心市街地活性化促進事業 1,000千円

まちづくりの担い手である商業関係者が主体となり中心市街地に賑わいを取り戻すため、消費者や生活者の視点に立って活性化に向けた具体的な方策づくりを進めます。

商店街空店舗活用支援事業 1,800千円

商店街の空店舗に、新たな魅力ある店舗や業種を誘引し、中心市街地のにぎわいを促進する。

商店街活性化イベント事業費補助金 24,500千円

商店街のにぎわいを創出させるために、商店街発展会、商工会、振興会等の団体が実施するイベントに対して、開催経費の一部を補助する。本年は市制111周年事業として、商店街の魅力を再確認・再発見の契機とする。

商店街魅力アップ事業 760千円

商店街の魅力を向上させ活性化を図るため、商店街団体及びグループが実施する、資質向上、魅力向上や集客力を高める事業に対して支援を行う。

## 3. 予算額

110,311千円 (財源内訳) 一般財源110,311千円  
(前年度 92,067千円)

担当 商工農水部 商業観光課 駒田 TEL 354-8175
-----------------------------------

# 就 労 対 策 事 業

## 1. 目 的

若年者や障害のある人などの就業の困難な人に対して就労支援を図るための事業を実施し、就労促進をすすめる。

## 2. 内 容

就職に直結しやすい資格取得を促進するほか、就労コーディネーターにより就労支援を行う。また、障害者雇用を促進するため、ジョブサポーター養成事業、知的障害者就労支援事業を実施する。

求職者資格取得支援事業 1,600千円

就業が困難な人に対して資格取得のための講座を開設することにより、就労を支援する。

求職者資格取得助成金 400千円

求職者の資格取得を支援し、早期就職につなげる。

新 就労コーディネーター事業費 4,000千円

若年者等の求職者を対象として、就労コーディネーターにより求職の方法や心構え等の助言、国や県等の就労支援機関の施策活用を行うなど、就労環境の改善に取り組む。

ジョブサポーター養成事業 300千円

障害のある人の通勤時での支援など就労面での支援を行うジョブサポーターの養成講座(スキルアップ講座)を実施する。

また、障害のある人の雇用促進には事業所の理解・協力が不可欠であることから、各事業所において障害のある人を支援するジョブサポーター(事業所内ジョブサポーター)を養成していただけるよう、その啓発に取り組む。

知的障害者就労支援事業 400千円

知的障害者を対象とした就労支援講座を開催し、就労に必要な能力を実技講習や職場体験の場を通じて身につける。

## 3. 予算額

6,700千円 (財源内訳) 一般財源 6,700千円  
(前年度 2,600千円)

担当 商工農水部 商業観光課  
芝田 TEL 354-8175

## (新)観光魅力アップ事業

### 1. 目的

本市が有する多様な観光資源を広く紹介し、四日市の魅力を再発見して、まちとしての誇りを再確認するとともに、にぎわい(まちの活気)の創出につなげる。

### 2. 内容

本市が有する多様な観光資源について、四日市商工会議所、農水産業関係団体等との連携のもと、新たにテーマごとの整理を行い、情報発信する観光魅力アップ事業を四日市観光協会により実施する。

#### (1) 事業内容

##### 魅力再発見パンフレットの発行

四日市の魅力を再発見するパンフレット(B4版両面印刷:10,000部【予定】)を作成し、情報発信する。平成20年度は朝、夕といった時間軸から、平成21年度はテーマ別に観光資源を捉えてパンフレットを作成する。

平成20年度...四日市の朝を楽しむ(朝市、伊坂ダム早朝ウォーク等)

四日市の夜を楽しむ(コンビナートの夜景、ナイター競輪等)

平成21年度...四日市の味を楽しむ(地酒、はまぐり、大矢知手延べ素麺等)

四日市の花を楽しむ(堀川菖蒲園、南部丘陵公園のバラ等)

##### 魅力再発見バスツアーの実施

魅力再発見パンフレットに掲げるテーマを中心としたバスツアーを定期的(年3回)に行い、バスツアー参加者に学びといった教育的価値や、四日市のまちの魅力再発見、非日常の体験による心の豊かさを醸成する。

【バスツアー(平成20年度 - 四日市の朝・夜を楽しむ - )】

(例1) 慈善橋朝市(または北勢公設市場朝市)～企業見学～地産地消体験

(例2) 地場産業見学～四日市港ポートビル(コンビナート夜景)～ナイター競輪

(例3) 企業見学～地場産業見学～すわ公園交流館(イルミネーション)

### 3. 予算額

1,000千円 (財源内訳) 一般財源 1,000千円

(前年度 0千円)



担当 商工農水部 商業観光課  
芝田 TEL 354-8175

## 四日市アグリクリエイター創生事業

### 1. 目的

四日市市の農業は、農業従事者の高齢化や減少に伴い、農地の遊休化が進むなど厳しい状況にある。このような中、担い手を育成・確保するとともに、農業・農地の持つ多面的な機能を再認識し、農地の保全・有効利用を図ることで四日市市の農の維持・発展を目指す。

### 2. 内容

#### 農のプロフェッショナルづくり事業（3,400千円）

農業者が自ら行う、経営基盤の安定や所得の向上を図ることを目的とした、創意工夫のある事業展開を支援する。また、水田農業における地域の担い手として、集落営農組織や認定農業者の育成と支援を行う。



集落営農組織の先進地視察研修



農業者が育成した新品種の登録

#### 新しい農の担い手づくり事業（7,196千円）

四日市市の農業の将来を支える多様な担い手を育成・確保するため、新規就農を志す方への技術支援研修や初期投資（機械・施設等）に対する支援を行う。また、農業者が農業技術の習得を指導する目指す取り組みへの支援や、株式会社等企業の農業への参入促進事業を行う。団塊の世代等を対象とした農業塾「グリーンシニアカレッジ」を開講し、新たな担い手の育成・確保と農地の有効活用を図る。



企業の農業参入によるゴマ栽培

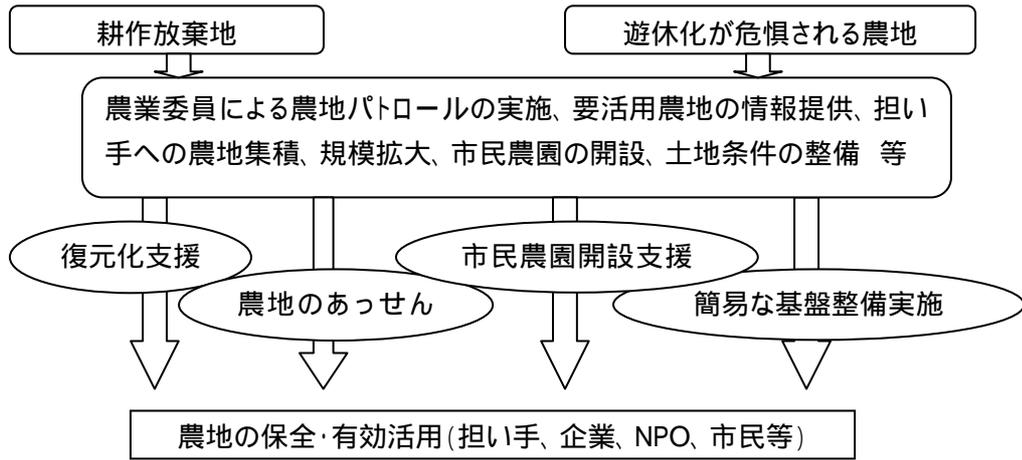


新たに農業を志す方への研修会

#### 農地の守り手づくり事業（2,430千円）

農地の遊休化防止と有効活用を図るため、意欲ある担い手への農地の集積を行うほか、農業者やNPO等が農地を活用し市民農園を開設する支援を行う。また、既

に遊休化した耕作放棄地を優良な農地へ復元化するための支援を行う。



農業者自ら遊休農地を復元し茶園を整備  
地産地消推進事業



NPO法人が開設した市民農園  
(1,885千円)

消費者である市民と農業者との交流を深めるための農業体験や食育活動を推進し、市民が地元の農業や農産物に対する理解を深め、積極的な関わりを持つ意識が高まるよう取り組む。



ふるさと産物まつり  
認定農業者による農産物の直売



エンゼルキッチン(教育委員会との共催)  
自分たちで育てた野菜を使った調理体験

3. 予算額 14,911千円(財源内訳)  
(前年度 16,125千円)

その他特財 860千円  
一般財源 14,051千円

担当 商工農水部  
農水振興課 北住、石田、田中 TEL 354-8180

## (新)グリーンシニアカレッジ運営事業

### 1. 目的

農業センターでは、平成16年度からセンター内の畑、ビニールハウス、果樹園を利用し、農業ビギナー研修を実施している。この研修からは、既に4人が就農し、新たな担い手として野菜などの栽培・出荷を行っている。

平成20年度からは、ビギナー研修に加え、土と触れ合い、野菜づくりなどで楽しみながら、第2の人生を過ごしたいと考える団塊の世代や、趣味の農業からステップアップし、本格的に農業に取り組みたいと考える人たちを対象とした「グリーンシニアカレッジ」を開講する。

この研修を通じ、参加者が農業に対する理解を深め、本市の農業、農地の応援団となる方々を増やしていく。さらに、参加者が農業生産のノウハウを学ぶことで、新たな「農」の担い手となり、高齢化、労働力不足等により増加している農地の遊休化を防ぎ、農地の有効活用が図れることを期待する。

### 2. 内容

市内内部地区の畑を利用し、1人約300㎡の畑で本格的に周年栽培する。週1回の講義と実地指導を行い、栽培、肥料、農薬などの基礎知識を学ぶ。講師にはセンター職員のほか、地元農業者、JA職員などを予定している。農作業用の管理機などを用意し、受講者が共同利用する。農産物加工や関連施設の見学などを実施し、加工や販売等の知識、技術を学ぶ。

3. 予算額 1,626千円 (財源内訳) 一般財源 1,626千円  
(前年度 0千円)



担当 商工農水部 農水振興課 農業センター  
杉本 TEL 326-0132

# 環 境 部

## 新年度予算における基本的な方針

ごみ問題や自動車交通公害などの都市生活型の環境問題、さらには自然環境保全から地球環境問題に至るまで今日の環境問題は、私たちが自らの社会生活のあり方を変えない限り解決が難しい問題であるとともに、市民・事業者等のあらゆる主体と協働して取り組んでいく必要がある。

このような認識から、「第2期環境計画」及び「ごみ処理基本計画」に基づき、快適環境都市の実現に向けた環境施策の推進を図っていく。特に平成20年度においては、地球温暖化対策地域推進計画に基づく事業の推進を図るとともに、「ごみ処理基本計画」の改定を行い資源循環型社会に向けての取り組みを進めていく。また、平成20年4月からの保健所政令市移行に伴い三重県からの移譲事務を適正に執行するとともに、産業廃棄物不適正処理事案の早期解決に向けて組織的対応を図る。

### 1. 地球温暖化対策の推進について

地球温暖化対策を市民・事業者と協働して推進するため、家庭・業務・運輸の各部門における二酸化炭素排出削減の啓発・体験事業を行う。また、家庭用及び中小事業所の新エネルギー設備等の設置に対し経費の一部補助を行う。

【主な事業】新地球温暖化対策地域推進計画事業	5,488千円
(1人1日1kgCO <sub>2</sub> 削減事業等)	
新エネルギー等導入促進事業	8,100千円

### 2. 次世代環境人材の育成について

市制施行111周年記念事業の一環として、本市と中国・天津市及び米国・ロングビーチ市の中学生を対象とした交流学习やシンポジウムを行い、グローバルな視点から環境問題への理解を深める機会を提供する。

【主な事業】新次世代環境人材育成事業	13,180千円
--------------------	----------

### 3. 新環境マネジメントシステムの導入について

環境マネジメントシステムを改定し、本市独自の新たなシステムを市の全施設に導入する。

【主な事業】新環境マネジメントシステム事業	350千円
-----------------------	-------

#### 4. 公害防止対策の推進について

環境の現状を把握するため、大気関係では大気汚染の常時監視測定及び有害大気汚染物質測定を行う。水質関係では市内河川等の公共用水域の環境監視測定及びダイオキシン類の測定を行う。騒音・振動関係では市内における環境基準・要請限度適合状況の評価等を行う。悪臭関係では、悪臭パトロールを実施するとともに悪臭物質の測定を行う。

また、公害関係諸法令及び公害防止協定等に基づき、事業所に対する立入調査を実施し、規制基準適合状況を把握するとともに、必要に応じて指導を行う。

【主な事業】	大気汚染対策事業	51,470千円
	水質汚濁対策事業	10,920千円
	騒音・振動監視測定事業	1,996千円
	悪臭監視測定事業	1,605千円

#### 5. 環境教育の推進について

市民の環境保全意識の高揚と環境保全活動の促進を図るため、環境学習センターを拠点として各種啓発事業を実施する。

特に、市民団体との連携を強化し、地球温暖化や四日市公害、自然環境を含めた幅広い環境分野でのリーダー養成を行うなど、人材育成に努める。

【主な事業】	環境学習センター普及啓発事業費	3,508千円のうち
	環境リーダー養成講座業務委託	1,480千円

#### 6. 公害健康被害者対策について

公害健康被害者が自立し、安心して生活できるよう、医療費等の給付を行うとともに、転地療養、家庭療養指導等の公害保健福祉事業を実施する。

また、健康被害予防事業として、1歳6カ月児、3歳児及び6歳児を対象としたアレルギー素因児の健診、調査を実施する。

【主な事業】	公害健康被害補償給付事業	727,465千円
	公害保健福祉事業	2,649千円

#### 7. ごみ処理基本計画の改定について

廃棄物の処理及び清掃に関する法律により策定が義務付けられているごみ処理基本計画は、目標年次を概ね10～15年先に置いて、概ね5年ごとに改定することが望ましいとされている。

現在の計画は、平成15年度に策定されたもので平成25年度を目標年次としており、前回策定時から4年を経過してごみ処理を取り巻く総排出量、埋立処分場残余年数、新総合ごみ処理施設稼働目標時期などの諸条件が変化していることから、旧楠町との合併も織り込んで平成30年度を目標年次とする改定を行う。

【主な事業】 新ごみ処理基本計画策定事業 5,100千円

## 8. リサイクルの推進について

資源循環型社会の実現を目指すため、資源物収集及び処理、市民啓発を行い、ごみの減量化・資源化を推進する。

【主な事業】 資源物処理事業 444,834千円  
 集団回収活動奨励費補助事業 32,000千円  
 乾電池処理委託事業 12,849千円

## 9. 新総合ごみ処理施設の建設について

北部清掃工場は、ダイオキシン対策に併せて平成11年度～13年度に10年程度の延命工事を行ったが、新たな総合ごみ処理施設の建設を平成27年度稼働を目標に進めていく。平成20年度は、平成16年度から行ってきた各種調査を基に、施設整備基本計画を策定するとともに、専門的知識及び経験を有する中立的な組織に技術支援業務を委託し、これまでの調査を補完するための必要な調査を行う。

【主な事業】 新総合ごみ処理施設整備事業 15,566千円

## 10. 埋立処分場の延命対策について

南部埋立処分場の残余容量は年々少なくなっていることから、平成20年度は埋立廃棄物9,000トンと、北部清掃工場から排出される焼却灰約11,000トンを、三重県環境保全事業団へ引き続き処理委託し、現処分場の延命を図る。

【主な事業】 家庭系埋立ごみ処理委託 126,000千円  
 廃棄物処理センター焼却灰溶融処理委託 501,153千円

## 11. 北部清掃工場の整備について

北部清掃工場から発生する焼却灰は含水率が恒常的に高いため、施設内で焼却灰の液状化がみられ施設の維持管理に負担が生じている。

そのため、焼却灰の搬出設備を湿式から乾式に改修し、含水率を低減させ液状化を抑制する。

また、焼却施設について、通常整備に併せ、新焼却施設が稼動するまで安定して稼動できるよう修繕を行っていく。

【主な事業】	施設修繕（オーバーホール）	190,000千円
	新灰搬出コンベア改修工事	90,000千円

## 12．北大谷斎場の整備について

平成16年度から、火葬炉の大型化等の改修を年次的に実施している。平成20年度は2炉を整備し、さらに大型炉1炉を新設する。

【主な事業】	北大谷斎場改修事業	82,000千円
--------	-----------	----------

## 13．廃棄物対策について

不法投棄等を含めた廃棄物に関する諸問題への取り組みを強化し、平成20年4月からの保健所政令市移行に伴い生活環境課内に廃棄物対策室を設置し、自動車リサイクル法に係る許認可、指導業務を行う。

【主な事業】	不法投棄対策事業	17,342千円
	新自動車リサイクル法事務費	2,418千円

## 14．環境衛生について

従来から所管している感染症予防対策事業、犬猫避妊等助成事業、狂犬病予防対策事業に加えて、平成20年4月からの保健所政令市移行に伴い温泉の利用、特定建築物の衛生的環境の確保、専用水道等の敷設、遊泳用プールに係る監視及び指導業務を行う。

【主な事業】	感染症予防対策事業	597千円
	犬猫避妊等助成事業	2,297千円
	狂犬病予防対策事業	13,792千円
	新温泉成分監視測定委託	450千円
	新水質検査委託	400千円

# 地球温暖化対策推進事業

## 1. 目的

地球温暖化問題は、人類の生存基盤を揺るがす重大な問題であり、将来の世代に大きな影響を及ぼすことが懸念されている。平成20年度から京都議定書の第1約束期間が始まり、また北海道洞爺湖サミットが開催されるなど、地球温暖化対策の一層の推進が求められている。本市としても、市民及び事業者とともに地域レベルで地球温暖化対策を推進する。

## 2. 内容

本市域の二酸化炭素排出削減を目指す総合的な計画である「四日市市地球温暖化対策地域推進計画」に基づき、二酸化炭素排出量の増加が著しい民生家庭部門・民生業務部門・運輸部門に対する削減対策を講じる。家庭や中小事業者が設置する太陽光発電設備等について経費の一部を補助するほか、家庭等からのCO2削減を図るためホームページ等を通じた1人1日1kgCO2削減事業を行う。また、小中学生に対する環境・エネルギー教育の機会を充実する。さらに、公共交通機関の利用を促進するほか、エコドライブの推進等を行う。

3. 予算額	13,588千円	(財源内訳)	県支出金	4,700千円
(前年度)	14,184千円)		一般財源	8,888千円



担当 環境部 環境保全課  
駒田  
354 - 8188

## (新)次世代環境人材育成事業

### 1. 目的

地球温暖化を始めとする今日の環境問題は、世界的な視野で考えることが必要である。そこで、本市の友好都市や姉妹都市の青少年と、環境をテーマとした交流を行い、グローバルな視点を有した環境活動ができる次世代の人材育成を図る。

### 2. 内容

市制施行111周年記念事業の一環として、従来の子ども地球環境塾を拡充し、本市と中国・天津市及び米国・ロングビーチ市の中学生を対象とした交流学習（ICETTに宿泊）やシンポジウムを行う。また、シンポジウムは広く市民に公開することとし、地球温暖化対策の取り組み事例のひとつとして、参加者等によるカーボン・オフセットの試行を検討する。

3. 予算額 13,180千円 (財源内訳) 一般財源 13,180千円  
(前年度 0千円)



担当 環境部 環境保全課  
川北・野田  
354 - 8188

## (新)ごみ処理基本計画改定事業

### 1. 目的

ごみ処理基本計画は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律により「市町村は、当該市町村の区域内の一般廃棄物の処理に関する計画を定めなければならない。」と定められており、目標年次を概ね10年から15年先に置いて、概ね5年ごとに改定することが望ましいとされている。

現在の計画は、平成15年度に策定されたもので、目標年次を平成25年度に置いている。前回策定時から4年を経過する中で、ごみ処理をとりまく諸条件が変化していることから、平成30年度を目標年次とする改定を行う。

ごみ処理に対する市民の意見を把握し、計画書へ反映させるために、市民意識調査もあわせて実施する。

### 2. 現在のごみ処理基本計画

#### (1) 基本理念

「みんなで創り上げよう！ ごみゼロを目指した資源循環型のまち」

#### (2) 基本目標

一人一日家庭系ごみ排出量削減率 15%

資源化率 35%以上

#### (3) 基本方針

3R（発生抑制、再使用、再生利用）の推進

安全で適正な廃棄物処理システムの整備

市民・事業者・行政の役割分担と協働による取組みの推進

### 3. 改定のポイント

#### (1) ごみ発生抑制策

#### (2) 再資源化の促進

#### (3) 施設整備構想

4. 予算額 5,100千円 (財源内訳) 一般財源 5,100千円  
(前年度 0千円)

担当 環境部生活環境課

田中

354 - 8192

## 新総合ごみ処理施設整備事業

### 1. 目的

老朽化した北部清掃工場を更新し、併せて南部埋立処分場の延命化を図るため、平成27年度稼働を目標に新たな総合ごみ処理施設の整備計画を策定する。

平成20年度は、平成16年度から行ってきた各種調査を基に、施設整備基本計画を策定するとともに、専門的知識及び経験を有する中立的な組織に技術支援業務を委託し、これまでの調査を補完するための必要な調査を行う。

### 2. 内容

(1) 施設整備基本計画策定業務委託

(施設整備基本計画、未利用エネルギーの検討等)

(2) 用地買収にかかる事前準備調査業務委託

(買収予定地権利関係調査、その他土地に関する課題整理業務)

3. 予算額      15,566千円      (財源内訳)      一般財源    15,566千円  
 (前年度      10,366千円)

#### 【新総合ごみ処理施設建設スケジュール(案)】

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	
焼却等施設	施設整備基本計画											
			環境影響調査									
				用地買収								
						造成・建設						
								稼働				
リサイクルセンター									造成・建設			
											稼働	

担当 環境部生活環境課  
 宮崎  
 354-8333

# 都 市 整 備 部

## 新年度予算における基本的な方針

人口減少時代に、持続可能で活力あるまちを目指すために、都市計画マスタープランの理念に基づき、無計画な市街地拡大を抑制し、既成市街地の有効活用に向けた施策を推進することにより、コンパクトシティの実現を目指す。

このため、新たに整備を行う基盤については、真に必要なものにとどめ、限られた予算の中で市民の満足度を高め「住み続けたいまち」にするため、効果的な基盤の整備及び維持のあり方に留意した。また、既成市街地を再生・活用するため、「徒歩や自転車で移動しやすいまち」とするための取り組みを継続するなど、全体として「持続可能な都市」を目指し、平成20年度予算を編成した。

まず、経済活動の活性化や安全安心のまちづくりの観点から重点整備すべき事業を選定し、予算を優先的に確保するとともに、住民の生活に密着した基盤の整備が必要であるとの認識に立ち、地区要望対応経費を確保した。

一方、整備済みの道路・河川・公園等の基盤の維持管理経費を優先的に確保するとともに、新たに橋梁健全化（長寿命化）計画を策定するための予算を確保した。

### 1. 均衡のとれた土地利用について

均衡のとれた土地利用を進めるためまちづくり3条例の運用を開始するとともに策定後5年を経過した都市計画マスタープランの見直しに着手する。また、基盤整備の済んでいる中心市街地や既成市街地を有効に活用し、公共交通・自転車・徒歩等の組み合わせによる暮らしやすいまちづくりの検討に取り組む。JR四日市駅周辺活性化については、早期に方向性を提示し、市としての方針を決定する。

【主な事業】	都市計画マスタープラン策定事業	6,500千円
	気軽に自転車を活用できる空間整備事業	3,000千円
	JR四日市駅周辺活性化検討事業	6,000千円

### 2. 公共交通関連施策について

平成20年度に事業完了を目指す近鉄・三岐富田駅前広場整備事業や、事業認可を受け本格的に事業着手した近鉄川原町駅付近連続立体交差事業(県事業)等に取り組み、交通結節点の強化に努める。また、NPOが運行する市民運行バス等の支援を行うなど、市民の交通手段を維持する。

【主な事業】	近鉄川原町駅付近連続立体交差事業	283,000千円
	近鉄・三岐富田駅前広場整備事業	142,000千円
	地方バス路線維持・市民運行バス支援事業	44,039千円

### 3. 市民主体のまちづくりについて

市民主体のまちづくり活動を促進するため、地区まちづくり構想等の策定を支援する一方、地域と協働した取組みのあり方を再検討する。また、里山保全や河川・海辺などの水辺空間の保全や創出を進める活動を支援する。

【主な事業】	まちづくり活動支援事業	5,500千円
	里山保全事業	4,250千円

### 4. 建築基準法等に基づく業務について

建築基準法等に基づき、確認申請の審査及び検査等を適正に実施し、違法行為の防止に努め、特殊建築物の定期報告制度に基づく審査と指導及び木造建築物耐震診断等の耐震対策の推進により、建築物の安全性向上を図る。また、建築基準法上の道路情報伝達のため、指定道路台帳等の整備を行う。

【主な事業】	建築指導事務費	49,584千円
	新指定道路台帳整備事業	12,000千円

### 5. 都市計画法等に基づく許可について

都市計画法等に基づき、新たに制定した条例の趣旨を踏まえ開発許可申請及び建築許可申請等において適正な許可処分を行い、良好な住環境を確保する。

【主な事業】	開発審査関係事務費	3,282千円
--------	-----------	---------

### 6. 道路整備について

快適な暮らしと産業活動を支える道路整備については、次の7事業を柱として実施する。

#### 都市計画道路の見直し

長期未着手の都市計画道路について、集中と選択の観点から見直し調査を行う。

【主な事業】	都市計画道路見直し調査事業	7,000千円
--------	---------------	---------

#### 幹線街路及び幹線道路の整備

市民が快適に暮らせ、円滑に移動できるよう街路等を整備し、国県道とともに道路ネットワークを形成することで、市内の渋滞緩和を図る。

【主な事業】	街路整備事業・道路整備事業	1,237,000千円
--------	---------------	-------------

<代表路線 千歳町小生線（街路）・山村平津線（道路）>

#### 準幹線道路及び一般市道の整備

幹線道路に至る道路のうち利用度が高く、整備効率の高い準幹線道路を整備する。また、地域のニーズの高い生活道路を整備するため地区要望経費を増額確保した。

【主な事業】	準幹線道路整備事業	190,000千円
	生活に身近な道路整備事業	402,000千円
	道路改良単独事業	202,265千円

## 橋梁の整備

大規模地震に対する備えとして橋梁の耐震補強整備を進める。

【主な事業】 橋梁健全化（耐震化・長寿命化）事業 389,500千円  
安心して通れる歩行空間づくり

高齢者や障害者にも配慮した人にやさしい歩行空間ネットワークを形成する。

【主な事業】 あんしん歩行空間整備事業 50,000千円  
道路の維持

道路が安全、円滑、快適に通行できるよう適切な維持補修を図る。

【主な事業】 道路維持（舗装・側溝等補修） 293,822千円  
主要道路リフレッシュ事業 50,000千円

## 狭あい道路対策事業

生活環境の改善を図るため、道路後退用地の整備を行う。

【主な事業】 狭あい道路対策事業 125,859千円

## 7. 土地区画整理事業について

現在施行中の2地区について事業の早期完了に努める。

末永・本郷地区（公共施行）

換地処分のおち、清算金の徴収交付事務を進める。

【主な事業】 末永・本郷土地区画整理事業 78,791千円

午起地区（組合施行）

道路等の公共施設の整備促進を図る。

【主な事業】 午起土地区画整理事業 44,700千円

## 8. 公園整備事業について

都市の貴重な緑の空間の保全・創出を図るため南部丘陵公園南ゾーンの整備とともに、垂坂公園・羽津山緑地の用地の取得を引き続き進める。また、霞ヶ浦緑地において、水と緑が豊かな空間で健康づくりを楽しむことができるようリニューアルを行う。

【主な事業】 南部丘陵公園整備事業 34,000千円

垂坂公園・羽津山緑地整備事業 300,000千円

霞ヶ浦緑地親しみ空間整備事業 25,000千円

## 9. 河川事業について

準用河川改修、十四川調整池整備等を引き続き実施するとともに、新たに平津川の河川改良に着手する。溜池及び河川の調整能力やネック点を調査し、今後の効率的な治水対策のあり方の検討を継続する。

【主な事業】 準用河川改修事業 237,000千円

十四川調整池整備事業 160,000千円

**10. 交通安全対策について**

交通事故を防止するためには、交通弱者である子ども、高齢者に対して交通安全教育を行うことが重要である。このため平成20年度より四日市市交通安全協議会に交通安全教育指導員を配置し、小中学校・幼稚園の児童・生徒への交通安全教育を実施する。

【主な事業】 新交通安全教育事業補助金 3,700千円

**11. 財産・施設の管理業務について**

市民生活に直結した道路等行政財産の適正な管理を行う。

また、未登記道路の解消や、国から譲与を受けた法定外公共物（里道、水路）の管理を行う。さらに、境界立会業務を効率的に行うための境界査定管理システムの構築を行う。

【主な事業】	道路等の財産管理事業費	100,931千円
	境界査定業務費	21,408千円
	未登記道路調査事業費	27,541千円

**12. 公共建築物等の整備について**

公共建築物等の整備にあたり、安全確保はもちろんのこと、利用者のニーズを把握し、維持保全経費を含む総費用の縮減、バリアフリー化の推進、環境負荷の低減、公共建築物の長寿命化に向けた具体的な方策の検討を行い、誰もが使いやすい公共建築物等の整備を行う。

【主な事業】 営繕事務費 3,687千円

**13. 市営住宅整備事業について**

計画的な改修や耐震補強及び高齢者・障害者向け改良により、既存市営住宅の有効活用を図る。また、曙町市営住宅の建替えについて平成21年度着工に向けた準備を進める。

【主な事業】	老朽市営住宅耐震対策事業	20,000千円
	高齢者・障害者向け改良事業	20,000千円
	曙町市営住宅建設事業	20,400千円

## 気軽に自転車を活用できる空間整備事業

### 1. 目的

平成17年2月に京都議定書が発効され、地球温暖化防止をはじめとした環境問題への対応が求められている。また、生活習慣病予防など健康問題からも自転車利用が注目をされているなか、過度に自動車に依存しない環境・健康にやさしい自転車を日常生活における都市交通手段のひとつとして位置づけ、自転車を利用しやすい空間整備を目指す。

### 2. 内容

鉄道駅を中心に徒歩、バス等の移動手段と自転車相互の有機的連携を強化し、自転車利用の利便性を高める方策を検討する。(既成市街地整備事業と連携)

さらに、自動車から自転車に乗り換えたいくなるような意識づくり、空間づくり、しくみづくりの3つの視点から、社会実験などによる課題整理や意識調査をもとに、具体的な空間整備方針を検討し、利用促進に向けたアクションプログラムの策定を行う。

3. 予算額 3,000千円 (財源内訳) 一般財源 3,000千円  
(前年度 3,000千円)

#### 関連事業

既成市街地整備事業 3,000千円



自転車走行レーン社会実験



社会実験と自転車総点検

担当 都市整備部都市計画課  
佐藤、伊藤  
354-8194

# 幹線道路整備事業

1. 目的

既存の都市機能を活用しつつ、商工業などの経済活動の活性化や円滑な都市機能の強化を促進していくには、国、県道の広域道路ネットワークと連携した市内のネットワーク整備を行う必要がある。そのために作成した道路整備計画に基づき重点路線の整備を推進する。

2. 内容

市民の移動を安全で円滑にする道路整備を行い、また、市内幹線道路ネットワークを構築するため、都市計画道路としては、東西道路の強化としての千歳町小生線、四日市関ヶ原線、南北道路の強化としての環状1号線の3路線、一般市道では、山村平津線、小杉新町2号線、大鐘19号線に加え、新たに垂坂1号線の整備に着手し早期完成に努める。

3. 予算額	1,237,000 千円	(財源内訳)	国庫支出金	625,350 千円
	(前年度 1,277,000 千円)		市 債	576,000 千円
			一般財源	35,650 千円

環状1号線

北から望む (整備前)



山村平津線

南から望む (整備後)



事業完了年度

千歳町小生線	平成20年度
環状1号線	平成21年度
四日市関ヶ原線	平成23年度
山村平津線	平成22年度
小杉新町2号線	平成22年度
大鐘19号線	平成20年度
垂坂1号線	平成22年度

担当 都市整備部道路整備課  
川尻、伴  
354 - 8213

## 生活に身近な道路整備事業

### 1. 目的

道路に関する地区土木要望に対する事業実施率の低さを改善するため、平成19年度より土木要望対応に特化した予算を新たに創設した。より透明性、公平性を明らかにし、生活道路等の整備を図る。

### 2. 内容

土木要望対応に特化した予算の配分額を全地区に公表する。また、従来、道路整備課が行っていた要望個所の決定を地区が自主的に立ち上げた選定組織により行うことができるよう制度化し、地区が主体となり「選択と集中」の議論を通して、舗装の新設・改良、側溝の整備及びカーブミラーの新設などを実施することにより、住民自治によるまちづくりの推進を図るとともに、地域との協働・分担意識を高め、より効率的で適正な事業執行に努めていく。

平成19年度においては、6地区で自主選定組織が結成された。(富洲原・八郷・大矢知・県・内部・楠)

平成20年度も引き続き、自主選定組織結成地区の増加に努めるとともに事業の精度を高めていく。

3. 予算額 402,000 千円 (財源内訳) 一般財源 402,000 千円  
(前年度 342,000 千円)

小杉町地内



野田二丁目地内



担当 都市整備部道路整備課  
石田  
354 - 8215

# あんしん歩行空間整備事業

## 1. 目的

本路線周辺は、車・人・自転車の輻輳による交通事故が後を絶たない。「市民誰もが安心して社会参加でき、快適に暮らせる生活環境を確保した歩行空間づくり」をコンセプトに、市立四日市病院・四日市市文化会館を始めとする各公共施設と近鉄四日市駅や JR 四日市駅を結ぶ道路の段差解消等を行い、高齢者や障害者にも配慮した歩行空間ネットワークの形成を図る。

## 2. 内容

本事業は、平成 16 年度を事業初年度として、近鉄四日市駅西周辺の堀木日永線・赤堀末永線（西浦通り）・四日市中央線の 3 路線を整備してきた。また、平成 19 年度より、JR 四日市駅周辺の四日市中央線において、歩行空間の安全確保のため照明灯整備に着手し、平成 20 年度は引き続き四日市中央線の照明灯整備を実施するとともに、金場新正線の段差解消等を行う。

3. 予算額	50,000 千円	(財源内訳)	国庫支出金	27,500 千円
	(前年度 50,000 千円)		市 債	10,100 千円
			一般財源	12,400 千円

赤堀末永線

南から望む（整備後）



四日市中央線

西から望む（現況）



事業完了年度

平成 21 年度

担当 都市整備部道路整備課  
川尻  
354 - 8213

## 主要道路リフレッシュ事業

### 1. 目的

市民が快適に暮らせるまちを目指すためには、地域間を結ぶ幹線道路の交通ネットワークを円滑に機能させることが重要である。

幹線道路は、交通量が非常に多く、舗装面の損傷や陥没などが頻繁に発生しており、部分補修では限界があるため、舗装面の再舗装を大規模修繕事業として計画的に実施することで、耐用年数の長寿命化を図り安全で快適な道路の維持管理を行う。

### 2. 内容

地域間を結ぶ幹線道路の中から、舗装面の損傷度合いや交通量により計画的に再舗装工事を実施する。平成20年度は前年度からの継続7路線に加え、新たに2路線に着手する。

- ・ 下野保々線
- ・ 日永八郷線
- ・ 三重団地1号線
- ・ 三重団地生桑線
- ・ (新) 笹川1号線
- ・ 南小松采女3号線
- ・ 花川六名線 (フラワーロード)
- ・ 河原田環状線
- ・ (新) 赤堀末永線 (西浦通り)

3. 予算額 50,000 千円 (財源内訳) 一般財源 50,000 千円  
(前年度 30,000 千円)

赤堀末永線 (現況)



笹川1号線 (現況)



担当 都市整備部道路整備課  
中村  
354 - 8215

## 近鉄・三岐富田駅前広場整備事業

### 1. 目的

自動車（バス）や自転車からの乗り換え拠点となる鉄道駅にバス乗降場、キス&ライドスペース、駐輪場等を駅前広場として一体的に整備することにより公共交通機関の利用を促進し、市民生活の利便性の向上及び交通手段の分散による渋滞緩和を図るとともに、都市部におけるゆとりや潤いを提供するシンボルゾーンとなるよう整備を図る。

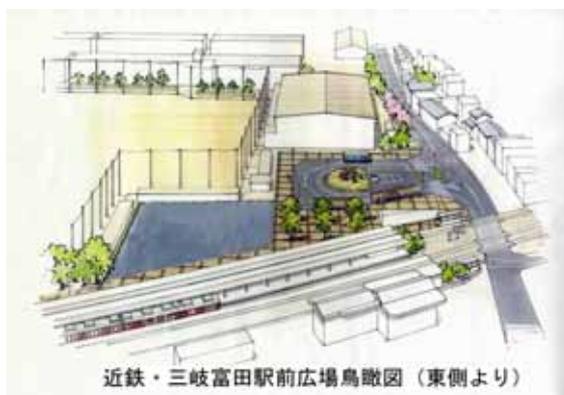
### 2. 内容

四日市北部の交通結節点である近鉄・三岐富田駅西側に駅前広場整備を進める。平成19年度は用地買収を完了させ、平成20年度には、工事に着手し、平成21年4月には供用を開始する。

概要	広場整備面積	3,500 m <sup>2</sup>
	バス乗降場	2 台
	タクシーベイ	4 台
	キス&ライド（送迎用）スペース及びタクシー乗降場	4 台
	駐輪場	550 台

3. 予算額	142,000 千円	（財源内訳）	国庫支出金	56,700 千円
	（前年度 248,000 千円）		市 債	81,000 千円
			一般財源	4,300 千円

完成予想鳥瞰図



自転車駐輪場（現況）



事業完了年度      平成20年度

担当   都市整備部道路整備課  
川尻  
3 5 4 - 8 2 1 3

## 橋梁健全化（耐震化・長寿命化）事業

### 1. 目的

近い将来発生が危惧される大規模地震に備え、緊急輸送道路を始め市街地や主要路線上の既存橋梁を地震時に安全が確保できるよう耐震対策を行うと共に、既存橋梁の現状把握を行い、適切な保全対策を主体とした橋梁の長寿命化計画を策定し、耐震化事業と併せて橋梁健全化事業を推進する。

### 2. 内容

大規模地震発生後の迅速な救援活動等が実施できるよう緊急輸送道路や鉄道・道路を跨ぐ橋梁の耐震対策を計画的に進めるため、磯津橋においては上部工の補強工事を、海山道跨線橋（笹川通り）・つんつく大橋・西山第一橋には落橋防止装置等を設置、三重橋においては上部工の工事に着手する。また、老朽化した橋梁の長寿命化計画策定のための調査に着手する。

3. 予算額	389,500 千円	（財源内訳）	国庫支出金	27,500 千円
	（前年度 552,000 千円）		市 債	263,700 千円
			そ の 他	48,250 千円
			一般財源	50,050 千円

磯 津 橋

南より望む



海山道跨線橋

東より望む



### 事業完了年度

磯津橋	平成 21 年度
海山道跨線橋	平成 21 年度
つんつく大橋	平成 20 年度
三重橋	平成 20 年度
西山第一橋（水路橋）	平成 20 年度

担当	都市整備部道路整備課
	川尻、伴
	3 5 4 - 8 2 1 3
	都市整備部河川排水課
	三好
	3 5 4 - 8 3 5 7

# 霞ヶ浦緑地親しみ空間整備事業

## 1. 目的

霞ヶ浦緑地は、海岸線に沿った南北に長い緑地で、南側部分は野球場、サッカー場、四日市ドームなどのスポーツ施設があり、北側は松並木や散策広場等落ち着いた雰囲気、幼児から高齢者までの幅広い層にわたって休憩、散策、スポーツ等に利用されている。平成18年度より浜園ターミナルのオープンやオーストラリア館にカモノハシ（モニュメント）が常設されるなど集客施設が増えることで、それらを結ぶ当緑地を整備することにより多くの市民が集える魅力あるシーサイドエリアを創るため、既存の施設をリニューアルする。

## 2. 内容

平成19年度から平成21年度の3カ年を目途に、事業費54,500千円を投入してトリムコース、サイクリングコースの舗装整備をはじめ案内看板、ライン文字の設置、ストレッチ器具を含む遊具の新設、花壇の整備等を予定するもので、平成19年度は舗装整備の一部と側溝及び交通安全施設の整備を行った。

2年目である平成20年度の事業内容は、事業費25,000千円で案内看板及びストレッチ器具を含む遊具の設置と花壇の整備等を行う。

3. 予算額	25,000千円	（財源内訳）	一般財源	25,000千円
（前年度）	14,500千円）			



案内看板  
ストレッチ器具及び遊具  
花壇

担当 都市整備部市街地整備・公園課  
林  
354 - 8197

# 近鉄川原町駅周辺総合整備事業

## 1. 目的

「近鉄川原町駅周辺総合整備事業」は、三重県が施行する「近鉄川原町駅付近連続立体交差事業」、「三滝川河川改修事業」、「国道477号西浦バイパス道路改良事業」を基本事業とし、四日市市が施行する四日市関ヶ原線改築事業、川原町駅周辺地区整備事業と合わせ、近鉄川原町駅周辺の一体感のあるまちづくり、地域の治水安全度の向上、踏切除却による自動車交通の円滑化を目的として三重県と四日市市が協力して事業を推進するものである。

## 2. 内容

近鉄川原町駅付近連続立体交差事業は、平成19年2月19日に事業認可を受け、平成19年11月1日には三重県と直接工事施工を行う近畿日本鉄道(株)とが「協定書」を締結し、本格的な事業着手となった。平成20年度は、引き続き仮線用地の確保を行うとともに仮線の敷設に着手する予定であり、四日市市は地元負担金を支出する。

国道477号西浦バイパス道路改良事業、四日市関ヶ原線改築事業については用地取得を進め、また川原町駅周辺地区整備事業においては、川原町駅から国道1号までの道路(末永滝川線)の高質化整備を行う。

3. 予算額	424,000 千円	(財源内訳)	国庫支出金 23,000 千円
(前年度	416,000 千円)		市 債 371,500 千円
			一般財源 29,500 千円



担当 都市整備部  
市街地整備・公園課  
鈴木  
354-8200

# 準用河川改修事業

## 1. 目的

市民の生命、財産を守る上で重要な治水事業を行っていく中で、四日市市管理の準用河川の改修事業において、特に改修の必要な3河川に事業費を集中し、自然環境の保全に留意しながら治水安全度を向上させていくものである。

## 2. 内容

本事業は昭和49年の集中豪雨による災害を契機として、水害を低減することを目的とした事業で、準用河川として国の認可を受けて整備を行う。

平成20年度は、前年度に引き続き事業進捗を図るもので、朝明新川では二級河川朝明川の流下能力に合わせて河川断面の拡幅を行い、施工区間で支障となる橋梁の架け替えを行う。

米洗川でも同様に河川断面の拡幅を行い、施工区間で支障となる道路橋梁の架け替えを行う。

萱生川は懸案となっていた三岐鉄道橋部分のネック点解消に向け、平成19年度より4カ年で鉄道橋梁の改築を進めており、その2年目となる。

3. 予算額	237,000千円	(財源内訳)	国庫支出金	79,000千円
(前年度)	237,000千円)		市債	150,100千円
			一般財源	7,900千円

準用河川萱生川三岐鉄道橋(中村第3橋梁)



担当 都市整備部河川排水課  
矢田  
354-8216

# 十 四 川 調 整 池 整 備 事 業

## 1 . 目的

準用河川十四川においては、下流域で河川の断面を拡大することが困難なことから、上流域に洪水調整池を設置することにより、中・下流域の治水安全度を向上させるものである。

## 2 . 内容

平成19年度の一部事業実施に引き続き、平成20年度も調整池整備事業の進捗を図り、年度内の完成及び供用開始を目指すものである。

この調整池（調整容量：約20,300 m<sup>3</sup>）を築造することにより、10年に1度の確率で発生すると予想される規模の降雨に対応することが可能となり、十四川の河川全体の治水安全度を高めることができる。

3 . 予算額      160,000 千円                      （財源内訳） 市      債      160,000 千円  
（前年度      108,800 千円）

十四川調整池位置図



担当 都市整備部河川排水課  
矢田  
3 5 4 - 8 2 1 6

## 曙町市営住宅建替事業

### 1. 目的

耐震基準を満たしていない老朽市営住宅団地を建て替えることにより、耐震対策を推進し、社会ニーズに対応した市営住宅の整備を進める。

### 2. 内容

平成19年度に基本設計を作成しており、平成20年度は平成21年度の工事着工に向けて準備を進めて行く。

平成20年度予定事業

事業者選定業務

契約締結業務

地質調査業務等

基本方針

- (1) 市営住宅 100戸程度  
高齢者や障害者等に対応したユニバーサルデザインを導入する。
- (2) 共同施設 駐車場、集会所、緑地等
- (3) 整備方針 入居者の世帯状況、敷地や周辺の環境等を勘案し、県営住宅と一体化した建て替えを行う。

3. 予算額	20,400千円	(財源内訳)	国庫支出金	9,180千円
(前年度	20,740千円)		一般財源	11,220千円

曙町市営住宅の現況



担当 都市整備部市営住宅課  
葛巻  
354 - 8219

# 会 計 管 理 室

## 新年度予算における基本的な方針

公正で、正確、効率的な会計事務執行の支援を行う。また、公金の運用については、金融機関の経営の健全性や金利動向を注視しながら、安全性、流動性を確保した上で、運用手段の拡大に努め、効率性も追求していく。

### 1. 会計管理事業について

適正な会計事務が執行されるように、実務担当者を対象とした会計事務研修や会計実務に関する相談・支援も兼ねて、各所属の会計処理について実地検査を実施する。

公金の運用について、関係各課と定期的に協議・情報交換を行い、資金収支の把握に努め、金利動向を踏まえた効率的な運用に取り組む。

また、平成 19 年度に開始した定期支払いの一括処理の拡大に努めるなど会計事務の効率化を図る。

【主な事業】 会計管理経費 当初予算額 29,380千円

# 議 会 事 務 局

## 新年度予算における基本的な方針

議会が二元代表制に基づく市民の代表機関としての役割を果たすとともに、議会の活性化を進め、市民の議会に対する関心を高める。

### 1. 適法かつ効率的な議会運営について

議会は、団体意思の決定を行う議事機関としての機能及び執行機関の監視を行う監視機関としての機能を担い、地方分権時代においては、これらの機能の充実・強化が求められていることから、議会事務局は、議会がこれらの役割を果たすための環境を整備し、議長及び議員の職務をサポートする。

【主な事業】	議会運営費	69,370千円のうち	
	会議録作製事業		8,435千円

### 2. 議会の政策形成機能の充実について

議会は、地方自治体の自己決定権の拡大に伴い、団体意思の決定を行う前提として、議会の政策形成機能の充実が求められていることから、議会事務局は、議員提出議案の作成補助とともに、そのための調査研究をサポートする。

【主な事業】	政務調査費		30,240千円
	議会運営費	69,370千円のうち	
	行政視察		16,450千円
	議員パソコン・インターネット事業		1,813千円

### 3. 市民への議会情報の提供及び議会への市民参加の取り組みについて

議会には、多様な民意の反映、市民の意見の集約などの役割が求められ、議会の構成や運営において、議会の意思と市民の意思が乖離しないように努めることがより必要とされていることから、議会事務局は、市民への議会情報の提供に努めるとともに、議会への市民参加にも取り組み、市民に開かれた議会の実現を促進する。

【主な事業】	議会運営費	69,370千円のうち	
	本会議テレビ放映委託事業		18,050千円
	広報紙等作製事業		9,025千円
	市議会モニター制度運営費		392千円
	インターネット配信事業		5,912千円

## インターネット配信事業

### 1. 目的

議会に対する市民の関心を高めるため、市民に開かれた議会を目指し、市民への議会情報の提供を進める。

### 2. 内容

市民に開かれた議会を目指し、平成18年12月から年4回の定例会における本会議の録画映像をインターネット配信することにより、市議会及び市政に関する市民の関心をさらに高めていく。

また、インターネットにおける市議会会議録の閲覧・検索について、新たなシステムを導入し、閲覧・検索の利便性を図る。

3. 予算額	5,912千円(財源内訳)	一般財源	5,912千円
(前年度)	2,140千円)		

担当	議会事務局議事課
	岡本
	354-8257

# 監 査 事 務 局

## 新年度予算における基本的な方針

市の財政が公正かつ効率的に執行されているのか、市行政の実績や成果が住民の福祉と行政水準の向上に寄与しているかどうか重点をおいて監査委員の行う監査事務の補助を行う。

### 1. 定期監査について

財務に関する事務の執行及び経営にかかる事業の管理が最少の経費で最大の効果を挙げているかに留意し、予算の執行及び財産の管理などが適法、適正かつ効率的に行われているかの検証を主眼として行政機構別を実施する。また、監査を実施するにあたっては、財務監査における事務事業の合規制、正確性の視点はもとより、事業の監査における経済性（Economy）、効率性（Efficiency）、有効性（Effectiveness）の3E監査の視点による監査の充実を図る。

### 2. 行政監査について

市の事務執行に関し、事務組織及び執行体制、事務処理の手続き方法、事務の執行状況、その他行政運営全般について、公正で効率的かつ効果的に行われているかの視点から監査を実施する。

定期監査に併行して、行政監査として「時間外勤務の状況」、「原課契約工事の執行状況」、「旅費の執行状況」等について監査する。

### 3. その他の監査、検査、審査について

上記のほか、出資団体監査、財政援助団体監査、工事監査、公の施設の指定管理者監査を行うとともに、例月現金出納検査、決算審査、基金運用状況審査を行う。

また、平成19年6月に制定された地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、新たに実質赤字比率や実質公債費比率など健全化判断比率等の審査を行う。

【主な事業】                      監査事務一般経費                      当初予算額    1,879千円

# 教 育 委 員 会

## 新年度予算における基本的な方針

学校教育については、2010年度を目標年度とした「四日市市学校教育ビジョン」の基本方針等を堅持し、これまでの取り組みをベースに、教育を取り巻く状況の変化に対応していくための事業の整理、見直しを行いつつ、ビジョンにおける基本目標を達成するための各種施策に積極的に取り組む。

主な施策として、引き続き小中全学年における主要教科での少人数授業の実施や特別支援教育の充実に向けた取り組みなどにより、個々の子どもを尊重しつつ、確かな学力の定着を図るとともに、いじめや不登校等に対応するための教育相談を充実する。さらに、大学や企業との連携による学習活動の充実と教員の授業力の向上に取り組む。また、中学生の健全な食生活の確立と幼児の食習慣の育成等に向けて、デリバリー方式による給食制度を導入する。なお、学校の小規模化がもたらす教育環境の課題への対応に取り組む。

社会教育においては、健全な子どもの育成に向けて、子どもの学校内外での規則正しい生活や放課後の安全で安心な環境づくり、青少年の非行防止等について、保護者や地域住民、さらには学校と行政が一体となった取り組みを推進するとともに、市民のニーズに応じた効果的・効率的な事業の実施に努める。

主な施策として、青少年の健全育成においては、学校・PTAや地域と連携した「早ね 早おき 朝ごはん」市民運動の啓発を中心とする親と子どもの豊かな育ち事業の推進や学童保育事業への支援等に取り組む。図書館、博物館等社会教育施設においては、それぞれの特性を生かした学習機会・情報の提供等を推進する。さらに、平成19年2月に策定した四日市市スポーツ振興基本計画に基づき、スポーツ施設の整備・充実を図るとともに、生涯スポーツの普及・振興を図るため、引き続き総合型地域スポーツクラブへの支援等に努める。

## 1. 教育課程・指導内容の充実について

学びの一体化として、これまでの各中学校区で進めている実践事例の情報提供や、全国学力・学習状況調査及び到達度検査の結果の分析を基にした指導の改善並びに充実策の提言によって、教育活動の連続性の確保・充実を一層進め、学校教育機能を高める。

また、各中学校区で、子ども人権フォーラムの開催、教職員研修の充実、地域関係組織との連携を図り、幼小中一貫した人権教育を推進する。また、園・学校における人権教育の推進が図られるよう、発達段階に応じたカリキュラムや学習プログラムの整備に努める。

さらに、野外活動を通して自然に触れる楽しさを味わうとともに、集団生活を通して人間的なふれあいを深め、相互の理解と信頼を高める自然教室の実施や、キャリア教育の一環として、地域の事業所等の協力を得て行う職業体験学習の実施など、体験を重視した教育を推進する。

【主な事業】	学びの一体化推進事業	1,352千円
	学校人権教育推進事業	3,320千円

自然教室事業	24,088千円
自分発見中学生地域ふれあい事業	2,170千円

## 2. 学校の指導体制・組織の整備について

全ての小中学校において、みえ少人数学級を継続するとともに、市独自施策として、小学校では国語・算数、中学校では数学・英語等の授業を30人以下で実施し、基礎・基本の徹底を図る。さらに、大学及び企業と連携し、専門的な立場の高い知識と豊かな経験等を授業や教員の研修等に活用することにより、理科教育及びキャリア教育等の学習活動の充実と教員の授業力の向上を図る。

また、小学校へ7人の外国人英語指導員を派遣し、コミュニケーション能力の育成と国際理解をめざした英語活動を、市の英語活動カリキュラムの活用によって行う。中学校では11人の外国人英語指導員を派遣して、日本人教師とのチームティーチングによる英語指導の充実を図る。

さらに、学校図書館の活性化及び子どもたちの読書活動と図書館利用教育の推進に向けて、小中学校に司書13名を派遣し、図書館担当教員への助言及び子どもの活動支援、図書館ボランティアへのアドバイス等を行う。

「学校づくりビジョン」の実現に向けた教育活動や研修活動等を支援し、創意工夫ある学校づくりの推進を図る。

すべての小中学校にスクールカウンセラーまたは心の教室相談員を配置するとともに、幼稚園・学校からの要請で行う専門的な相談のできるカウンセラーの派遣を充実し、学校カウンセリング機能の充実を図る。

また、障害のある子どもに対して、一人一人の教育的ニーズに応じた指導や支援に資するため、学校・園の特別支援教育体制の推進に指導・助言・連絡調整を行う「地域特別支援教育コーディネーター」のほか、特別支援学級に介助員を配置するとともに、通常の学級において発達障害等で支援を要する児童生徒に特別支援教育支援員を配置する。

さらに、増加し続ける外国人幼児児童生徒に対する日本語指導や教科の補充指導、教育相談等の充実を図るために、在籍校・園に適応指導員を配置する。

【主な事業】基礎学力・教育力ジャンプアップ事業	184,800千円
	(うち179,900千円)
大学及び企業との連携による授業力向上事業	3,595千円
学校英語教育充実事業	85,793千円
学校図書館いきいき推進事業	39,645千円
学校づくりビジョン推進事業	24,800千円
いじめ・不登校等教育相談事業	18,160千円
生徒指導対策事業費	6,860千円
特別支援教育推進事業	4,035千円
特別支援学級介助員費	111,049千円
特別支援教育支援員費	6,943千円

### 3. 教職員の資質向上について

教職員の資質向上と本市がめざす学校教育ビジョンの目的達成につながる様々な研修を実施するとともに、教育支援課と学校が連携して、授業実践を通して研究課題に対する成果や課題を明らかにしつつ研究と研修の一本化を図る。また、経験の少ない非常勤講師等への指導・助言を行うための指導員を確保し、学校教育力の一層のレベルアップを目指す。

さらに、教職員の人権意識の高揚及び資質の向上をめざすために実践的な研修を開催するとともに、人権教育についての深い知識と実践力を備えた指導者を育成し、人権教育推進リーダーとして校内や中学校区で活躍できるような指導体制を確立する。

いじめ等問題行動や不登校の未然防止、早期発見、早期対応に向けて、教職員の指導・相談体制等の充実、「楽しい学校生活を送るためのアンケートQ-U」の教育実践への効果的な活用の推進、さらに地域・保護者との連携の強化等に努める。

【主な事業】	教職員研修事業	4,202千円
	重点課題研究推進校事業	1,200千円
	基礎学力・教育力ジャンプアップ事業	184,800千円
		(うち4,900千円)
	学校人権教育リーダー育成事業	624千円
	学級経営サポート事業	2,500千円

### 4. 学校施設・設備の充実について

児童生徒の通学時の安全確保のため、通学路の交通安全施設等の整備と不審者等への対応として、地域と一体となった見守り活動を引き続き推進する。

学校施設については、構造上機能改良工事が困難で老朽化が著しい校舎の改築を1校で着手するとともに、経年劣化に対応するため2校で大規模改造を行う。さらに、バリアフリー化施設整備については3校で、衛生管理強化のための給食室の改修については1校で工事を行う。

また、中学校及び幼稚園でデリバリー方式による給食を導入するため、中学校5校で配膳室の整備を行うとともに、幼稚園に配膳用備品を整備する。

さらに、児童生徒へのより分かりやすい授業を推進するとともに、学校における個人情報の保護と校務の効率化を図るため、小中学校の教職員に一人1台パソコンの配備を行い、本庁及び学校間のネットワーク化を図る。

【主な事業】	通学路交通安全施設整備事業	20,000千円
	小中学校改築整備事業	230,150千円
	小中学校大規模改造整備事業	205,700千円
	小中学校バリアフリー化施設整備事業	125,400千円

給食室改修整備事業	54,000千円
新 中学校給食施設整備事業	32,000千円
新 幼稚園給食事業	1,890千円
学校教育IT推進事業	52,150千円
教育情報通信システム運営事業	191,159千円

## 5. 保護者・地域とともにつくる学校(園)について

地域に開かれた信頼される学校づくりのために、地域・保護者と学校が各小中学校の「学校教育ビジョン」を共有して地域との協働を進めるための組織を再編し、学校関係者評価を実施するとともに、その発展した組織としてのコミュニティスクール(学校運営協議会)に関する調査研究事業に引き続き取り組む。

また、公立幼稚園各園における教育活動の充実や特色ある園づくりを一層進めるとともに、地域の未就園児を対象に行う園開放や子育て相談等の子育て支援活動を充実させ、地域における幼児教育センターとしての機能を高める。

さらに、教育上配慮を必要とする地域において、学校・家庭・地域が相互に連携し、子ども自らが基本的人権を尊重する精神を育成するための事業を実施する。

【主な事業】 新 開かれた学校づくり推進事業	975千円
コミュニティスクール調査研究事業	1,169千円
子育て支援推進事業	4,920千円
子ども人権文化創造事業	6,101千円

## 6. 学校をとりまく制度の整備

増加傾向にある不登校や発達障害などの課題をもつ子どもへの対応や指導体制・相談体制の整備・充実を図るため、引き続き、不登校児童生徒に対する適応指導教室における受け入れを行うとともに、各種関係機関と連携を図り、就学前から中学校卒業後を見通した一貫した特別支援教育相談支援体制の構築を図る。

外国人児童生徒教育については、日本語が分からない外国人児童生徒を対象に、初期適応指導を行う「いずみ」教室を加えたシステムの効果は大きく、入級希望者も多い。このニーズに応えるため、一層指導面・運営面の工夫に努める。

また、食育・子育て支援等の観点から、幼稚園、中学校でのデリバリー方式による給食事業を導入する。

【主な事業】 適応指導教室事業	8,101千円
特別支援教育・相談事業	6,640千円
外国人幼児児童生徒教育充実事業	41,445千円
	(うち20,917千円)
新 中学校給食事業	49,100千円

## 7. 青少年の健全育成について

学校及び家庭生活を一連のものとした青少年の健全育成をめざし、子どもの生活リズムや規範意識の向上、子どもの安全・安心に向けて、保護者や地域住民、さらには学校と行政が一体となった取り組みを推進する。また、放課後の子どもの過ごし方として、留守家庭児童を対象とした学童保育事業の支援及び子どもの安全な遊び場、異年齢や地域住民との交流の場を提供するための放課後子ども教室のモデル事業に取り組む。さらに、青少年の健全育成・非行防止活動の一環として、青少年が気軽に集い、大人とも語り合える場の提供と自主的な活動の支援を図るとともに、有害情報対策にかかる啓発活動や非行防止教室等を開催する。

子どもの読書活動の推進については、子どもの読書活動推進計画に基づき、まちの中により自然な形で子どもが本に親しむ環境づくりや市民への普及・啓発のための取り組みを計画的に進める。

少年自然の家においては、青少年に自然を直接体験し、他の参加者と交流を深める野外活動事業の提供や参加者に自然のすばらしさや体験後の達成感などを感じさせる活動を推進する。

【主な事業】	親と子どもの豊かな育ち事業	6,108千円
	学童保育事業費補助事業	111,790千円
	放課後子ども教室推進事業	2,407千円
	子どもと若者の居場所づくり事業	3,337千円
	子どもの読書活動推進事業	322千円
	少年自然の家活動事業	906千円

## 8. 文化財関係について

文化財、埋蔵文化財については、適正な保存と維持管理に努めるとともに、国史跡として指定された久留倍官衙遺跡について、今後の保存と整備・活用に向けて、政庁部分の学術調査等を行う。また、歩行者用地下道工事の施行や発掘調査の整理作業等を行う。

【主な事業】	久留倍遺跡保存活用事業	62,400千円
	文化財維持管理事業	8,103千円
	埋蔵文化財保護事業	4,704千円
	文化財保存対策事業	2,576千円

## 9. 生涯学習機会の提供について

図書館においては、今後の図書館整備における方向性の検討のため、引き続き調査研究を行うとともに、利用者のニーズを把握し、選書やリクエスト本の購入など効果的な資料配備に努める。また、図書館開設100周年を記念して、イベント等を開催し、市民の図書館への関心を高め、利用促進を図る。

博物館においては、市民の関心が強い分野を中心に事業展開を図り、優れた文化芸術や最新の天文情報などの紹介を行う。また、学校からの団体見学や移動式プラネタリウムによる出前授業が本市の学校教育の一環としてより一層定着するよう学校との連携を強める

とともに、内容の充実を図る。

【主な事業】	図書館のあり方調査研究事業	1,000千円
	図書資料整備費	28,000千円
	新図書館開設100周年(市制施行111周年)記念事業	1,000千円
	特別展等開催事業	45,235千円
	プラネタリウム投映事業	14,832千円
	天文教育普及活動事業	1,594千円

## 10. スポーツ・レクリエーションについて

施設利用者の安全確保と利便性の向上を図るため、温水プール耐震補強改修工事及び中央緑地体育館漏水防止工事並びに陸上競技場第2種公認更新改修工事を実施する。

また、地域における生涯スポーツ環境の整備充実を図るため、「総合型地域スポーツクラブ」の運営支援及び設立に向けた啓発活動を行う。

【主な事業】	温水プール耐震補強工事	104,200千円
	中央緑地体育館漏水防止工事	71,500千円
	中央緑地陸上競技場第2種公認更新改修工事	73,000千円
	総合型地域スポーツクラブ育成支援事業	5,285千円

## いじめ・不登校等教育相談事業

### 1. 目的

不登校、いじめや暴力行為などへの対応の充実及びこれらの未然防止や早期発見・解決に向けた学校の教育相談機能・体制の充実を図るため、専門的な知識・経験を有する臨床心理士や児童生徒・保護者が悩みや不安等を気軽に話せる相談員等の配置や派遣を行う。

### 2. 内容

#### 配置及び派遣者

##### スクールカウンセラーの配置

(スクールカウンセラー：臨床心理士等が児童生徒及び保護者に専門的な知識と経験によりカウンセリングや関係機関へつなげる等の助言を行う)

市の配置校：中学校4校，小学校5校，県の配置校：中学校18校

##### 心の教室相談員の配置

(心の教室相談員：相談員経験者や教職経験者等が保護者の悩み相談や児童生徒の悩み相談を行う)

市の配置校：小学校35校

##### ハートサポーターの派遣

(ハートサポーター：学校を通じての要請があった相談に、臨床心理士等を家庭や学校へ派遣して、直接面接形式でカウンセリングを行う)

幼稚園・小中学校を対象に年間80回派遣

3. 予算額 18,160千円 (財源内訳) 一般財源 18,160千円  
(前年度 18,160千円)

担当 教育委員会 指導課

伊 藤

354 - 8255

## 外国人幼児児童生徒教育充実事業

### 1. 目的

外国人幼児児童生徒への日本語指導や教科の補充指導、教育相談の充実を図るため、拠点校・園及び在籍する一般校・園に適応指導員を配置する。

また、日本語がほとんどわからない外国人児童生徒を対象に、初期適応指導教室「いずみ」(笹川西小学校に平成18年10月開設)で一定期間集中的に日本語指導や学校生活への適応指導を行う。

### 2. 内容

#### (1) 適応指導員派遣について

適応指導員の派遣形態

- ・ 拠点(準拠点)校・園 6校・園(幼稚園1園、小学校3校、中学校2校)
- ・ 一般校・園 13校・園

適応指導員

本市および本市近辺に在住し、日本語とポルトガル語、スペイン語、中国語、タイ語、タガログ語等が話せる者

指導内容

- ・ 日本の学校生活への適応指導
- ・ 日本語の補充教室の指導助手
- ・ 担任と保護者の連絡・相談時の通訳
- ・ 家庭訪問 など

#### (2) 外国人児童生徒のための初期適応指導教室「いずみ」について

指導者等

- ・ コーディネーター1名(県費) ・ 指導員5名(市の臨時職員)
- ・ 事務担当者1名(市の臨時職員)

指導内容

- ・ 日本語による日常会話
- ・ ひらがな、カタカナ、小学校低学年程度の漢字の読み書き
- ・ 基礎的な算数の学習
- ・ 日本の学校生活への適応指導
- ・ 受入れ時の保護者へのオリエンテーション

3. 予算額 41,445千円 (財源内訳) 一般財源 41,445千円  
(前年度 41,537千円)



担当 教育委員会 指導課

伊藤

354-8255

## 大学及び企業との連携による授業力向上事業

### 1. 目的

企業人・社会人の知識・技術・経験等を活用し、理科教育及びキャリア教育の充実を図るため、各小中学校における活動内容の調整や講師派遣等を支援する。特に、「理科・科学が好きな子ども」が育つ授業の充実をめざし、大学や企業との連携・協力による授業研究を進めるとともに、専門研修・講座を充実させる。

また、教員の資質向上を図るため、各幼稚園・小中学校の研修へ三重大学教官を継続的、臨時的に派遣する。

### 2. 内容

大学や企業との連携・協力のもとに、以下のような取組を進める。

- (1) 幼稚園や小中学校の校内研修に大学教官を講師として派遣
- (2) 企業人・社会人を小・中学校の理科教育及びキャリア教育等の講師として派遣
- (3) 大学教官や企業人等を講師にした専門研修・講座の実施
- (4) 理科教育（授業）の充実に向けて、推進プロジェクト会を中心に、授業実践の研究や教員研修プランの検討・実施

3. 予算            3,595千円            (財源内訳) 一般財源            3,595千円  
(前年度 2,708千円)



<企業の連携・協力による理科授業の様子>

担当 教育委員会 指導課  
伊 藤  
354 - 8255

## 基礎学力・教育力ジャンプアップ事業

### 1. 目的

小・中学校のすべての学年において、基礎学力の定着と学習規律等を確保するため、1学級の児童・生徒数が30人を超える学級を基準に市単の非常勤講師を加配し、よりきめ細やかな指導を行う。

また、講師等の指導力、一定レベルの資質の確保および向上を図るため、教員経験のあるアドバイザーによる指導・助言を行う。

### 2. 内容

#### (1) 非常勤講師の配置による少人数授業の実施

ゆとりある教育活動を実施する中で、どの子にも各教科等の基礎的・基本的な内容を確実に身につけさせるため、児童生徒の習熟度に違いが生まれやすい教科(小学校:国語・算数、中学校:英語・数学)を中心に、30人以下で授業が実施できるよう、引き続き非常勤講師を配置する。

#### (2) アドバイザーによる講師・教員への指導・助言

より充実した授業の展開を図るため、経験の少ない講師や若手教員等の指導力、資質向上をめざし、アドバイザーが個々の課題に応じて指導・助言する。

3. 予算額 184,800千円 (財源内訳) 一般財源 184,800千円  
(前年度 184,800千円)



担当 教育委員会 学校教育課  
石黒  
354-8251

## 学校教育 I T 推進事業

### 1. 目的

教職員にパソコンを配備することにより、パソコンを効果的に活用した授業を実施し、児童・生徒の学力の向上に努めるとともに、本庁及び学校間のネットワーク化により、校務の効率化や情報の保護を図る。

### 2. 内容

#### (1) 市内小中学校の教職員への一人一台パソコンの配備

教職員にパソコンを配備し、パソコンを活用しての教材研究等を進め、視覚に訴える授業等より分かりやすい授業を展開することにより、児童・生徒の学力等の向上を図るとともに、個人情報保護や校務の効率化を推進する。

#### (2) パソコン配備に伴うプリンター、プロジェクターの配備

パソコン配備に伴い必要付属備品としてプリンター（各校1台）授業用備品としてプロジェクター（各校3台）を配備し、事業の円滑な実施に資する。

#### (3) 本庁及び学校間のネットワーク化

本庁及び学校間のネットワーク化を図ることにより情報の共有化及び個人情報の保護を図るとともに、IT 推進課内に学校 IT サポートデスクを開設し、教職員の IT 利用を支援する。

3. 予算額 52,150千円 (財源内訳) 一般財源 52,150千円  
(前年度 0千円)

担当 教育委員会 学校教育課  
三 井  
354 - 8250

## 河原田小学校改築整備事業

### 1. 目的

昭和30年代建設校舎で老朽化が著しく、機能的に課題のある河原田小学校校舎の改築整備を行い、児童の安全確保と教育環境の充実・改善を図る。

### 2. 内容

・河原田小学校校舎改築整備事業（平成20年度～21年度継続事業）

本体建築工事（既設校舎解体撤去含む）、工事監理委託、仮設校舎リースのうち平成20年度事業分＜全体予定事業費 495,275千円＞

鉄筋コンクリート造・3階建て 1,884㎡

普通教室7室、多目的教室

3. 予算額 206,878千円 （財源内訳）市 債 111,100千円  
（前年度 12,800千円） 一般財源 95,778千円

担当 教育委員会 教育施設課  
後 藤  
354-8243

## (新) 中学校給食事業

### 1. 目的

生徒の健やかな成長と食育を推進するため、デリバリー給食を家庭弁当と併用して実施する。

### 2. 内容

市の責任の下に献立作成や食材の選定を行い、発注システムの維持運用・調理配送等の業務を民間業者に委託する。

平成20年度は5校で実施し、平成21年度以降の早い時期に配膳室の整備をして全校で実施する。

3. 予算額 49,100千円 (財源内訳) 一般財源 49,100千円  
(前年度 0千円)

担当 教育委員会 学校教育課  
三 井  
354 - 8250

## (新) 幼稚園給食事業

### 1. 目的

園児の健やかな成長を図るとともに、食育の推進及び子育て支援の観点から、デリバリー給食を週1回実施する。

### 2. 内容

市の責任の下に献立作成や食材の選定を行い、協定を結んだ民間業者が作った弁当を各幼稚園に配送する。(給食費は全額保護者負担、配膳用備品購入費は市負担)

平成20年6月から塩浜・楠北・楠南幼稚園を除いた21園で実施する。平成22年度からは塩浜幼稚園以外の23園で実施する。

3. 予算額 1,890千円 (財源内訳) 一般財源 1,890千円  
(前年度 0千円)

担当 教育委員会 学校教育課  
三井  
354 - 8250

# 親と子どもの豊かな育ち事業

## 1. 目的

地域や家庭の教育力の向上を図るため、「親と子どもの豊かな育ち」をスローガンとし、学力向上も踏まえた「生活リズムの向上」、非行防止につながる「規範意識の向上」、有害情報や登下校時の危険から子どもを守るための「安全・安心」の三つの柱を重点においた取組みを進める。

## 2. 内容

- (1) 「早ね早おき朝ごはん」市民運動を推進するとともに、市内公立学校園の約二分の一を推進校園として、生活リズムの向上に関する実践活動等を行う。
- (2) 非行防止教室の開催とともに、出前講座等において、家庭教育のあり方等について啓発活動を行う。
- (3) 有害情報等に関する年2回の研修会を開催する。また、希望の学校及び地域に有害情報等対策講座を実施する。

3. 予算額 6,108千円 (財源内訳) 一般財源 6,108千円  
(前年度 5,117千円)



市民運動ロゴマーク

## 親と子どもの豊かな育ち

### 生活リズムの向上 基本的な生活習慣の改善

「早ね早おき朝ごはん」市民運動の推進を市P連等と連携し、幅広い啓発活動を展開する。

「学ぶちからも、くらしのリズムから」をテーマに、実行委員会を通じて子どもの生活リズム向上事業を推進する。

### 規範意識の向上 非行等防止対策

希望の学校園に非行防止教室(万引き防止)を開催し、子どもや保護者に対する啓発活動に取り組む。

出前講座等を活用し、家庭教育のあり方等についての啓発活動に取り組む。

### 安全安心 子どもの安全安心対策

有害情報等から子どもを守る研修会及び希望の学校に講座を開催し、子どもや保護者に対する啓発活動に取り組む。

登下校時等の子どもの安全意識を高める取り組みを推進する。

担当 教育委員会 社会教育課青少年育成指導室  
田 中  
3 5 4 - 8 3 1 4

## 放課後児童健全育成事業（学童保育事業費補助金）

### 1. 目的

放課後等に留守家庭となる児童の生活支援とその保護者の就労を支援するため、学童保育事業を行う地域の運営委員会等に対する支援を行う。

### 2. 内容

学童保育事業を行う地域の運営委員会等に対して、学童保育所の運営費や家賃等の補助を行う。また、新たに下記の補助を行い、学童保育所の運営の支援の拡充を図る。

#### （1）障害児受入支援

障害児の受入を促進するために、市単独による加算補助を行う。

#### （2）小規模学童保育所支援

既存の学童保育所において、一時的に児童数が減少し、国の補助最低基準の児童数 10 人を下回った場合、5～9 人でも市単独で補助対象とし、継続的な運営を支援する。

#### （3）A E D 購入支援

多くの子どもが生活する学童保育所での安全対策として、自動体外式除細動器（A E D）の購入費を補助し、救急救命に対処できるよう支援する。

3. 予算額	111,790 千円	（財源内訳）	県支出金	55,743 千円
（前年度	93,938 千円）		一般財源	56,047 千円



担当 教育委員会 社会教育課  
青少年育成指導室  
浅野  
354-8247

## 運動施設整備事業

### 1. 目的

中央緑地体育館の屋根漏水防止などの運動施設の整備工事を行い、利用者の利便性及び安全性の向上を図る。

### 2. 内容

#### 体育館屋根漏水防止工事

- ・屋根塗膜防水工事 約 5,217 m<sup>2</sup>
- ・トップライト取替 約 607 m<sup>2</sup>

#### 陸上競技場第2種公認検定更新工事

- ・トラックオーバーレイ 約 3,000 m<sup>2</sup>
- ・レーンマーキングの塗り替え 一式
- ・表示タイル欠損部取付 約 117 箇所
- ・長距離走路検定測量 一式
- ・ハンマー投げサークル取替
- ・棒高跳びマット取替 など

#### 温水プール耐震補強工事

- ・屋根全面取替
- ・アルミサッシ、ガラスの取替
- ・外壁改修 など



3. 予算額	248,700千円	(財源内訳)	県支出金	43,800千円
	(前年度 50,400千円)		市債	69,200千円
			一般財源	135,700千円

担当 教育委員会 スポーツ課  
小垣内  
354 - 8428

# 消 防 本 部

## 新年度予算における基本的な方針

安全・安心のまちづくりに向け、消防力の強化・救急体制の充実をはじめ、総合的な災害対応力の強化を図る。

「8分消防5分救急」の実現のため、(仮称)中消防署中央分署の建設工事を完了し、消防車両等を配備し、年内開所に向けた整備を行う。

また、コンビナート災害に対応するため、消火薬剤を購入備蓄するなど、資材の充実を図る。

その他、消防団員の防火装備の充実、人材育成、救急業務の高度化、地震等大規模災害対策などを推進する。

## 1 (仮称)中消防署中央分署整備事業について

平成17年度に5,227㎡の用地取得と庁舎の基本設計、平成18年度に実施設計と造成整地工事等を行い、平成19年度に庁舎建設に着工し、平成20年11月の開所に向けて事業を推進する。

### 【主な事業】

(仮称)中消防署中央分署整備事業費 758,557千円

## 2 消防車両配備・更新事業について

### (1) 消防ポンプ自動車の配備

(仮称)中消防署中央分署の開所に伴い、消防ポンプ自動車を配備する。

### 【主な事業】

消防ポンプ自動車購入費 30,000千円

### (2) 水槽付消防ポンプ自動車の配備

(仮称)中消防署中央分署の開所に伴い、水槽付消防ポンプ自動車を配備する。

### 【主な事業】

水槽付消防ポンプ自動車購入費 45,800千円

### (3) 高規格救急車の配備

(仮称)中消防署中央分署の開所に伴い、高規格救急車を配備する。

【主な事業】

高規格救急車購入費 29,180千円

(4) 高規格救急車の更新

現在、南消防署に配備されている高規格救急車は、平成13年度に配備したが、平成20年度には7年目を迎えることから、年次計画により更新する。

【主な事業】

高規格救急車購入費 29,180千円

(5) 高規格救急車の更新

現在朝日川越分署に配備されている高規格救急車は、平成13年度に配備したが、平成20年度には7年目を迎えることから、年次計画により更新する。

【主な事業】

高規格救急車購入費 29,180千円

(6) 消防ポンプ自動車の更新

現在、川島分団に配備されている消防車は、平成5年度に配備したが、NOX・PM法による使用期限が平成21年3月までとなっていることから、平成20年度事業として車両を更新する。

【主な事業】

消防ポンプ自動車購入費 15,500千円

### 3 コンビナート災害対策事業について

大規模な危険物タンク火災に対応するため、当本部が目標とする消火薬剤の備蓄量は130KLである。

現在及び今後の消火薬剤備蓄量については、以下のとおり

\* H18年度までの備蓄量；44KL

H19年度備蓄量；15KL

H20年度備蓄量；72.5KL

\*うち、1.5KLは訓練等消費用

【主な事業】

水性膜泡消火薬剤購入費 51,800千円

#### 4 消防団員防火外套の更新事業について

消防団員の防火外套を平成19年度から21年度までの3年で更新し、消防活動時の機能性・安全性の向上を図る。

【主な事業】

分団整備事業費 10,790千円

#### 5 人材育成事業について

経験豊富な団塊世代が退職時期を迎えることから、若年層の知識や技術等の向上を積極的に図る必要があるため、訓練や研修派遣等を積極的に行うなど、ソフト面での充実強化を図る。

【主な事業】

人材育成事業費 17,087千円

#### 6 救急業務の高度化事業について

平成4年度から救急救命士の養成を開始し、現在32名の救急救命士を各消防署等へ配置している。将来的に全ての救急車に常に1名以上の救急救命士を配置できる体制と事務局等の強化を早期に図るため、これまでの年間2名の養成から5名に拡大する。

\*各消防署への目標配置数 ; 60名

情報指令課への目標配置数 ; 3名

消防救急課への目標配置数 ; 2名

計65名

【主な事業】

救急高度化事業費(救急救命士養成事業) 12,681千円

#### 7 地震等大規模災害対策事業について

「耐震性貯水槽の配備計画」に基づき、市街地に60t、準市街地に40tの地下式耐震性貯水槽を整備し、災害対応能力の強化を図る。

平成20年度は、以下のとおり耐震性貯水槽を設置する。

【主な事業】

耐震性貯水槽整備事業費 34,300千円

・60t貯水槽;西伊倉町地内 (13,000千円)

・40t貯水槽;札幌町地内 (6,500千円)

千代田町地内 (7,600千円)

伊坂台三丁目地内(6,400千円)

・地質調査委託 (800千円)

## (仮称)中消防署中央分署整備事業

### 1. 目的

「8分消防5分救急」の実現に向けた署所整備事業として、市の中央部に消防分署を建設する。

### 2. 内容

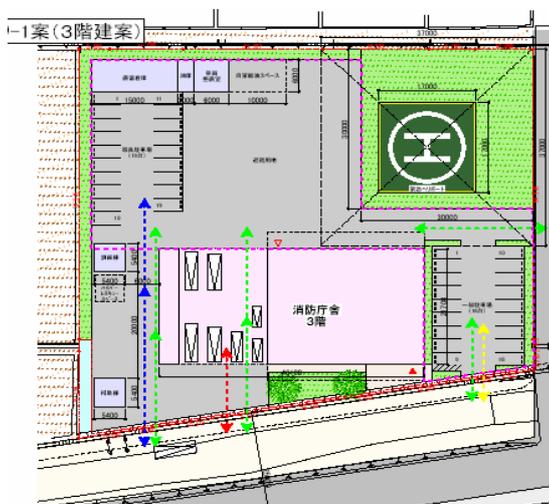
- (1)所在地 四日市市曾井町地内
- (2)敷地面積 5,227㎡
- (3)建物構造 鉄筋コンクリート造3階建(免震構造)
- (4)建築面積 1,006.48㎡(延床面積:2,652㎡)
- (5)消防車両台数 5台(ポンプ車、タンク車、救急車、広報車、資機材搬送車)

### 3. 事業概要

- (1)平成17年度事業
  - 用地取得
  - 造成実施設計
  - 庁舎基本設計
- (2)平成18年度事業
  - 庁舎実施設計
  - 土地造成、整備工事
- (3)平成19年度事業
  - 庁舎建設工事着工
  - 周辺道路整備
- (4)平成20年度事業
  - 10月末日建設工事完了
  - 11月開所予定

3. 予算額 758,557千円  
(前年度 260,300千円)

(財源内訳) 県支出金 33,300千円  
市 債 635,100千円  
一般財源 90,157千円



担当 消防本部 総務課  
坪 田

356-2002

## 消防車両配備・更新事業

### 1. 目的

「安心安全のまちづくり」に向けて、火災・救助・救急等の各種災害に迅速かつ的確に対応できるよう、(仮称)中消防署中央分署等に消防車両を配備するほか、年次計画に基づき、車両更新を行う。

### 2. 内容

(仮称)中消防署中央分署

#### (1) 消防ポンプ自動車 CD-

密集地火災においても迅速な対応が可能な小型の消防車を配備する。



#### (2) 水槽付消防ポンプ自動車

1.5トンの水と消火効率の高い圧縮泡放水装置を積載した最新鋭の消防車を配備する。



#### (3) 高規格救急車

救急現場から必要な応急手当が実施できるよう、AEDをはじめ、各種の医療機器等を積載している救急車を配備する。



#### (4) 資機材搬送車

災害発生時に必要な各種資機材を搬送するため、最大吊上げ量2.3トンクレーンを搭載した資機材搬送車を配備する。



(5) 消防広報車

管内の火災予防広報、査察等を行うため、ワゴンタイプの広報車を配備する。



南消防署・朝日川越分署

(6) 高規格救急車

救急現場から必要な応急手当が実施できるよう、AEDをはじめ、各種の医療機器等を積載している救急車を配備する。



川島分団

(7) 消防分団車

消防団員が市域での確な災害防御活動を行えるよう、CD型の消防ポンプ自動車に更新する。



3. 予算額 189,440千円  
(前年度 214,300千円)

(財源内訳) 県支出金 49,890千円  
その他特財 29,180千円  
市債 94,300千円  
一般財源 16,070千円

担当 消防本部 総務課  
坪 田  
356-2002

## 救急業務の高度化事業

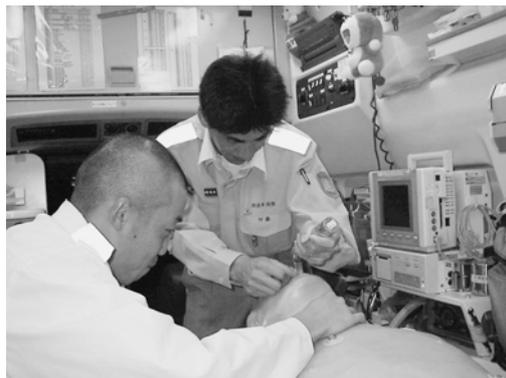
### 1. 目的

全ての救急車に常に救急救命士が乗車する体制を早期に実現し、救命率の向上と予後の改善を目指すものである。

### 2. 内容

救急救命士の養成を年間2名から5名へ拡大する。

- 救急救命東京研修所（前期）
- 救急救命東京研修所（前期）
- 救急救命九州研修所（後期）
- 救急救命東京研修所（後期）
- 京都市消防局救急救命士養成所（後期）



### 3. 所属別救急救命士の配置計画数

所 属	中	中央	西	北	朝川	北西	南	西南	情報	消救	計
救急車数	2	1	1	1	1	1	2	1	-	-	10
人 員	12	6	6	6	6	6	12	6	3	2	65

### 4. 救急救命士の養成計画

年 度	18	19	20	21	22	23	24	25	26	備 考
新規養成人員	2	2	5	5	5	5	5	5	5	
有資格者任命	1	2		1						
累 計	31	35	40	46	51	56	61	66	71	

\* 救急救命士の管理職登用、人事ローテーション等による他業務への異動などによる減数は含まない。

5. 予算額 12,681千円 (財源内訳) その他特財 992千円  
 (前年度 4,583千円) 一般財源 11,689千円

担当 消防本部 総務課  
 坪 田  
 356 - 2002

## 大規模災害対策事業

### 1. 目的

近い将来に発生が危惧されている東海地震や東南海・南海地震対策等大規模地震対策の一環として、市域に耐震性貯水槽を設置し、地震等による火災が発生した際の消防水利として活用する。

### 2. 内容

耐震性貯水槽の整備事業 4基  
60トン型（西伊倉町）  
40トン型（札幌町）  
"（千代田町）  
"（伊坂台三丁目）



3. 予算額 34,300千円  
(前年度 34,900千円)

(財源内訳) 市債 25,400千円  
一般財源 8,900千円

担当 消防本部 総務課  
坪田  
356-2002

# 上下水道局

## 新年度予算における基本的な方針

水道及び下水道は、市民生活に直結する重要なライフラインであり、市民に信頼される上下水道事業を目指し、計画的に施設整備・更新等を進める。

水道事業は、大口需要の減少が見込まれ、厳しい経営環境にあるが、「安定・安全給水」をより確実なものにするため、重要課題の解消に努める。

生活排水対策事業では、「水洗化による生活環境の向上」及び「川や海などの公共用水域の水質保全」を全市的に進めるため、四日市市生活排水処理施設整備計画に基づき、公共下水道汚水対策事業及び農業集落排水事業の推進と合併処理浄化槽の普及促進を図り、各生活排水対策施設の適正な維持管理に努めます。

また、総合的な治水対策の一環として、「大雨による浸水被害の防除」を図るため、公共下水道雨水対策事業を行う。

## 水道事業

### 1. 安定・安全給水について

安定給水と適正水圧を確保するため、配水管網の整備を推進するほか、漏水防止等の対策として経年管の更新を進めるとともに、大規模地震に備えて幹線配水管等基幹施設の耐震化を進める。

#### 【主要指標】

区 分	平成 20 年度末事業費ベース進捗率
第 1 期水道施設整備事業	73.9% (前年比 8.5 ポイント UP)

(計画期間：平成 12 年度～平成 22 年度)

- 【主な事業】 第 1 期水道施設整備事業 当初予算額 1,459,455 千円  
配水管布設  
基幹施設耐震化(幹線配水管布設替、送・導水管布設替、配水池・接合井補強、水管橋補強)  
経年管布設替  
経年施設更新

### 2. 水質管理について

家庭等へ引き込む給水管の一部に使用されている鉛管を解消し、水質の一層の安全性を確保するために、配水管の布設替えと同時に鉛管を取り替える従来の手法に加えて、鉛管のみを取り替える手法を積極的に導入し、鉛給水管の取替を推進する。

#### 【主要指標】

区 分	平成 20 年度取替件数
鉛給水管布設替事業	1,700 件 (平成 20 年度末残存件数 11,526 件)

(計画期間：平成 14 年度～平成 24 年度)

- 【主な事業】 鉛給水管布設替事業 当初予算額 400,000 千円

# 下水道事業

## 1. 汚水対策事業について

日永浄化センター第4系統の建設に本格的に着手するとともに、本市の生活排水処理施設整備計画に基づき事業を進める。また、合流式下水道の改善を図る。

### 【主要指標】

区 分	平成20年度整備	平成20年度末
処理可能区域内戸数	1,193 戸	87,981 戸
処理可能区域内人口	3,037 人	216,386 人
人口普及率	0.9 %	69.0 %

【主な事業】 公共下水道事業 当初予算額 3,665,300千円  
 管渠整備（富田、大矢知、八郷、下野、海蔵、橋北、神前、三重、常磐、川島、桜、日永、四郷、内部、河原田、楠地区）  
 川島汚水2号幹線布設工事  
 日永浄化センター第4系統建設工事  
 橋北・常磐ポンプ場合流改善除塵機設備工事

## 2. 雨水整備事業について

浸水区域の解消、都市型水害対策を推進する。

### 【主要指標】

区 分	平成20年度整備	平成20年度末
雨水整備面積	3.0 ha	2,889 ha
雨水整備率	0.05 %	49.8 %

【主な事業】 公共下水道事業 当初予算額 2,434,000千円  
 水路整備（富田、富洲原、大矢知、八郷、羽津、海蔵、中部、常磐、日永、四郷、内部、塩浜、河原田地区）  
 中央通り貯留管設備工事、雨池雨水7号幹線水路築造工事、  
 吉崎ポンプ場詳細設計業務  
 羽津ポンプ場電気設備・北部地域ポンプ場遠方監視制御設備更新工事

## 3. 下水道施設の維持管理について

浄化センター、ポンプ場の維持管理については、保守点検及び適切な維持修繕を行い、機能を最大限に発揮させるとともに、効率的な運転に努める。

管路施設については、管路調査や清掃を臨機に実施するとともに、老朽管対策や不明水対策にも取り組む。

## 農業集落排水事業

農村集落の生活環境向上と農業用排水路の水質保全を図るべく、計画的に事業を進める。

【主な事業】 水沢東部地区農業集落排水事業 当初予算額 48,480千円  
管路実施設計、処理場用地買収  
施設維持管理（供用10地区） 当初予算額 88,248千円

## コミュニティ・プラント事業

定期的な保守点検により、コミュニティ・プラントの適切な維持管理を行う。

【主な事業】 施設維持管理（供用2地区） 当初予算額 61,219千円

## 合併処理浄化槽設置整備事業

生活排水対策として、公共下水道等が整備されていない地域での合併処理浄化槽の普及促進を図るべく、設置者に対して補助金を交付する。

【主要指標】

区 分	平成20年度	平成20年度末
補助基数	445 基	13,098 基

【主な事業】 合併処理浄化槽設置整備事業 当初予算額 169,360千円

## 水道基幹施設耐震化事業

### 1. 目的

大規模地震に備え、断水等を最小限に抑えて非常時における市民生活への影響を低減するため、主要施設の耐震化を図る。

### 2. 内容

幹線配水管布設替工事、送水管布設替工事、導水管布設替工事、配水池補強工事、接合井補強工事、水管橋補強工事や耐震診断などを行う。

幹線配水管布設替	300 ~ 500	L=1,810m
送水管布設替	500	L=400m
導水管布設替	300	L=600m
配水池補強	あがた配水池	
接合井補強	小牧水源地構内整備	
水管橋補強	内部川水管橋、鹿化川水管橋ほか	

3. 予算額	944,500千円	(財源内訳)	国庫支出金	46,000千円
(前年度	1,157,100千円)		企業債	645,200千円
			自己財源	253,300千円



内部水管橋

担当 上下水道局経営企画課

稲垣

354 - 8369

# 公 共 下 水 道 汚 水 対 策 事 業

## 1. 目的

汚水衛生処理を計画的に推進し、生活環境の向上及び川や海などの公共用水域の水質保全を図る。

## 2. 内容

**管渠整備** 富田、大矢知、八郷、下野、海蔵、橋北、神前、三重、常磐、川島、桜、日永、四郷、内部、河原田、楠の各地区において整備を進める。

**ポンプ場** ポンプ場電気設備更新工事を行う。

**処理場** 日永浄化センター第4系統築造工事に着手する。

## 3. 整備概要

区 分	平成19年度末	平成20年度末	増加数
処理可能区域内戸数	86,788戸	87,981戸	1,193戸
処理可能区域内人口	213,349人	216,386人	3,037人
人口普及率	68.1%	69.0%	0.9%

4. 予算額 3,665,300千円 (財源内訳) 国庫支出金 1,189,624千円  
 (前年度 2,302,000千円) 企業債 2,174,200千円  
 自己財源 301,476千円



汚水管渠布設工事（立坑内での汚水管推進状況）

担当 上下水道局経営企画課  
 稲垣

354-8369

# 公共下水道雨水対策事業

## 1. 目的

市街化区域の浸水被害の防除を図る。

## 2. 内容

- 水路整備 富田、富洲原、大矢知、八郷、羽津、海蔵、中部、常磐、日永、四郷、内部、塩浜、河原田の各地区において水路整備を進める。
- ポンプ場 吉崎ポンプ場、新南五味塚ポンプ場の実施設計業務、用地買収と高砂ポンプ場ポンプ設備工事、羽津ポンプ場電気設備・北部地域ポンプ場遠方監視制御設備更新工事等を行う。
- その他 中央通り貯留管建設工事を継続する。

## 3. 整備概要

区 分	平成19年度末	平成20年度末	増加数
雨水整備面積	2,886ha	2,889ha	3ha
雨水整備率	49.76%	49.81%	0.05%

4. 予算額 2,434,000千円 (財源内訳) 国庫支出金 1,239,876千円  
 (前年度 2,562,000千円) 企業債 1,013,500千円  
 自己財源 180,624千円



中央通り貯留管 (シールド掘削機)



中央通り貯留管 (発進立坑)

担当 上下水道局経営企画課

稲垣

354-8369

# 市立四日市病院

## 新年度予算における基本的な方針

当院は、医療環境が大きく変化し、病院経営が益々厳しく困難になる中、健全経営を維持しつつ、急性期医療を担う北勢地域の中核病院として、市民・患者の視点から安全・安心で良質な医療を提供し、より信頼される病院づくりを目指している。

新年度は、急性期病院としての看護機能の強化や質の向上を図るため「7対1」看護体制への移行に努めるとともに、医療費包括支払制度の導入など急性期病院にふさわしい運営体制の整備に取り組むほか、病棟増築・既設改修事業の一環として、診療棟の一部改修工事や来院者用駐車場の改良工事など病院施設整備を実施するとともに、医療の高度化・専門化に対応するために、最新鋭のコンピュータ断層撮影装置などの医療機器を導入する。また、市立四日市高等看護学院が平成20年度末に閉校することから、記念式典を開催するとともに、記念誌を発刊する。

### 1. 病院施設整備事業について

病棟増築・既設改修事業の先行工事として、外来棟の便所、外来ホールの天井・照明等の改修工事や来院者用駐車場の改良工事など病院施設整備を実施する。

【主な事業】 外来棟便所改修工事、集中治療室無停電電源装置更新工事、外来ホール天井等改修工事、来院者用駐車場改良工事ほか

144,260 千円

### 2. 医療機器整備事業について

当院の目指す最新の高度・専門医療を提供していく上で必要不可欠な高度医療機器等の整備を図る。

【主な事業】 コンピュータ断層撮影装置、手術ナビゲーションシステム、生化学臨床検査システムほか

600,000 千円

### 3. 市立四日市高等看護学院閉校記念事業について

市立四日市高等看護学院が、平成20年度末に38年の歴史に幕を閉じることに伴い、閉校記念式典を開催するとともに、記念誌を発刊する。

【主な事業】 閉校記念式典開催経費、記念誌発刊経費

2,370 千円



## 医療機器整備事業

### 1. 目的

当院の目指す最新の高度・専門医療を提供していく上で必要不可欠な高度医療機器の整備を図る。

### 2. 内容

- (1) コンピュータ断層撮影装置
- (2) 手術ナビゲーションシステム
- (3) 生化学臨床検査システム、他

3. 予算額	600,000千円	(財源内訳)	企業債	550,000千円
(前年度	532,500千円)		自己財源	50,000千円

担当 市立四日市病院総務課  
伊藤  
354 - 1111

平成20年度 防災対策事業(地震分)について

(単位 千円)

会計	款	項	所属	新規	事業名	事業費	財源内訳				事業概要
							国県支出金	地方債	その他	一般財源	
一般 会計	総務費	総務管理費	防災対策課		耐震化促進事業費	65,750	31,812			33,938	木造住宅の耐震診断、補強計画策定及び耐震補強工事等に対する補助金 共同住宅(分譲)の耐震診断費用に対する補助金
					防災倉庫整備事業費	12,106			12,106	中学校等へのコンテナ型防災倉庫の整備等	
					自主防災組織活性化事業費	31,250			31,250	自主防災組織の連合化促進及び防災活動に対する補助	
					防災大学事業費	435			435	防災リーダー養成講座「四日市市防災大学」の開催経費	
			市民文化課	集会所建設費補助金(耐震改修分)	15,000			15,000	平成16～17年度に実施した集会所の無料耐震診断結果を受けて行われる耐震 改修工事への補助金		
	農林水産 業費	水産業費	農水振興課		磯津漁港海岸保全事業	65,000	55,250	0	9,750	磯津漁港海岸の整備・補修	
	土木費	道路橋梁費	道路整備課		橋梁健全化事業	203,500	27,500	111,700	48,250	16,050	海山道跨線橋に落橋防止装置等を設置、三重橋の上部工事、長寿命化計画策 定のための調査等
					石原南五味塚線(磯津橋)橋梁整備事業	160,000		152,000		8,000	磯津橋上部補強工事
		河川費	河川排水課	新	西山第1橋(水路橋)耐震補強事業費	26,000				26,000	西山第1橋の落橋防止及び断面修復工
		都市計画費	都市計画課		近鉄四日市駅耐震化促進事業	9,188				9,188	国・県と協調して近鉄四日市駅の耐震化を促進するための市負担分 (参考)鉄道事業者1/3、国1/3、県1/6、市1/6
		住宅費	市営住宅課		老朽市営住宅耐震対策事業	20,000				20,000	簡易耐火ブロック造市営住宅の耐震補強
	消防費	消防費	消防本部		耐震性を有する消防水利整備推進事業	34,300		25,400		8,900	耐震性貯水槽の整備(4ヶ所)
					自主防災組織関係経費	2,631				2,631	市民防災隊に対する研修、運営費補助金等
	教育費	保健体育費	スポーツ課	新	その他運動施設整備事業	104,200		69,200		35,000	温水プール耐震補強工事
市税	固定資産税	資産税課		住宅耐震改修に対する税の減額						既存住宅を耐震改修した場合、耐震改修を行った住宅について固定資産税を減 額	
<b>一般会計小計</b>						<b>749,360</b>	<b>114,562</b>	<b>358,300</b>	<b>48,250</b>	<b>228,248</b>	

平成20年度 防災対策事業(地震分)について

(単位 千円)

会計	款	項	所属	新規	事業名	事業費	財源内訳				事業概要
							国県支出金	地方債	その他	一般財源	
企業会計			上下水道局		下水道施設地震災害対策事業	40,000	20,000	18,000	0	2,000	水管橋、浄化センターの耐震調査
					水道基幹施設耐震化事業	944,500	46,000	645,200	253,300	0	基幹水道施設(配水管、水管橋、配水池等)の耐震化
企業会計小計						984,500	66,000	663,200	253,300	2,000	
合計						1,733,860	180,562	1,021,500	301,550	230,248	

平成20年度 防災対策事業(地震以外分)について

(単位 千円)

会計	款	項	所属	事業名	事業費	財源内訳				事業概要
						国県支出金	地方債	その他	一般財源	
一般会計	総務費	総務管理費	防災対策課	防災会議委員	24				24	防災会議の開催、地域防災計画の改訂
				国民保護協議会委員	24				24	国民保護協議会の開催
				国民保護推進事業費	450				450	国民保護計画に基づく訓練の実施
				防災危機管理室整備事業費	49,000				49,000	本庁舎6階に防災危機管理室を設置し、災害情報機器類の整備する。
				防災システム事業費	21,725				21,725	防災機器維持管理、災害情報提供事業等
				防災対策事業費	5,496				5,496	防災啓発、防災訓練等
			振興課	地域防災関連事業費	2,677				2,677	楠地区防災関連情報提供経費、楠地区防災機器維持管理費
				楠防災会館管理運営費	431				431	楠防災会館管理運営にかかる経費
				楠避難会館管理運営費	1,300				1,300	楠避難会館管理運営にかかる経費
	農林水産業費	農地費	農地振興課	農業用河川工作物応急対策事業費	4,375				4,375	羽津井堰補修事業(県営事業)に対する負担金
	土木費	河川費	河川排水課	溜池維持修繕費	3,200			160	3,040	灌漑用水の水源確保及び防災安全上の両面を考慮し、溜池改良工事及び維持管理工事等を行う
				準用河川改修事業費	237,000	79,000	150,100		7,900	米洗川、朝明新川、萱生川の3河川に事業を集中し、効果的に治水安全度の向上を図る。
				十四川調整池整備事業費	160,000		160,000			十四川下流部への流出量軽減のため、平成20年度末に雨水調整池を完成させる。
				治水度ジャンプアップ事業費	20,000		19,000		1,000	河川ネック点、溜池の調査及びその整備計画を策定し、総合的・計画的に改修する。
				普通河川三鈴川河川改良事業費	35,000		33,200		1,800	三鈴川土堤部分の護岸を改修し、堤防高さを確保する。
普通河川半谷川河川改良事業費				5,000		4,700		300	富田山城線の4車線化の伴う雨水流出量の増大に対応するため、河積の拡大等の整備を計画的に実施する。	
河川等改良事業費				123,500		117,200		6,300	河川改良事業、排水路改良事業	
急傾斜地崩壊対策事業費				2,000			850	1,150	広永町における県事業費に対する負担金	

平成20年度 防災対策事業(地震以外分)について

(単位 千円)

会計	款	項	所属	事業名	事業費	財源内訳				事業概要
						国県支出金	地方債	その他	一般財源	
	消防費	消防費	防災対策課	水防事業費	3,260				3,260	水防倉庫・資機材の整備
			消防本部	消防車両整備事業費	189,440	49,890	94,300	29,180	16,070	高規格救急車3台、普通ポンプ自動車2台、資機材搬送車1台、水槽付ポンプ自動車1台、広報車1台
				消防活動用機器整備事業費	69,872	62,500		1,000	6,372	消防用ホース、泡消火薬剤、空気呼吸器用ポンペ、サルビア分団操法大会用軽可搬ポンプ
	<b>小 計</b>				<b>933,774</b>	<b>191,390</b>	<b>578,500</b>	<b>31,190</b>	<b>132,694</b>	
企業会計			上下水道局	公共下水道雨水対策事業	2,434,000	1,239,876	1,013,500	13,000	167,624	雨水幹線整備、ポンプ場設備更新
	<b>小 計</b>				<b>2,434,000</b>	<b>1,239,876</b>	<b>1,013,500</b>	<b>13,000</b>	<b>167,624</b>	
<b>合 計</b>					<b>3,367,774</b>	<b>1,431,266</b>	<b>1,592,000</b>	<b>44,190</b>	<b>300,318</b>	

## 平成 20 年 度 バ リ ア フ リ ー 化 事 業 に つ い て

(単位:千円)

款	項	所属	事業名	事業費	財源内訳				事業概要
					国県支出金	地方債	その他	一般財源	
民生費	社会福祉費	障害福祉課	福祉環境整備事業費	5,513	1,500			4,013	点字ブロック工事、駅のバリアフリー化工事補助、オストメイト対応トイレ設置
土木費	交通安全対策費	道路整備課	あんしん歩行空間整備事業	50,000	27,500	10,100		12,400	四日市中央線及び金場新正線バリアフリー化等
	都市計画費	市街地整備・公園課	公園緑地活性化推進事業費	3,400				3,400	公園のバリアフリー化(出入口の改良)など
	住宅費	市営住宅課	市営住宅高齢者・障害者向け改良事業費	20,000	5,400		14,600	0	市営住宅のバリアフリー化(高齢者向け7戸、障害者向け1戸)
教育費	小学校費	教育施設課	バリアフリー化施設整備費	82,400	11,023	58,100		13,277	段差解消スロープ、車イス対応多目的トイレ設置等(2校)
	中学校費		バリアフリー化施設整備費	43,000	7,423	30,400		5,177	段差解消スロープ、車イス対応多目的トイレ設置等(1校)
市税	固定資産税	資産税課	住宅のバリアフリー改修に対する税の減額						既存住宅をバリアフリー改修した場合、バリアフリー改修を行った住宅について固定資産税を減額
合 計				204,313	52,846	98,600	14,600	38,267	

平成20年度 災害時要援護者対策事業について

(単位 千円)

会計	款	項	所属	事業名	事業費	財源内訳				事業概要
						国県支出金	地方債	その他	一般財源	
一般会計	民生費	社会福祉費	介護・高齢福祉課	日常生活用具給付等事業	568				568	一人暮らし高齢者等(所得税非課税世帯)に対して住宅用火災警報器等を給付
			障害福祉課	日常生活用具等給付事業	50,380	37,785			12,595	聴覚障害者(児)には、FAX・文字放送デコーダー等、重度障害者と知的障害者Aには火災報知器等を給付
				手話通訳者派遣事業	8,166	5,385		976	1,805	聴覚障害者に手話通訳者を派遣し、コミュニケーション支援
				福祉電話貸与事業	457				457	難聴者や外出困難な身体障害者に緊急連絡等の手段として福祉電話を貸与
				緊急通報装置貸与事業	121				121	一人暮らしの重度障害者に緊急連絡用の通報装置を貸与
			小 計				59,692	43,170		976
介護保険特別会計	地域支援事業費	包括的支援事業費・任意事業費	介護・高齢福祉課	緊急通報装置貸与事業	18,971				18,971	一人暮らし高齢者等で、心臓病等で突発的に助けの必要な人に、福祉電話を貸与
			小 計				18,971			18,971
合 計					78,663	43,170		976	34,517	

災害時要援護者対策については、災害が起こった場合に対応可能なものを掲載した。予算額は全体事業費で計上している。(災害時要援護者対策のみの予算計上は無し)

## 平成 20 年 度 子 育 て 関 係 事 業 に つ い て

一般事業

(単位 千円)

会計	款	事業名	事業費	財源内訳				事業概要
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
一般会計	総務費	ファミリー・サポート・センター事業	9,498	2,000			7,498	子育てを地域で支援するため、育児の援助を受けたい者と提供できる者からなる相互援助活動
	民生費	乳幼児医療費	395,058	147,873			247,185	就学前児童の医療費について、保険診療の自己負担分を補助
		一人親家庭等医療費	126,055	63,017			63,038	一人親家庭等の父母及び18歳以後最初の3月31日までの児童の保険診療の自己負担分を補助
		不妊治療費	24,300				24,300	不妊治療に係る医療費の一部助成
		児童手当	2,471,994	1,818,986			653,008	・対象 小学校修了前の児童 ・手当額 第1、2子 5,000円/月、第3子以降 10,000円/月 但し、3歳未満児は平成19年4月から第1、2子も10,000円/月
		児童扶養手当	1,014,800	338,266			676,534	・対象 母子家庭等の18歳以後最初の3月31日までの児童 ・手当額 41,880円～9,880円
		家庭児童相談経費	327				327	電話や面接で子どもとその家族に関するあらゆる相談に応じる
		児童虐待防止対策事業費	1,677				1,677	虐待の早期発見、対応、未然防止に向けて、定期的に連絡会議を開催するなど、ネットワーク事業を実施する
		次世代育成支援行動計画推進事業	391				391	「次世代育成支援対策推進法」に基づき、次代を担う子どもを育成する環境を整備する行動計画の推進
		親と子どもの豊かな育ち事業費	496				496	保育園において、食育を通じた基本的な生活習慣の改善を図るための事業に取り組む。モデル園 10園
		乳幼児健康支援一次預かり事業費	15,397	3,700		1,600	10,097	病気回復期の児童を預かることにより、保護者の子育てと就労の両立を支援する
		子育て支援ショートステイ事業費	860			113	747	保護者が疾病や出産などで養育が困難になった場合に、一時的に児童福祉施設にて預かる。
		子育て支援センター管理運営費	3,399	1,976			1,423	橋北・塩浜子育て支援センターの管理経費
		子育て支援センター事業費	1,671	1,503			168	橋北・塩浜子育て支援センター事業費、笹川、大矢知、海蔵保育園での子育て相談や遊ぶ会の実施
		地域子育て支援センター事業費補助金	27,543	18,362			9,181	子育て家庭の支援活動のための職員配置等への補助 私立保育園 5、医療機関2
		母子福祉センター管理経費	4,300				4,300	母子家庭及び寡婦の生活の安定と自立を促進する
		母子生活支援施設事務費事業費	44,500	33,237		184	11,079	母子家庭の施設措置費・保護者の就職活動等の支援のため、菜の花苑の保育室に保育士を配置し、母子家庭等の児童を預かる
		母子家庭自立支援給付金事業	1,736	1,302			434	母子家庭の母が適職に就くために必要な技能や資格を取得するための教育訓練講座を受講した場合費用の一部を支給する
		児童館自主事業費	889				889	児童館事業の啓発、移動児童館事業の実施、児童館主催事業及び日常活動費
	衛生費	妊産婦乳幼児保健指導事業費	5,282				5,282	育児学級、育児相談、訪問指導等を実施するとともに、引き続きアンケートによる状況把握や電話・訪問相談により生後4か月までの乳児をもつ家庭への育児支援を行う

## 平成 20 年 度 子 育 て 関 係 事 業 に つ い て

(単位 千円)

会計	款	事業名	事業費	財源内訳				事業概要
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
一般会計	教育費	私立幼稚園保育料補助金	19,716				19,716	私立幼稚園に園児を通園させている保護者に6,200円(年額)の補助を行う。
		子育て支援運営費補助金	1,360				1,360	地域住民が実施する未就園児の子育て支援事業への補助、下野、富洲原地区
		園づくり支援事業費	3,560				3,560	公立幼稚園の園づくりの推進及び、未就園児対象の園開放や保護者への子育て相談等を支援する
		不登校児童生徒ボランティア事業費	720				720	大学生のボランティア等による不登校児童生徒の家庭訪問等
		私立幼稚園就園奨励費補助金	166,138	43,195			122,943	私立幼稚園に園児を通園させている保護者へ世帯の所得状況に応じて国の補助金を受けて補助を行う
		青少年相談員研修費	327				327	青少年相談員の相談活動が充実するための研修会を開催する
		青年リーダー研修費	569			152	417	子ども会活動にかかわる中高生リーダーの養成講習会を開催する
		子ども緊急避難所設置推進事業費	245				245	子どもを誘拐・痴漢等の被害から守る「こどもをまもるいえ」の地域団体による設置を促進する
		子どもと若者の居場所づくり事業費	3,337				3,337	青少年健全育成と非行防止を更に進めるために、主に中高生を対象とした居場所づくり事業を推進する
		青少年体験活動促進事業費	909				909	市民団体が企画・実施する青少年体験活動に対して助成するとともに、その成果発表の場としてフェスティバルを開催する。
		学童保育事業費補助金	111,790	55,743			56,047	運営委員会が設置・運営する学童保育所の運営等に対して補助を行う
		子ども広場整備費補助金	5,045				5,045	自治会等が設置・管理する子ども広場の整備に対して補助を行う
		放課後子ども教室推進事業	2,407	1,502			905	福祉部局と連携を図りながら小学校の余裕教室等を活用して、子どもの安全な遊び場、異年齢や地域住民の交流の場を提供する。
		親と子どもの豊かな育ち事業	6,108				6,108	生活リズムの向上、規範意識の向上、安全安心を3つの柱として、地域や家庭の教育力を向上させる事業を実施する。
		子どもの読書活動推進事業費	322				322	子どもにとって本が身近になるような環境整備を市民との協働により進める
		<b>小 計</b>	<b>4,472,726</b>	<b>2,530,662</b>	<b>0</b>	<b>2,049</b>	<b>1,940,015</b>	
国民健康 保険特別 会計	保険給付 費	出産育児一時金助成金	171,500			57,166	114,334	出産前後の諸費用と家計負担が軽減されるよう、被保険者が出産した時、補助する
		<b>小 計</b>	<b>171,500</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>57,166</b>	<b>114,334</b>	
<b>合 計</b>			<b>4,644,226</b>	<b>2,530,662</b>	<b>0</b>	<b>59,215</b>	<b>2,054,349</b>	

平成20年度 子育て関係事業について

保育所関係事業

(単位 千円)

款	事業名	事業費	財源内訳				事業概要
			国県支出金	地方債	その他	一般財源	
民生費	保育所事務事業費(児童一般分)	1,715,007	653,086		603,367	458,554	民間保育園の措置費
	保育所事務事業費(市単民間施設加算)	126,997	9,107			117,890	3歳未満児の保育機能強化のため、児童数に応じて加算
	民間保育所運営費補助金	38,463				38,463	正規職員の給与改善及び、研修経費の一部補助
	民間保育所園児健康診断料等補助金	11,371				11,371	園児の健康診断費用に対する補助
	民間保育所障害児保育事業費補助金	4,606	968			3,638	重度・中度障害児数に応じて補助
	民間保育所乳児保育促進事業費補助金	16,168				16,168	年度内の乳児数の変動に対し、乳児担当保育士の確保のための補助。
	民間保育所延長保育事業費補助金	132,442	61,612			70,830	実施園 2ヶ所拡充 公立1園(中央)、私立21園
	民間保育所一時保育事業費補助金	18,040	8,994			9,046	実施園 2ヶ所拡充 公立2園(橋北、くす南)、私立11園
	民間保育所特定保育事業費補助金	24,786	2,340		2,704	19,742	3歳未満児を対象に週に2、3日の保育 実施園 2ヶ所拡充 公立2園(橋北、くす南)、私立9園
	民間保育所休日保育事業費補助金	8,052	901		777	6,374	日曜、祝日に働く保護者のための休日保育を実施
	民間保育所地域活動事業費補助金	4,250				4,250	地域の実情に応じた保育事業に対して補助
	家庭支援推進保育事業費補助金	2,442	1,213			1,229	人権保育事業の推進のための補助
	子育て支援推進保育事業費補助金	4,364	2,182			2,182	認可外保育施設に対する補助
	認可外保育施設職員健康診断料補助金	551	366			185	職員健康診断費用に対する補助
<b>小 計</b>	<b>2,107,539</b>	<b>740,769</b>	<b>0</b>	<b>606,848</b>	<b>759,922</b>		
<b>合 計</b>	<b>6,751,765</b>	<b>3,271,431</b>	<b>0</b>	<b>666,063</b>	<b>2,814,271</b>		